

2019(令和元)年度  
病院構造改革推進方策実施状況の自己点検・評価

令和2年9月  
病院局

**I より良質な医療の提供**

項目1 診療機能の高度化	
(1) がん医療	1
(2) 循環器疾患医療	6
(3) 糖尿病医療	9
(4) 精神医療	10
(5) 救急・災害医療	13
(6) 小児・周産期医療	15
(7) リハビリテーション医療	17
(8) その他の政策医療	19
項目2 統合再編・建替整備	22
項目3 診療機能の効率化	23
項目4 研究機能の充実	24

**II 安心できる県立病院の実現**

項目1 地域医療連携の推進	26
項目2 医療安全対策等の推進	30
項目3 患者サービスの向上	32
項目4 医療の信頼性の向上	34
項目5 県民等への情報発信の推進	35

**III 持続可能な経営の確保**

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組	37
項目2 収益の確保	
(1) 患者の受入れ促進等	40
(2) 診療機能に見合う収益の確保等	42
(3) その他の収益の確保	44
項目3 費用の抑制	47

**IV 安定した医療提供体制の確立**

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備	49
項目2 医師確保対策の推進	50
項目3 看護師確保対策の推進	52
項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組	53
項目5 働きやすい職場づくり	54
項目6 経営形態の検討	55
項目7 安定的な地域医療の提供	56
(参考) 新型コロナウイルス対応の現状	57
<b>各県立病院の目標・計画</b>	
経営計画	58

(評価の考え方)

【目標】

評価	考え方
○ (概ね) 計画通り実施	・ 計画通りに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上)
△ 計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

【取組項目】

評価	考え方
◎ 計画を上回る	・ 計画以上の取組みを実施 (目標を2割以上上回る達成)
○ (概ね) 計画通り実施	・ 計画通りに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上2割超過未満)
△ 計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (1) がん医療

○ 基本方向  
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の29.6%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割

(1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、あり方検討委員会の報告を踏まえて、がんゲノム医療等最新医療を提供していく。

(2) 淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を提供するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。

(3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を提供する。

(4) こども病院は、小児がん拠点病院として、集学的治療を提供するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を行う。

(5) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。

(6) 粒子線医療センター及び神戸陽子線センターは、粒子線医療の有効性を積極的に広報し患者の受入れ促進を進める。

(7) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、腫瘍センターの設置や高度先進的ながん治療ネットワークの構築などを行い、がん診療連携拠点病院並みのがん診療を提供する。

2 診療機能の高度化  
内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ）、IMRT対応のリニアック装置等の高度医療機器により、最新治療を提供する。

3 地域連携の推進  
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																														
<p>〔目標〕 がんセンター等は、国及び県指定がん診療拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施する。また、こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を実施する。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) がん手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>2,100</td> <td>1,945</td> <td>1,886</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>562</td> <td>557</td> <td>558</td> <td>99.1%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>200</td> <td>195</td> <td>219</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>1,500</td> <td>1,474</td> <td>1,437</td> <td>98.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>980</td> <td>923</td> <td>956</td> <td>94.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>821</td> <td>967</td> <td>834</td> <td>117.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>6,163</td> <td>6,061</td> <td>5,890</td> <td>98.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) うち5大がんの手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>1,000</td> <td>910</td> <td>844</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>331</td> <td>368</td> <td>358</td> <td>111.2%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>150</td> <td>123</td> <td>143</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>650</td> <td>685</td> <td>642</td> <td>105.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>390</td> <td>458</td> <td>468</td> <td>117.4%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>351</td> <td>446</td> <td>364</td> <td>127.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2,872</td> <td>2,990</td> <td>2,819</td> <td>104.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	2,100	1,945	1,886	92.6%	淡路	562	557	558	99.1%	柏原(丹波)	200	195	219	97.5%	県指定	尼崎	1,500	1,474	1,437	98.3%	西宮	980	923	956	94.2%	加古川	821	967	834	117.8%	計		6,163	6,061	5,890	98.3%	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	1,000	910	844	91%	淡路	331	368	358	111.2%	柏原(丹波)	150	123	143	82%	県指定	尼崎	650	685	642	105.4%	西宮	390	458	468	117.4%	加古川	351	446	364	127.1%	計		2,872	2,990	2,819	104.1%	<p>がんゲノム医療拠点病院であるがんセンター、連携病院であるこども病院において、積極的にパネル検査を実施するなど最先端のがん医療を提供した。また、神戸陽子線センターにおいて、こども病院と連携した陽子線治療を実施した。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進した。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(単位：件（延件数）)</p>	<p>○</p> <p>◎</p>	<p>説明</p> <p>(加古川) 消化器系（胃・大腸・肝臓）の紹介患者の増</p>	<p>参考：現況（令和2年7月の状況等）</p> <p>○国指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県</td> <td>がん</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域</td> <td>淡路</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td>丹波 柏原(丹波)</td> <td>平成20年2月8日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国指定小児がん拠点病院の指定状況 こども病院：平成25年2月8日指定</p> <p>○県指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阪神南</td> <td>尼崎</td> <td>平成27年7月1日</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>平成22年9月3日</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川</td> <td>平成23年2月16日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○がんゲノム医療拠点病院の指定状況 がんセンター：令和元年9月19日指定</p> <p>○がんゲノム医療連携病院の状況（R2.7.1時点） こども病院</p> <p>○がん相談支援センター（がん） （相談件数）令和元年度：2,239件</p>	区分	病院名	指定年月日	都道府県	がん	平成19年1月31日	地域	淡路	平成19年1月31日	丹波 柏原(丹波)	平成20年2月8日	区分	病院名	指定年月日	阪神南	尼崎	平成27年7月1日	西宮	平成22年9月3日	東播磨	加古川	平成23年2月16日
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																													
国指定	がん	2,100	1,945	1,886	92.6%																																																																																																													
	淡路	562	557	558	99.1%																																																																																																													
	柏原(丹波)	200	195	219	97.5%																																																																																																													
県指定	尼崎	1,500	1,474	1,437	98.3%																																																																																																													
	西宮	980	923	956	94.2%																																																																																																													
	加古川	821	967	834	117.8%																																																																																																													
計		6,163	6,061	5,890	98.3%																																																																																																													
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																													
国指定	がん	1,000	910	844	91%																																																																																																													
	淡路	331	368	358	111.2%																																																																																																													
	柏原(丹波)	150	123	143	82%																																																																																																													
県指定	尼崎	650	685	642	105.4%																																																																																																													
	西宮	390	458	468	117.4%																																																																																																													
	加古川	351	446	364	127.1%																																																																																																													
計		2,872	2,990	2,819	104.1%																																																																																																													
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																
都道府県	がん	平成19年1月31日																																																																																																																
地域	淡路	平成19年1月31日																																																																																																																
	丹波 柏原(丹波)	平成20年2月8日																																																																																																																
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																
阪神南	尼崎	平成27年7月1日																																																																																																																
	西宮	平成22年9月3日																																																																																																																
東播磨	加古川	平成23年2月16日																																																																																																																



実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																													
<p>(5) 緩和ケア研修会の開催（出席者数）</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>26</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>25</td> <td>51</td> <td>26</td> <td>204.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>36</td> <td>102.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>116.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>122.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>151</td> <td>157</td> <td>158</td> <td>104.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	26	0	26	0.0%	淡路	24	22	29	91.7%	柏原(丹波)	25	51	26	204.0%	県指定	尼崎	40	41	36	102.5%	西宮	18	21	24	116.7%	加古川	18	22	17	122.2%	計		151	157	158	104.0%	<p>(6) 緩和ケア病棟（病床）延入院患者数</p> <table border="1"> <caption>(単位：人（延人数）)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病棟</td> <td>加古川</td> <td>5,289</td> <td>5,584</td> <td>5,041</td> <td>105.6%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>5,000</td> <td>7,415</td> <td>6,310</td> <td>148.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病床</td> <td>淡路</td> <td>100</td> <td>113</td> <td>80</td> <td>113.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>1,000</td> <td>1,147</td> <td>978</td> <td>114.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>11,389</td> <td>14,259</td> <td>12,409</td> <td>125.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	病棟	加古川	5,289	5,584	5,041	105.6%	柏原(丹波)	5,000	7,415	6,310	148.3%	病床	淡路	100	113	80	113.0%	がん	1,000	1,147	978	114.7%	計		11,389	14,259	12,409	125.2%	<p>(7) がんゲノム医療          ・がんゲノム医療の推進（がん）          ①ゲノム医療（遺伝子パネル検査）の積極実施          ②がんゲノム外来患者数</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん</td> <td>40</td> <td>159</td> <td>27</td> <td>397.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	がん	40	159	27	397.5%	<p>(8) 粒子線治療</p> <p>① 神戸陽子線センターとの連携と治療実施（小児陽子線治療の実施、人材の育成、医療機関等の広報活動）（こども）          ・小児陽子線治療の実施件数</p> <table border="1"> <caption>(単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>84</td> <td>55</td> <td>39</td> <td>65.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び神戸陽子線Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保（粒子線）          ・粒子線治療実施患者数</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>528</td> <td>320</td> <td>469</td> <td>60.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	こども	84	55	39	65.5%	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	粒子線	528	320	469	60.6%	<p>▲ ○ ◎ ○ ○ ◎</p> <p>（がん） 明石地域の医師等からの受講希望が減っている中で、加古川医療センターで実施する緩和ケア研修に協力していくこととしたため、R1は未開催 （柏原(丹波)） 研修会の回数増 （加古川） 参加希望者の増</p> <p>○ ◎ ○ ○</p> <p>（柏原(丹波)） 紹介件数の増</p> <p>○</p> <p>◎ R1.7から保険適用となったため</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>○緩和ケア病棟 加古川医療センター（25床） 丹波医療センター（22床）</p> <p>○緩和ケア専用病床 淡路医療センター（4床） がんセンター（4床）</p> <p>○緩和ケアチームを有する病院 尼崎総合医療センター、西宮病院、 加古川医療センター、丹波医療センター、 淡路医療センター、こども病院、がんセンター、 姫路循環器病センター、粒子線医療センター</p> <p>○がんセンター ・研究部にバイオバンク室を設置（平成28年） （スタッフ2名配置） ・ゲノム医療・臨床試験センターを設置（平成30年）</p> <p>○がんゲノム外来 令和2年度よりこども病院でも実施</p> <p>○こども病院の小児がん拠点病院としての取組</p> <p>平成24年度 ・小児がん拠点病院に指定</p> <p>平成25年度 ・医療福祉相談員（MSW）の専従配置 ・長期フォローアップ外来の開設 ・緩和ケアチームの設置</p> <p>平成26年度 ・小児がん医療センターを設置</p> <p>平成28年度【移転建替】 ・緩和ケア病室の設置 ・全病棟へのプレイルーム配置 ・院内学級の整備 ・ファミリーハウスの拡充（11室→16室）等</p> <p>平成29年度【神戸陽子線センターを開設】 ・粒子線医療センター附属神戸陽子線センターと連携し、患者の晩期合併症等のリスクが少ない陽子線治療を提供</p> <p>令和元年度 ・がんゲノム医療連携病院に選定</p>
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																												
国指定	がん	26	0	26	0.0%																																																																																																												
	淡路	24	22	29	91.7%																																																																																																												
	柏原(丹波)	25	51	26	204.0%																																																																																																												
県指定	尼崎	40	41	36	102.5%																																																																																																												
	西宮	18	21	24	116.7%																																																																																																												
	加古川	18	22	17	122.2%																																																																																																												
計		151	157	158	104.0%																																																																																																												
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																												
病棟	加古川	5,289	5,584	5,041	105.6%																																																																																																												
	柏原(丹波)	5,000	7,415	6,310	148.3%																																																																																																												
病床	淡路	100	113	80	113.0%																																																																																																												
	がん	1,000	1,147	978	114.7%																																																																																																												
計		11,389	14,259	12,409	125.2%																																																																																																												
病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																													
がん	40	159	27	397.5%																																																																																																													
病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																													
こども	84	55	39	65.5%																																																																																																													
病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																													
粒子線	528	320	469	60.6%																																																																																																													

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																			
<p>③ アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化（粒子線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合 (単位：%)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="519 357 1463 430"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>45.0</td> <td>39.0</td> <td>42.6</td> <td>86.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び粒子線医療Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保（神戸陽子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陽子線治療実患者数 (単位：人)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="379 598 1463 745"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">神戸陽子</td> <td>成人</td> <td>176</td> <td>134</td> <td>89</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>84</td> <td>60</td> <td>44</td> <td>71.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>260</td> <td>194</td> <td>133</td> <td>74.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	粒子線	45.0	39.0	42.6	86.7%	病院名	区分	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	神戸陽子	成人	176	134	89	76.1%	小児	84	60	44	71.4%	計	260	194	133	74.6%	<p>○</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>○</p> <p>△</p>	<p>近畿地方（主に京都府周辺）の患者が見込より増えなかった（H31.4京都府立医科大学にて陽子線治療開始）</p>	<p>○粒子線治療保険適用の状況</p> <table border="1" data-bbox="2056 294 2849 514"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>疾患名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽子線のみ</td> <td>・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)</td> </tr> <tr> <td>陽子線及び重粒子線</td> <td>・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん</td> </tr> </tbody> </table> <p>○粒子線治療費の支援制度（R2から実施）</p> <p>(1) AYA世代に対する先進医療の陽子線治療費の減免（R2～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者：国内在住1年以上で先進医療の陽子線治療を受ける20～39歳であり、前年の世帯総所得600万円以下の世帯に属する方</li> <li>令和2年度対象患者数（想定）：10人</li> <li>減免割合・自己負担額</li> </ul> <table border="1" data-bbox="2056 787 2849 976"> <thead> <tr> <th>世帯総所得</th> <th>減免割合</th> <th>治療費</th> <th>減免額</th> <th>自己負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210万円以下</td> <td>3/4</td> <td rowspan="2">2,883,000円</td> <td>2,162,300円</td> <td>720,700円</td> </tr> <tr> <td>210万円超 600万円以下</td> <td>1/2</td> <td>1,441,500円</td> <td>1,441,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 粒子線治療資金貸付制度の所得制限の撤廃（R2～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制度の概要</li> </ul> <table border="1" data-bbox="2056 1039 2849 1186"> <tbody> <tr> <td>貸付対象者</td> <td>国内在住1年以上</td> </tr> <tr> <td>貸付対象費用</td> <td>粒子線治療料（限度額2,883,000円）</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>無利子</td> </tr> <tr> <td>償還期間</td> <td>10年以内</td> </tr> </tbody> </table>	区分	疾患名	陽子線のみ	・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)	陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん	世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額	210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円	210万円超 600万円以下	1/2	1,441,500円	1,441,500円	貸付対象者	国内在住1年以上	貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）	利子	無利子	償還期間	10年以内																							
病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																			
粒子線	45.0	39.0	42.6	86.7%																																																																																			
病院名	区分	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																		
神戸陽子	成人	176	134	89	76.1%																																																																																		
	小児	84	60	44	71.4%																																																																																		
	計	260	194	133	74.6%																																																																																		
区分	疾患名																																																																																						
陽子線のみ	・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)																																																																																						
陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん																																																																																						
世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額																																																																																			
210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円																																																																																			
210万円超 600万円以下	1/2		1,441,500円	1,441,500円																																																																																			
貸付対象者	国内在住1年以上																																																																																						
貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）																																																																																						
利子	無利子																																																																																						
償還期間	10年以内																																																																																						
<p><b>2 診療機能の高度化</b></p> <p>(1) ダヴィンチ（内視鏡下手術用支援機器）による手術件数 (単位：件（延件数）)</p> <table border="1" data-bbox="311 903 1463 1123"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定</td> <td>がん</td> <td>130</td> <td>140</td> <td>122</td> <td>107.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>110</td> <td>159</td> <td>94</td> <td>144.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>25</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>152.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>142</td> <td>113</td> <td>135</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>407</td> <td>450</td> <td>396</td> <td>110.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) リニアックの稼働件数及び新規患者数</p> <p>① リニアック稼働件数 (単位：件（延件数）)</p> <table border="1" data-bbox="311 1249 1463 1575"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>8,000</td> <td>11,245</td> <td>14,201</td> <td>140.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>4,000</td> <td>3,647</td> <td>3,213</td> <td>91.2%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>1,370</td> <td>1,195</td> <td>1,155</td> <td>87.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>10,500</td> <td>8,562</td> <td>9,721</td> <td>81.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>2,800</td> <td>2,990</td> <td>3,094</td> <td>106.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>3,588</td> <td>4,413</td> <td>4,346</td> <td>123.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>300</td> <td>153</td> <td>302</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>30,558</td> <td>32,205</td> <td>36,032</td> <td>105.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	130	140	122	107.7%	県指定	尼崎	110	159	94	144.5%	西宮	25	38	45	152.0%	加古川	142	113	135	79.6%	計		407	450	396	110.6%	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	8,000	11,245	14,201	140.6%	淡路	4,000	3,647	3,213	91.2%	柏原(丹波)	1,370	1,195	1,155	87.2%	県指定	尼崎	10,500	8,562	9,721	81.5%	西宮	2,800	2,990	3,094	106.8%	加古川	3,588	4,413	4,346	123.0%	こども	300	153	302	51.0%	計		30,558	32,205	36,032	105.4%	<p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>▲</p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>▲</p>	<p>(尼崎) 対象患者の増</p> <p>(西宮) 治療部位の拡充（腎臓）等 (加古川) 対象患者の減</p> <p>(がん) 機器の稼働時間の増</p> <p>(加古川) 乳腺外科の医師減少による件数減の見込であったが、例年並みに稼働（こども） 陽子線治療を選択する患者数の増に伴う対象患者の減</p>	<p>○ダヴィンチ導入病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎総合医療センター（H26.6稼働）</li> <li>・西宮病院（H27.12稼働）</li> <li>・加古川医療センター（H25.9稼働）</li> <li>・がんセンター（H25.4稼働）</li> </ul>
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																		
国指定	がん	130	140	122	107.7%																																																																																		
県指定	尼崎	110	159	94	144.5%																																																																																		
	西宮	25	38	45	152.0%																																																																																		
	加古川	142	113	135	79.6%																																																																																		
計		407	450	396	110.6%																																																																																		
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																		
国指定	がん	8,000	11,245	14,201	140.6%																																																																																		
	淡路	4,000	3,647	3,213	91.2%																																																																																		
	柏原(丹波)	1,370	1,195	1,155	87.2%																																																																																		
県指定	尼崎	10,500	8,562	9,721	81.5%																																																																																		
	西宮	2,800	2,990	3,094	106.8%																																																																																		
	加古川	3,588	4,413	4,346	123.0%																																																																																		
	こども	300	153	302	51.0%																																																																																		
計		30,558	32,205	36,032	105.4%																																																																																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																		
<p>② リニアック新規患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：件(延件数))</p> <table border="1" data-bbox="385 294 1537 619"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>430</td> <td>650</td> <td>760</td> <td>151.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>160</td> <td>134</td> <td>130</td> <td>83.8%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>75</td> <td>66</td> <td>59</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>690</td> <td>541</td> <td>671</td> <td>78.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>140</td> <td>151</td> <td>160</td> <td>107.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>204</td> <td>218</td> <td>223</td> <td>106.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>こども</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,729</td> <td>1,779</td> <td>2,030</td> <td>102.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	430	650	760	151.2%	淡路	160	134	130	83.8%	柏原(丹波)	75	66	59	88.0%	県指定	尼崎	690	541	671	78.4%	西宮	140	151	160	107.9%	加古川	204	218	223	106.9%		こども	30	19	27	63.3%	計		1,729	1,779	2,030	102.9%	<p>③ 医療用直線加速装置(リニアック)の更新(がん)</p> <p>R2.1 更新</p>	<p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>(がん)</p> <p>機器の稼働時間の増</p> <p>(尼崎)</p> <p>治療技術の向上により、より少ない照射回数での治療が実現できたこと及び患者の負担軽減の一環として、照射回数を減らして運用したため減</p> <p>(こども)</p> <p>陽子線治療を選択する患者数の増に伴う対象患者の減</p>	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																	
国指定	がん	430	650	760	151.2%																																																	
	淡路	160	134	130	83.8%																																																	
	柏原(丹波)	75	66	59	88.0%																																																	
県指定	尼崎	690	541	671	78.4%																																																	
	西宮	140	151	160	107.9%																																																	
	加古川	204	218	223	106.9%																																																	
	こども	30	19	27	63.3%																																																	
計		1,729	1,779	2,030	102.9%																																																	
<p>3 地域連携の推進</p> <p>・地域連携パスの運用件数</p>	<p>③ 医療用直線加速装置(リニアック)の更新(がん)</p> <p>R2.1 更新</p> <p>3 地域連携の推進</p> <p style="text-align: right;">(単位：件(延件数))</p> <table border="1" data-bbox="385 861 1537 1144"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>260</td> <td>245</td> <td>249</td> <td>94.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>270</td> <td>267</td> <td>264</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>95.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>55</td> <td>83</td> <td>70</td> <td>150.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>30</td> <td>66</td> <td>36</td> <td>220.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>600.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>642</td> <td>702</td> <td>653</td> <td>109.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	国指定	がん	260	245	249	94.2%	淡路	270	267	264	98.9%	柏原(丹波)	24	23	31	95.8%	県指定	尼崎	55	83	70	150.9%	西宮	30	66	36	220.0%	加古川	3	18	3	600.0%	計		642	702	653	109.3%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>(尼崎)</p> <p>肺がん・乳がんの連携運用の増</p> <p>(西宮、加古川)</p> <p>乳がんの連携運用の増</p>							
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																	
国指定	がん	260	245	249	94.2%																																																	
	淡路	270	267	264	98.9%																																																	
	柏原(丹波)	24	23	31	95.8%																																																	
県指定	尼崎	55	83	70	150.9%																																																	
	西宮	30	66	36	220.0%																																																	
	加古川	3	18	3	600.0%																																																	
計		642	702	653	109.3%																																																	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療

○ 基本方向  
心疾患は本県における死亡原因の第2位（全体の14.8%）、脳血管疾患は第4位（全体の8.3%）であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割  
 (1) 姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。  
 (2) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、合併症への対応を強化する。  
 (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センターは、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。  
 (4) 柏原病院（丹波医療センター）は、引き続き心疾患に対する急性期医療を提供するとともに、統合再編後については、救急拠点施設として、脳卒中等の重症救急患者に対応する。

2 診療機能の高度化  
 尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、ハイブリッド手術室システム等の高度医療機器を活用した最新治療を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																																																															
<p>〔目標〕                      姫路循環器病センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。                      また、尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供する。</p> <p>〔取組項目〕                      1 病院の役割                      (1) 開心術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：件（延件数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>170</td> <td>194</td> <td>182</td> <td>114.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>40</td> <td>112</td> <td>34</td> <td>280.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>178</td> <td>147</td> <td>168</td> <td>82.6%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>282</td> <td>287</td> <td>295</td> <td>101.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>670</td> <td>740</td> <td>679</td> <td>110.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大動脈瘤ステント術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：件（延件数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>85</td> <td>78</td> <td>80</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>27</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>128</td> <td>122</td> <td>114</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>249</td> <td>232</td> <td>221</td> <td>93.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 冠動脈形成術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：件（延件数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>600</td> <td>552</td> <td>599</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>138</td> <td>109</td> <td>115.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>41</td> <td>31</td> <td>45</td> <td>75.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>250</td> <td>324</td> <td>307</td> <td>129.6%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>91</td> <td>107.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>565</td> <td>604</td> <td>530</td> <td>106.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,676</td> <td>1,756</td> <td>1,681</td> <td>104.8%</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：件（延件数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	170	194	182	114.1%	淡路	40	112	34	280.0%	専門	こども	178	147	168	82.6%	姫路	282	287	295	101.8%	計		670	740	679	110.4%	(単位：件（延件数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	85	78	80	91.8%	淡路	36	32	27	88.9%	専門	姫路	128	122	114	95.3%	計		249	232	221	93.2%	(単位：件（延件数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	600	552	599	92.0%	西宮	120	138	109	115.0%	加古川	41	31	45	75.6%	淡路	250	324	307	129.6%	柏原(丹波)	100	107	91	107.0%	専門	姫路	565	604	530	106.9%	計		1,676	1,756	1,681	104.8%	<p>姫路循環器病センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供した。                      また、尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供した。</p> <p>〔取組項目〕                      1 病院の役割</p>	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>(淡路)                      学会等での手術症例発表による紹介患者の増</p> <p>(加古川)                      医師の異動に伴う実績減                      (淡路)                      医師の増に伴う対応患者の増</p>	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査（心臓カテーテル検査、CT検査等）及び専門的診療（大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等）の24時間対応                      ② 経皮的冠動脈形成術（経皮的冠動脈ステント留置術を含む）を年間200症例以上実施                      ③ 救急入院患者の受入実績がある                      ④ 心臓血管外科に常勤医を配置                      ⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件を全て満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院）</td> </tr> <tr> <td>播磨</td> <td>姫路（上記条件を全て満たしている）</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路（上記条件を全て満たしている）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載されている脳卒中の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査（X線検査、CT検査、MRI（拡張強調画像）、血管連続撮影）24時間実施可能（オンコール体制含む）                      ② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能                      ③ 血栓溶解療法（t-PA）が24時間当直体制で実施可能                      ④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始（24時間対応）                      ⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（上記条件を全て満たしている）</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> <tr> <td>播磨</td> <td>姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件を全て満たしている病院名	阪神	尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院）	播磨	姫路（上記条件を全て満たしている）	淡路	淡路（上記条件を全て満たしている）	圏域	病院名	阪神	尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（上記条件を全て満たしている）	東播磨	加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）	播磨	姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）	淡路	淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）
(単位：件（延件数）)																																																																																																																																																			
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																														
総合	尼崎	170	194	182	114.1%																																																																																																																																														
	淡路	40	112	34	280.0%																																																																																																																																														
専門	こども	178	147	168	82.6%																																																																																																																																														
	姫路	282	287	295	101.8%																																																																																																																																														
計		670	740	679	110.4%																																																																																																																																														
(単位：件（延件数）)																																																																																																																																																			
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																														
総合	尼崎	85	78	80	91.8%																																																																																																																																														
	淡路	36	32	27	88.9%																																																																																																																																														
専門	姫路	128	122	114	95.3%																																																																																																																																														
計		249	232	221	93.2%																																																																																																																																														
(単位：件（延件数）)																																																																																																																																																			
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																														
総合	尼崎	600	552	599	92.0%																																																																																																																																														
	西宮	120	138	109	115.0%																																																																																																																																														
	加古川	41	31	45	75.6%																																																																																																																																														
	淡路	250	324	307	129.6%																																																																																																																																														
	柏原(丹波)	100	107	91	107.0%																																																																																																																																														
専門	姫路	565	604	530	106.9%																																																																																																																																														
計		1,676	1,756	1,681	104.8%																																																																																																																																														
圏域	上記条件を全て満たしている病院名																																																																																																																																																		
阪神	尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院）																																																																																																																																																		
播磨	姫路（上記条件を全て満たしている）																																																																																																																																																		
淡路	淡路（上記条件を全て満たしている）																																																																																																																																																		
圏域	病院名																																																																																																																																																		
阪神	尼崎（上記条件を全て満たしている） 西宮（上記条件を全て満たしている）																																																																																																																																																		
東播磨	加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																																																																																		
播磨	姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																																																																																		
淡路	淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																																																																																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																							
<p>(4) 経皮的動脈弁バルーン拡張術（BAV）の件数</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>96.9%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>63</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>95</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>37.9%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	淡路	32	31	27	96.9%	専門	姫路	63	5	6	7.9%	計		95	36	33	37.9%															
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	淡路	32	31	27	96.9%																																						
専門	姫路	63	5	6	7.9%																																						
計		95	36	33	37.9%																																						
<p>(5) 開頭術の件数</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>100</td> <td>122</td> <td>86</td> <td>122.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>50</td> <td>45</td> <td>62</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>50</td> <td>59</td> <td>54</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>23</td> <td>128.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>126</td> <td>181</td> <td>139</td> <td>143.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>361</td> <td>452</td> <td>364</td> <td>125.2%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	100	122	86	122.0%	西宮	50	45	62	90.0%	加古川	50	59	54	118.0%	淡路	35	45	23	128.6%	専門	姫路	126	181	139	143.7%	計		361	452	364	125.2%
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	100	122	86	122.0%																																						
	西宮	50	45	62	90.0%																																						
	加古川	50	59	54	118.0%																																						
	淡路	35	45	23	128.6%																																						
専門	姫路	126	181	139	143.7%																																						
計		361	452	364	125.2%																																						
<p>(6) 脳血管内手術の件数</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>65</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>63.1%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>61.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>25</td> <td>40</td> <td>28</td> <td>160.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>89</td> <td>93</td> <td>106</td> <td>104.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>201</td> <td>188</td> <td>205</td> <td>93.5%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	65	41	42	63.1%	西宮	13	8	21	61.5%	加古川	9	6	8	66.7%	淡路	25	40	28	160.0%	専門	姫路	89	93	106	104.5%	計		201	188	205	93.5%
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	65	41	42	63.1%																																						
	西宮	13	8	21	61.5%																																						
	加古川	9	6	8	66.7%																																						
	淡路	25	40	28	160.0%																																						
専門	姫路	89	93	106	104.5%																																						
計		201	188	205	93.5%																																						
<p>(7) 血栓溶解療法（t-P A）の件数</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>146.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>180.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>68.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>69</td> <td>62</td> <td>52</td> <td>89.9%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	15	22	12	146.7%	西宮	5	9	6	180.0%	加古川	1	1	0	100.0%	淡路	10	4	12	40.0%	専門	姫路	38	26	22	68.4%	計		69	62	52	89.9%
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	15	22	12	146.7%																																						
	西宮	5	9	6	180.0%																																						
	加古川	1	1	0	100.0%																																						
	淡路	10	4	12	40.0%																																						
専門	姫路	38	26	22	68.4%																																						
計		69	62	52	89.9%																																						
<p>(8) 急性期リハの件数 ・心疾患</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>8,500</td> <td>8,483</td> <td>7,822</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,800</td> <td>1,858</td> <td>2,183</td> <td>103.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>6,500</td> <td>8,071</td> <td>6,439</td> <td>124.2%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>14,547</td> <td>15,228</td> <td>14,097</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>31,347</td> <td>33,640</td> <td>30,541</td> <td>107.3%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	8,500	8,483	7,822	99.8%	西宮	1,800	1,858	2,183	103.2%	淡路	6,500	8,071	6,439	124.2%	専門	姫路	14,547	15,228	14,097	104.7%	計		31,347	33,640	30,541	107.3%					
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	8,500	8,483	7,822	99.8%																																						
	西宮	1,800	1,858	2,183	103.2%																																						
	淡路	6,500	8,071	6,439	124.2%																																						
専門	姫路	14,547	15,228	14,097	104.7%																																						
計		31,347	33,640	30,541	107.3%																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																							
・脳血管疾患																																											
	(単位：件（延件数）)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>11,000</td> <td>10,322</td> <td>10,501</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>10,000</td> <td>10,582</td> <td>10,176</td> <td>105.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>9,357</td> <td>9,827</td> <td>9,526</td> <td>105.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>13,000</td> <td>11,804</td> <td>12,370</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>23,570</td> <td>12,215</td> <td>21,991</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>66,927</td> <td>54,750</td> <td>64,564</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	11,000	10,322	10,501	93.8%	西宮	10,000	10,582	10,176	105.8%	加古川	9,357	9,827	9,526	105.0%	淡路	13,000	11,804	12,370	90.8%	専門	姫路	23,570	12,215	21,991	51.8%	計		66,927	54,750	64,564	81.8%		○ ○ ○ ○ ▲	(姫路) 医師（脳神経内科）の退職等に伴う実績減	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	11,000	10,322	10,501	93.8%																																						
	西宮	10,000	10,582	10,176	105.8%																																						
	加古川	9,357	9,827	9,526	105.0%																																						
	淡路	13,000	11,804	12,370	90.8%																																						
専門	姫路	23,570	12,215	21,991	51.8%																																						
計		66,927	54,750	64,564	81.8%																																						
(9) 地域連携パスの運用件数（脳血管疾患）																																											
	(単位：件（延件数）)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>120</td> <td>115</td> <td>130</td> <td>95.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>48</td> <td>41</td> <td>53</td> <td>85.4%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>110.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>95</td> <td>127</td> <td>100</td> <td>133.7%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>184</td> <td>162</td> <td>242</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>457</td> <td>456</td> <td>541</td> <td>99.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	120	115	130	95.8%	西宮	48	41	53	85.4%	加古川	10	11	16	110.0%	淡路	95	127	100	133.7%	専門	姫路	184	162	242	88.0%	計		457	456	541	99.8%		○ ○ ○ ◎ ○	(淡路) 対象患者の増	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	120	115	130	95.8%																																						
	西宮	48	41	53	85.4%																																						
	加古川	10	11	16	110.0%																																						
	淡路	95	127	100	133.7%																																						
専門	姫路	184	162	242	88.0%																																						
計		457	456	541	99.8%																																						
2 診療機能の高度化																																											
(1) 経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）の件数																																											
	(単位：件（延件数）)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>40</td> <td>70</td> <td>51</td> <td>175.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>61</td> <td>56</td> <td>53</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>101</td> <td>126</td> <td>104</td> <td>124.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	40	70	51	175.0%	専門	姫路	61	56	53	91.8%	計		101	126	104	124.8%		◎ ○	(尼崎) 待機患者を積極的に治療																
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	40	70	51	175.0%																																						
専門	姫路	61	56	53	91.8%																																						
計		101	126	104	124.8%																																						
(2) 補助人工心臓ポンプカテーテル治療の実施（姫路）	(2) 補助人工心臓ポンプカテーテル治療の実施（姫路）																																										
		○																																									

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

○ 基本方向  
糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすため、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた糖尿病医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割  
尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）、姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。

2 診療機能の高度化  
統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。

3 地域医療機関との連携体制の構築  
尼崎総合医療センター等は、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																						
<p>〔目標〕 尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。</p>	<p>尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供した。また、姫路循環器病センターにおいて、糖尿病センターが地域の医療機関等と連携を図りながら、心疾患等の合併症を有する患者への治療を提供した。</p>	○		<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の専門治療の機能を有する病院</p> <p>① 糖尿病の専門的検査、専門的治療の実施（75g O G T T検査、運動療法、食事療法）</p> <p>② 専門職種のチームによる教育入院の実施</p> <p>③ 糖尿病患者の妊娠への対応</p> <p>④ 常勤の日本糖尿病学会専門医、又は日本内分代謝科専門医がいる</p> <table border="1"> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																														
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																									
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																									
東播磨	加古川医療センター																																																																																																									
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																									
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割 (1) 新規入院患者数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：人（延人数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>260</td> <td>259</td> <td>275</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>220</td> <td>216</td> <td>238</td> <td>98.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>128</td> <td>103</td> <td>155</td> <td>80.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>168.8%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>126</td> <td>124</td> <td>117</td> <td>98.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>750</td> <td>729</td> <td>807</td> <td>97.2%</td> </tr> </table>	(単位：人（延人数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	260	259	275	99.6%	西宮	220	216	238	98.2%	加古川	128	103	155	80.5%	淡路	16	27	22	168.8%	専門	姫路	126	124	117	98.4%	計		750	729	807	97.2%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割 (1) 新規入院患者数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：人（延人数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>260</td> <td>259</td> <td>275</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>220</td> <td>216</td> <td>238</td> <td>98.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>128</td> <td>103</td> <td>155</td> <td>80.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>168.8%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>126</td> <td>124</td> <td>117</td> <td>98.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>750</td> <td>729</td> <td>807</td> <td>97.2%</td> </tr> </table>	(単位：人（延人数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	260	259	275	99.6%	西宮	220	216	238	98.2%	加古川	128	103	155	80.5%	淡路	16	27	22	168.8%	専門	姫路	126	124	117	98.4%	計		750	729	807	97.2%	○	(淡路) 対象患者の増	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院</p> <p>① 糖尿病昏睡等急性合併症の治療が可能</p> <p>② 糖尿病の急性合併症の患者を24時間受入可能</p> <table border="1"> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター
(単位：人（延人数）)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	尼崎	260	259	275	99.6%																																																																																																					
	西宮	220	216	238	98.2%																																																																																																					
	加古川	128	103	155	80.5%																																																																																																					
	淡路	16	27	22	168.8%																																																																																																					
専門	姫路	126	124	117	98.4%																																																																																																					
計		750	729	807	97.2%																																																																																																					
(単位：人（延人数）)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	尼崎	260	259	275	99.6%																																																																																																					
	西宮	220	216	238	98.2%																																																																																																					
	加古川	128	103	155	80.5%																																																																																																					
	淡路	16	27	22	168.8%																																																																																																					
専門	姫路	126	124	117	98.4%																																																																																																					
計		750	729	807	97.2%																																																																																																					
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																									
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																									
東播磨	加古川医療センター																																																																																																									
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																									
丹波	丹波医療センター																																																																																																									
淡路	淡路医療センター																																																																																																									
<p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：人（延人数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>200</td> <td>195</td> <td>210</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>220</td> <td>176</td> <td>185</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>123</td> <td>152</td> <td>117</td> <td>123.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>180.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>131</td> <td>122</td> <td>110</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>679</td> <td>654</td> <td>630</td> <td>96.3%</td> </tr> </table>	(単位：人（延人数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	200	195	210	97.5%	西宮	220	176	185	80.0%	加古川	123	152	117	123.6%	淡路	5	9	8	180.0%	専門	姫路	131	122	110	93.1%	計		679	654	630	96.3%	<p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：人（延人数）)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>200</td> <td>195</td> <td>210</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>220</td> <td>176</td> <td>185</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>123</td> <td>152</td> <td>117</td> <td>123.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>180.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>131</td> <td>122</td> <td>110</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>679</td> <td>654</td> <td>630</td> <td>96.3%</td> </tr> </table>	(単位：人（延人数）)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	200	195	210	97.5%	西宮	220	176	185	80.0%	加古川	123	152	117	123.6%	淡路	5	9	8	180.0%	専門	姫路	131	122	110	93.1%	計		679	654	630	96.3%	○	(加古川) 生活習慣病センターにおける対象患者の増 (淡路) 対象患者の増	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <p>① 蛍光眼底造影検査、光凝固療法、硝子体出血、網膜剥離の手術が全て実施可能</p> <p>② 腎生検、腎臓超音波検査、人工透析等が全て実施可能（糖尿病腎症）</p> <p>③ 神経伝達速度検査が実施可能（糖尿病神経障害）</p> <table border="1"> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター				
(単位：人（延人数）)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	尼崎	200	195	210	97.5%																																																																																																					
	西宮	220	176	185	80.0%																																																																																																					
	加古川	123	152	117	123.6%																																																																																																					
	淡路	5	9	8	180.0%																																																																																																					
専門	姫路	131	122	110	93.1%																																																																																																					
計		679	654	630	96.3%																																																																																																					
(単位：人（延人数）)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	尼崎	200	195	210	97.5%																																																																																																					
	西宮	220	176	185	80.0%																																																																																																					
	加古川	123	152	117	123.6%																																																																																																					
	淡路	5	9	8	180.0%																																																																																																					
専門	姫路	131	122	110	93.1%																																																																																																					
計		679	654	630	96.3%																																																																																																					
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																									
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																									
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																									
丹波	丹波医療センター																																																																																																									
<p>2 地域医療機関との連携体制の構築</p> <p>・地域糖尿病センターの充実（西宮）</p> <p>①糖尿病発症早期患者の受入、教育</p> <p>②医師会と連携した糖尿病研究（Nishinomiya Study）の充実</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：例)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>西宮</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> <td>4,715</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	(単位：例)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	西宮	5,000	5,000	4,715	100.0%	<p>2 地域医療機関との連携体制の構築</p> <p>・地域糖尿病センターの充実（西宮）</p> <p>①糖尿病発症早期患者の受入、教育</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">(単位：例)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>西宮</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> <td>4,715</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	(単位：例)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	西宮	5,000	5,000	4,715	100.0%	○		<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <p>① 蛍光眼底造影検査、光凝固療法、硝子体出血、網膜剥離の手術が全て実施可能</p> <p>② 腎生検、腎臓超音波検査、人工透析等が全て実施可能（糖尿病腎症）</p> <p>③ 神経伝達速度検査が実施可能（糖尿病神経障害）</p> <table border="1"> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター																																																										
(単位：例)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	西宮	5,000	5,000	4,715	100.0%																																																																																																					
(単位：例)																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	西宮	5,000	5,000	4,715	100.0%																																																																																																					
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																									
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																									
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																									
丹波	丹波医療センター																																																																																																									
								○		<p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <tr> <th>圏域</th> <th>慢性疾患</th> <th>病院別人数</th> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>慢性疾患</td> <td>加古川(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>糖尿病</td> <td>尼崎(2)、こども(1)、姫路(1)</td> </tr> </table>	圏域	慢性疾患	病院別人数	専門	慢性疾患	加古川(1)	認定	糖尿病	尼崎(2)、こども(1)、姫路(1)																																																																																							
圏域	慢性疾患	病院別人数																																																																																																								
専門	慢性疾患	加古川(1)																																																																																																								
認定	糖尿病	尼崎(2)、こども(1)、姫路(1)																																																																																																								

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (4) 精神医療

○ 基本方向	ひょうごこころの医療センターは、民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供するとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。
○ 取組内容	<p>1 ひょうごこころの医療センターは、精神科医療の全県拠点病院として、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門治療を充実する。</p> <p>(1) 精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を推進する。</p> <p>(2) 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、地域移行の促進に向けたアウトリーチ（訪問支援）の充実を図るとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。</p> <p>(3) 認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。</p> <p>2 尼崎総合医療センターは、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。</p> <p>3 淡路医療センターは、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。</p> <p>4 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、外傷等の身体合症状を持つ精神疾患患者に適切な対応を行う。</p> <p>5 認知症疾患医療センター指定を受けた各病院は、認知症の鑑別診断を行うとともに、圏域の中核となって医療機関等を対象とした研修や症例検討会を開催し、医療連携を推進する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																									
<p>〔目標〕</p> <p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図る。</p> <p>また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切に行う。</p>	<p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図ったが、入院患者が減少したため、計画を下回った。</p> <p>なお、認知症疾患医療センター設置病院は、鑑別診断を適切に行った。</p>	△																																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>45</td> <td>29</td> <td>48</td> <td>64.4%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>165</td> <td>100</td> <td>156</td> <td>60.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>1,096</td> <td>792</td> <td>985</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,306</td> <td>921</td> <td>1,189</td> <td>70.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	45	29	48	64.4%	淡路	165	100	156	60.6%	専門	こころ	1,096	792	985	72.3%	計		1,306	921	1,189	70.5%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 新規入院患者数</p> <p>(単位：人)</p>	△	<p>(尼崎) 対象患者の減</p> <p>(淡路) 訪問看護ステーションの充実などにより、外来通院で状態を維持できる環境が整ったことにより減</p> <p>(こころ) 救急患者の減</p>	<p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>精神</td> <td>尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>認知症</td> <td>尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)</td> </tr> <tr> <td>日本精神科看護協会認定</td> <td>精神科看護</td> <td>こころ(6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※姫路の精神の専門看護師は週1日勤務</p> <p>○認知症疾患医療センター設置病院（指定日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎総合医療センター（H30.10.1）</li> <li>・淡路医療センター（H21.4.1）</li> <li>・ひょうごこころの医療センター（H29.1.1）</li> <li>・姫路循環器病センター（H23.7.1）</li> <li>・リハビリテーション西播磨病院（H21.11.1）</li> </ul>	区分		病院別人数	専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)	認定	認知症	尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)	日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																								
総合	尼崎	45	29	48	64.4%																																								
	淡路	165	100	156	60.6%																																								
専門	こころ	1,096	792	985	72.3%																																								
計		1,306	921	1,189	70.5%																																								
区分		病院別人数																																											
専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)																																											
認定	認知症	尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)																																											
日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)																																											
<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（入院患者数）</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>17,659</td> <td>15,422</td> <td>17,218</td> <td>87.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化</p> <p>・救急医療センター入院患者数</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>485</td> <td>338</td> <td>404</td> <td>69.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・精神科救急医療システムからの入院患者数</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>78</td> <td>61</td> <td>63</td> <td>78.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	こころ	17,659	15,422	17,218	87.3	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	こころ	485	338	404	69.7%	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	こころ	78	61	63	78.2%	<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(単位：人)</p>	○							
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																								
専門	こころ	17,659	15,422	17,218	87.3																																								
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																								
専門	こころ	485	338	404	69.7%																																								
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																								
専門	こころ	78	61	63	78.2%																																								
		△	救急医療センターにおける入院患者の在院日数が長期化しているため、空き病床が少なく、救急入院を断る場合があるため減																																										
		△	精神科救急医療システム利用者の伸び悩み																																										

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
(3) 退院支援の実施								
① 地域移行の推進による退院支援の強化		(単位：件、回)						
区分	病院名	区分	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①		
専門	こころ	入院時の業務	2,400	1,352	2,283	56.3%	▲ ◎ ○	入院患者の減 積極的な退院支援の実施による増
		退院支援委員会の開催回数	90	162	106	180.0%		
		退院調整に関する業務回数	11,000	11,207	10,942	101.9%		
② 心理教育の実施		(単位：回、人)						
区分	病院名	区分	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①		
専門	こころ	心理教育	258	238	253	92.2%	○ ▲	H30 見込集計時に心理教育以外のプログラム（栄養指導等）をカウントしており、R1 計画値を過大に設定
		患者延参加数	2,122	1,236	1,162	58.2%		
③ 作業所・救護施設の利用を促進するための退院前訪問・同行の実施		(単位：回)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	750	654	715	87.2%	○		
④ 相談員による面接・電話調整		(単位：件)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	36,000	32,022	34,439	89.0%	○		
⑤ 訪問看護の実施		(単位：人)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	3,250	3,250	3,180	100.0%	○		
(4) アルコール依存症医療の充実 ・入院患者数		(単位：人/日)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	38.9	31.4	34.6	80.7%	○		
(5) 外来機能の充実強化 ・外来患者数		(単位：人)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	51,801	51,122	51,544	98.7%	○		
(6) 障害児リハビリテーションの実施		(単位：件)						
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
専門	こころ	2,294	2,873	2,182	125.2%	◎	対象患者の増	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況					評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
3 認知症鑑別診断の件数	3 認知症鑑別診断の件数 (単位：件(延件数))							
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
総合	尼崎	100	160	109	160.0%	◎	(尼崎)	
	淡路	300	271	352	90.3%	○	認知症疾患医療センターの本格稼働に伴う患者数の増	
専門	こころ	685	1,111	662	162.2%	◎	(こころ)	
	姫路	700	588	666	84.0%	○	神戸市の助成制度が開始されたことによる増	
	リハ西	950	1,122	1,157	118.0%	○		
計		2,735	3,252	2,946	118.9%			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 救急・災害医療

○ 基本方向  
 県民が急傷病時に安心して診療を受けることができるよう、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、災害医療センターを中心に、2次、3次の救急医療の充実を図っていく。  
 また、災害時にも県民の求める医療を適切に提供できるようハード、ソフトの両面から機能充実を図り、県立病院全体の強靱化を進める。

○ 取組内容

1 救急医療  
 (1) 災害医療センターは、高度救命救急センターとして、高度救命救急医療を提供するとともに救急医療の従事者に対する研修等を行う。  
 (2) 尼崎総合医療センターの救命救急センターにおいて、24時間365日断ることなく救急患者に対応するER型救急医療の提供を行う。  
 (3) 加古川医療センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリを活用した迅速な患者受け入れを行う。  
 (4) 西宮病院、淡路医療センター、姫路循環器病センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供する。  
 (5) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、新たに総合的な診療機能を活かした3次救急医療を提供するなど救急医療を充実するとともに、加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリを運航する。  
 (6) 柏原病院（丹波医療センター）は、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

2 災害医療  
 (1) 災害拠点病院の機能強化や人材育成を引き続き推進する。  
 (2) 災害医療センターは、基幹災害拠点病院として、大規模災害に備えるとともに、災害医療の従事者に対する研修等を行う。  
 (3) すべての県立病院は業務継続計画（BCP）等に基づき、災害発生時には速やかに必要な医療の提供を行う。  
 (4) 兵庫DMA T指定病院、DPAT登録医療機関は、災害発生時に県からの要請に基づき必要な医療チームの派遣を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																																																						
<p>〔目標〕                      救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。                      災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担う。</p>	<p>救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保したが、ドクターカーの出動件数の減等により計画を下回った。                      災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担った。</p>	△																																																																																																																																								
<p>〔取組項目〕                      1 救急医療                      (1) 救急車搬送患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>11,650</td> <td>11,477</td> <td>11,789</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,400</td> <td>3,946</td> <td>4,324</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>2,014</td> <td>2,595</td> <td>2,512</td> <td>128.8%</td> </tr> <tr> <td>(ドクヘリ搬送)</td> <td>(466)</td> <td>(449)</td> <td>(450)</td> <td>96.4%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3,500</td> <td>3,225</td> <td>3,577</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>1,900</td> <td>2,149</td> <td>1,757</td> <td>113.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>姫路</td> <td>2,688</td> <td>2,499</td> <td>2,527</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>986</td> <td>963</td> <td>918</td> <td>97.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>27,138</td> <td>26,854</td> <td>27,404</td> <td>99.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) うち重篤患者数（高度救命救急センター及び救命救急センター）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>2,540</td> <td>1,837</td> <td>2,547</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,020</td> <td>919</td> <td>788</td> <td>90.1%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>554</td> <td>587</td> <td>531</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>750</td> <td>623</td> <td>748</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>姫路</td> <td>1,051</td> <td>1,199</td> <td>1,042</td> <td>114.1%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>823</td> <td>890</td> <td>716</td> <td>108.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>6,738</td> <td>6,055</td> <td>6,372</td> <td>89.9%</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：人)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	11,650	11,477	11,789	98.5%	西宮	4,400	3,946	4,324	89.7%	加古川	2,014	2,595	2,512	128.8%	(ドクヘリ搬送)	(466)	(449)	(450)	96.4%	淡路	3,500	3,225	3,577	92.1%	柏原(丹波)	1,900	2,149	1,757	113.1%	専門	姫路	2,688	2,499	2,527	93.0%	災害	986	963	918	97.7%	計		27,138	26,854	27,404	99.0%	(単位：人)						区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	2,540	1,837	2,547	72.3%	西宮	1,020	919	788	90.1%	加古川	554	587	531	106.0%	淡路	750	623	748	83.1%	専門	姫路	1,051	1,199	1,042	114.1%	災害	823	890	716	108.1%	計		6,738	6,055	6,372	89.9%	<p>1 救急医療                      ○救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">3次救急</td> <td>高度救命救急センター</td> <td>災害医療センター</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">救命救急センター</td> <td>尼崎総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>西宮病院</td> </tr> <tr> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路医療センター</td> </tr> <tr> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>3次的機能病院</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2次救急</td> <td>2次輪番病院</td> <td>西宮病院</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 救急</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	3次救急	高度救命救急センター	災害医療センター	救命救急センター	尼崎総合医療センター	西宮病院	加古川医療センター	淡路医療センター	姫路循環器病センター	3次的機能病院	丹波医療センター	2次救急	2次輪番病院	西宮病院		加古川医療センター		丹波医療センター	区分	病院別人数	認定 救急	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)	○	<p>(加古川)                      救急車の積極的応需による増</p>	
(単位：人)																																																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																					
総合	尼崎	11,650	11,477	11,789	98.5%																																																																																																																																					
	西宮	4,400	3,946	4,324	89.7%																																																																																																																																					
	加古川	2,014	2,595	2,512	128.8%																																																																																																																																					
	(ドクヘリ搬送)	(466)	(449)	(450)	96.4%																																																																																																																																					
	淡路	3,500	3,225	3,577	92.1%																																																																																																																																					
	柏原(丹波)	1,900	2,149	1,757	113.1%																																																																																																																																					
専門	姫路	2,688	2,499	2,527	93.0%																																																																																																																																					
	災害	986	963	918	97.7%																																																																																																																																					
計		27,138	26,854	27,404	99.0%																																																																																																																																					
(単位：人)																																																																																																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																					
総合	尼崎	2,540	1,837	2,547	72.3%																																																																																																																																					
	西宮	1,020	919	788	90.1%																																																																																																																																					
	加古川	554	587	531	106.0%																																																																																																																																					
	淡路	750	623	748	83.1%																																																																																																																																					
専門	姫路	1,051	1,199	1,042	114.1%																																																																																																																																					
	災害	823	890	716	108.1%																																																																																																																																					
計		6,738	6,055	6,372	89.9%																																																																																																																																					
区分	病院名																																																																																																																																									
3次救急	高度救命救急センター	災害医療センター																																																																																																																																								
	救命救急センター	尼崎総合医療センター																																																																																																																																								
		西宮病院																																																																																																																																								
		加古川医療センター																																																																																																																																								
		淡路医療センター																																																																																																																																								
姫路循環器病センター																																																																																																																																										
3次的機能病院	丹波医療センター																																																																																																																																									
2次救急	2次輪番病院	西宮病院																																																																																																																																								
		加古川医療センター																																																																																																																																								
		丹波医療センター																																																																																																																																								
区分	病院別人数																																																																																																																																									
認定 救急	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)																																																																																																																																									
		○	<p>(尼崎)                      対象患者の減</p>																																																																																																																																							

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																			
<p>(3) ドクターカー出動件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>380</td> <td>353</td> <td>376</td> <td>92.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>750</td> <td>667</td> <td>805</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>96</td> <td>73</td> <td>107</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>85</td> <td>37.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>200</td> <td>157</td> <td>210</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>336</td> <td>264</td> <td>279</td> <td>78.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,842</td> <td>1,544</td> <td>1,862</td> <td>83.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	380	353	376	92.9%	西宮	750	667	805	88.9%	加古川	96	73	107	76.0%	淡路	80	30	85	37.5%	専門	こども	200	157	210	78.5%	災害	336	264	279	78.6%	計		1,842	1,544	1,862	83.8%	<p>(単位：件)</p>	○	<p>(加古川) 新型コロナウイルスの影響による対象案件の減 (淡路) 消防の出動要請基準の見直し(病院の勤務態勢が手薄となる休日・夜間における要請の厳格化)による減 (こども) 新生児搬送件数の減 (災害) 出動要請の減(昨年度並みに出動)</p>	<p>○ドクターヘリの運航体制(加古川医療センター)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基地病院</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>駐機日</td> <td>毎週木～月曜日</td> </tr> <tr> <td>運航に係る人員配置</td> <td>フライトドクター：9名 フライトナース：9名</td> </tr> <tr> <td>要請件数(うち出動件数) ※加古川医療センターの件数のみ記載</td> <td>平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：533件(453件) 令和2年度(R2.6末時点)：122件(102件)</td> </tr> <tr> <td>準基地病院</td> <td>製鉄記念広畑病院</td> </tr> <tr> <td>駐機日</td> <td>毎週火、水曜日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	基地病院	加古川医療センター	駐機日	毎週木～月曜日	運航に係る人員配置	フライトドクター：9名 フライトナース：9名	要請件数(うち出動件数) ※加古川医療センターの件数のみ記載	平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：533件(453件) 令和2年度(R2.6末時点)：122件(102件)	準基地病院	製鉄記念広畑病院	駐機日	毎週火、水曜日																																									
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																		
総合	尼崎	380	353	376	92.9%																																																																																																		
	西宮	750	667	805	88.9%																																																																																																		
	加古川	96	73	107	76.0%																																																																																																		
	淡路	80	30	85	37.5%																																																																																																		
専門	こども	200	157	210	78.5%																																																																																																		
	災害	336	264	279	78.6%																																																																																																		
計		1,842	1,544	1,862	83.8%																																																																																																		
区分	内容																																																																																																						
基地病院	加古川医療センター																																																																																																						
駐機日	毎週木～月曜日																																																																																																						
運航に係る人員配置	フライトドクター：9名 フライトナース：9名																																																																																																						
要請件数(うち出動件数) ※加古川医療センターの件数のみ記載	平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：533件(453件) 令和2年度(R2.6末時点)：122件(102件)																																																																																																						
準基地病院	製鉄記念広畑病院																																																																																																						
駐機日	毎週火、水曜日																																																																																																						
<p>(4) 高度救命救急センターとして、県下救急隊に研修等を行い、連携強化に努める。(災害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>災害</td> <td>150</td> <td>136</td> <td>145</td> <td>90.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	災害	150	136	145	90.7%	<p>(単位：回)</p>	○																																																																																									
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																		
専門	災害	150	136	145	90.7%																																																																																																		
<p>(5) 医師救急医療業務実地修練(病院前医療体制における指導医師等研修)への参加(災害)</p> <p>2 災害医療</p> <p>(1) 広域災害訓練等の開催・参加回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">災害拠点病院</td> <td>尼崎</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">その他</td> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>47</td> <td>44</td> <td>41</td> <td>93.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	災害拠点病院	尼崎	4	4	4	100.0%	西宮	8	5	8	62.5%	加古川	5	5	7	100.0%	淡路	3	3	3	100.0%	柏原(丹波)	3	3	4	100.0%	姫路	7	7	3	100.0%	災害	5	6	3	120.0%	その他	こころ	1	1	0	100.0%	こども	1	0	0	0.0%	がん	2	2	2	100.0%	粒子線	2	2	2	100.0%	神戸陽子	1	1	0	100.0%	リハ中	3	3	3	100.0%	リハ西	2	2	2	100.0%	計		47	44	41	93.6%	<p>(5) 医師救急医療業務実地修練(病院前医療体制における指導医師等研修)への参加(災害)</p> <p>2 災害医療</p> <p>(単位：回(延回数))</p>	○	<p>(西宮) 新型コロナウイルスの影響による訓練の中止</p>	<p>2 災害医療</p> <p>○県立病院における災害医療の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹災害拠点病院</td> <td>災害医療センター</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">災害拠点病院</td> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	基幹災害拠点病院	災害医療センター	災害拠点病院	阪神	尼崎総合医療センター 西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																		
災害拠点病院	尼崎	4	4	4	100.0%																																																																																																		
	西宮	8	5	8	62.5%																																																																																																		
	加古川	5	5	7	100.0%																																																																																																		
	淡路	3	3	3	100.0%																																																																																																		
	柏原(丹波)	3	3	4	100.0%																																																																																																		
	姫路	7	7	3	100.0%																																																																																																		
	災害	5	6	3	120.0%																																																																																																		
その他	こころ	1	1	0	100.0%																																																																																																		
	こども	1	0	0	0.0%																																																																																																		
	がん	2	2	2	100.0%																																																																																																		
	粒子線	2	2	2	100.0%																																																																																																		
	神戸陽子	1	1	0	100.0%																																																																																																		
	リハ中	3	3	3	100.0%																																																																																																		
リハ西	2	2	2	100.0%																																																																																																			
計		47	44	41	93.6%																																																																																																		
区分	病院名																																																																																																						
基幹災害拠点病院	災害医療センター																																																																																																						
災害拠点病院	阪神	尼崎総合医療センター 西宮病院																																																																																																					
	東播磨	加古川医療センター																																																																																																					
	播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																					
	丹波	丹波医療センター																																																																																																					
	淡路	淡路医療センター																																																																																																					
<p>(2) 全県立病院において、2019年度中にBCPを策定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>策定済病院</th> <th>R1年度策定病院</th> <th>R2年度策定病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院名</td> <td>尼崎(H30年11月策定) 西宮(H31年1月策定) 加古川(H30年11月策定) 淡路(H31年3月策定) 柏原(H31年1月策定) 姫路(H31年1月策定) 災害(H30年12月策定)</td> <td>こころ(R2年3月策定) 粒子線(R2年1月策定) リハ中(R1年5月策定)</td> <td>こども(R2年12月策定予定) がん(R2年9月策定予定) 神戸陽子(R2年5月策定) リハ西(R2年9月策定予定)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	策定済病院	R1年度策定病院	R2年度策定病院	病院名	尼崎(H30年11月策定) 西宮(H31年1月策定) 加古川(H30年11月策定) 淡路(H31年3月策定) 柏原(H31年1月策定) 姫路(H31年1月策定) 災害(H30年12月策定)	こころ(R2年3月策定) 粒子線(R2年1月策定) リハ中(R1年5月策定)	こども(R2年12月策定予定) がん(R2年9月策定予定) 神戸陽子(R2年5月策定) リハ西(R2年9月策定予定)		△	<p>(こども) 災害派遣医療チームを設置していないこともあり、訓練に参加することができなかった</p> <p>未策定病院においても令和2年中に策定予定</p>	<p>○平成28年度に災害時等職員行動マニュアルに受援計画を盛り込み作成</p>																																																																																											
区分	策定済病院	R1年度策定病院	R2年度策定病院																																																																																																				
病院名	尼崎(H30年11月策定) 西宮(H31年1月策定) 加古川(H30年11月策定) 淡路(H31年3月策定) 柏原(H31年1月策定) 姫路(H31年1月策定) 災害(H30年12月策定)	こころ(R2年3月策定) 粒子線(R2年1月策定) リハ中(R1年5月策定)	こども(R2年12月策定予定) がん(R2年9月策定予定) 神戸陽子(R2年5月策定) リハ西(R2年9月策定予定)																																																																																																				

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (6) 小児・周産期医療

○ 基本方向  
小児医療及び周産期医療については、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 小児医療  
(1) 尼崎総合医療センター及びこども病院は、小児救命救急センターとして、適切な医療を提供する。  
(2) 西宮病院、淡路医療センター、柏原病院(丹波医療センター)は、小児の2次救急医療等を提供する。  
(3) こども病院は、神戸市立医療センター中央市民病院等との連携のもと、循環器疾患等のキャリアオーバー患者に対する適切な医療を提供する。

2 周産期医療  
(1) 総合周産期母子医療センターに指定されている尼崎総合医療センター及びこども病院を中心に、地域医療機関との連携を行い、周産期医療の充実を図る。  
(2) 西宮病院、淡路医療センターは、地域周産期母子医療センターとして医療を提供する。  
(3) 統合再編後の丹波医療センターは、近隣の周産期母子医療センター等と連携した医療を提供しながら、周産期医療の充実に努める。  
(4) 統合再編するはりま姫路総合医療センター(仮称)は、総合周産期母子医療センターを補完するために必要な機能を整備する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和2年7月の状況等)																																																																									
<p>〔目標〕 小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供する。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供する。</p> <p>〔取組項目〕 1 小児医療 ・小児の救急車搬送患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>2,900</td> <td>3,037</td> <td>2,960</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>460</td> <td>397</td> <td>437</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>177</td> <td>150</td> <td>181</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>300</td> <td>268</td> <td>260</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>2,040</td> <td>1,727</td> <td>1,932</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5,877</td> <td>5,579</td> <td>5,770</td> <td>94.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	2,900	3,037	2,960	104.7%	西宮	460	397	437	86.3%	淡路	177	150	181	84.7%	柏原(丹波)	300	268	260	89.3%	専門	こども	2,040	1,727	1,932	84.7%	計		5,877	5,579	5,770	94.9%	<p>小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院は、重篤な小児救急患者24時間体制で受入れる等、小児救急医療を提供した。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供した。</p> <p>〔取組項目〕 1 小児医療 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>180</td> <td>172</td> <td>170</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>200</td> <td>151</td> <td>160</td> <td>75.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>105.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>120</td> <td>124</td> <td>103</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>540</td> <td>489</td> <td>471</td> <td>90.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	180	172	170	95.6%	西宮	200	151	160	75.5%	淡路	40	42	38	105.0%	専門	こども	120	124	103	103.3%	計		540	489	471	90.6%	○		
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																								
総合	尼崎	2,900	3,037	2,960	104.7%																																																																								
	西宮	460	397	437	86.3%																																																																								
	淡路	177	150	181	84.7%																																																																								
	柏原(丹波)	300	268	260	89.3%																																																																								
専門	こども	2,040	1,727	1,932	84.7%																																																																								
計		5,877	5,579	5,770	94.9%																																																																								
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																								
総合	尼崎	180	172	170	95.6%																																																																								
	西宮	200	151	160	75.5%																																																																								
	淡路	40	42	38	105.0%																																																																								
専門	こども	120	124	103	103.3%																																																																								
計		540	489	471	90.6%																																																																								
		○	(西宮) 対象患者の減	○ △ ○ ○																																																																									
				<p>○小児救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3次救急</td> <td>小児救命救急センター</td> <td>尼崎総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>小児中核病院(A)</td> <td>こども病院</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次救急</td> <td>小児地域医療センター(B)</td> <td>丹波医療センター 淡路医療センター</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番病院</td> <td>西宮病院 丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：高度専門的な小児医療を実施し、小児救命救急医療を24時間365日体制で実施 (B)：小児専門医療を実施し、24時間365日小児救急への対応が可能</p> <p>○周産期医療における県立病院の位置づけ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期母子医療センター(A)</td> <td>尼崎総合医療センター こども病院</td> </tr> <tr> <td>地域周産期母子医療センター(B)</td> <td>西宮病院 淡路医療センター</td> </tr> <tr> <td>協力病院(C)</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：周産期に関する高度かつ専門的な医療提供(MFICU：6床以上、NICU：9床以上) (B)：比較的高度の医療提供、地域における周産期医療施設との連絡調整等 (C)：地域周産期母子医療センターと協力して、ハイリスク妊婦又はハイリスク新生児の診療等</p>	区分	病院名	3次救急	小児救命救急センター	尼崎総合医療センター	小児中核病院(A)	こども病院	2次救急	小児地域医療センター(B)	丹波医療センター 淡路医療センター	病院群輪番病院	西宮病院 丹波医療センター	区分	病院名	総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院	地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター	協力病院(C)	丹波医療センター																																																					
区分	病院名																																																																												
3次救急	小児救命救急センター	尼崎総合医療センター																																																																											
	小児中核病院(A)	こども病院																																																																											
2次救急	小児地域医療センター(B)	丹波医療センター 淡路医療センター																																																																											
	病院群輪番病院	西宮病院 丹波医療センター																																																																											
区分	病院名																																																																												
総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院																																																																												
地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター																																																																												
協力病院(C)	丹波医療センター																																																																												

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																															
(2) 母胎搬送受入数	(単位：人)			○専門看護師、認定看護師の状況																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>120</td> <td>93</td> <td>106</td> <td>77.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>110</td> <td>97</td> <td>115</td> <td>88.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>90</td> <td>84</td> <td>40</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>325</td> <td>279</td> <td>265</td> <td>85.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	120	93	106	77.5%	西宮	110	97	115	88.2%	淡路	5	4	4	80.0%	専門	こども	90	84	40	93.3%	計		325	279	265	85.8%		△ ○ ○ ○	(尼崎) R2より複数の近隣病院にて分娩を中止・休止するため、院内の医療安全を考慮して分娩の受入制限を発表したことが、受入制限をしていない母胎搬送にも影響した	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>尼崎(2)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>母性看護</td> <td>西宮(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認定</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>尼崎(2)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>尼崎(2)、こども(2)</td> </tr> </tbody> </table>		区分	病院別人数	専門	小児看護	尼崎(2)、こども(3)	母性看護	西宮(1)	認定	新生児集中ケア	尼崎(2)、こども(3)	小児救急	尼崎(2)、こども(2)
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																														
総合	尼崎	120	93	106	77.5%																																														
	西宮	110	97	115	88.2%																																														
	淡路	5	4	4	80.0%																																														
専門	こども	90	84	40	93.3%																																														
計		325	279	265	85.8%																																														
	区分	病院別人数																																																	
専門	小児看護	尼崎(2)、こども(3)																																																	
	母性看護	西宮(1)																																																	
認定	新生児集中ケア	尼崎(2)、こども(3)																																																	
	小児救急	尼崎(2)、こども(2)																																																	
(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数	(単位：人)																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>240</td> <td>196</td> <td>240</td> <td>81.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>117</td> <td>119</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>50</td> <td>33</td> <td>46</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>182</td> <td>191</td> <td>188</td> <td>104.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>592</td> <td>537</td> <td>593</td> <td>90.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	240	196	240	81.7%	西宮	120	117	119	97.5%	淡路	50	33	46	66.0%	専門	こども	182	191	188	104.9%	計		592	537	593	90.7%		○ ○ △ ○	(淡路) 切迫早産の周産期管理を行ってきた結果、37週未満の早産件数が減														
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																														
総合	尼崎	240	196	240	81.7%																																														
	西宮	120	117	119	97.5%																																														
	淡路	50	33	46	66.0%																																														
専門	こども	182	191	188	104.9%																																														
計		592	537	593	90.7%																																														
(4) 新生児の搬送受入総数	(単位：人)																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>92.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>60</td> <td>50</td> <td>65</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>174</td> <td>201</td> <td>176</td> <td>115.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>307</td> <td>319</td> <td>315</td> <td>103.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	70	65	70	92.9%	西宮	60	50	65	83.3%	淡路	3	3	4	100.0%	専門	こども	174	201	176	115.5%	計		307	319	315	103.9%		○ ○ ○ ○															
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																														
総合	尼崎	70	65	70	92.9%																																														
	西宮	60	50	65	83.3%																																														
	淡路	3	3	4	100.0%																																														
専門	こども	174	201	176	115.5%																																														
計		307	319	315	103.9%																																														

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) リハビリテーション医療

○ 基本方向	リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先導的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。
○ 取組内容	<p>1 リハビリテーション中央病院は、ロボットリハビリテーションを推進するとともに、リハビリテーション西播磨病院は、神経難病リハビリテーションを更に充実する。</p> <p>2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携パス」等により近隣病院との連携を強化する。</p> <p>3 がんセンター等は、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																												
<p>〔目標〕</p> <p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>	<p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する等、高度専門的なリハビリテーション医療の推進を図った。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図った。</p>	○																																																														
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 リハビリテーション中央病院の取組</p> <p>(1) ロボットリハビリテーションの臨床応用の推進（脊髄損傷、脳卒中等）</p> <p>・実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>200.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>在宅復帰率 (基準：70.0%以上)</td> <td>87.0 以上</td> <td>90.4</td> <td>93.6</td> <td>103.9%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)</td> <td>33.0 以上</td> <td>49.0</td> <td>40.5</td> <td>148.5%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)</td> <td>70.0 以上</td> <td>82.9</td> <td>77.5</td> <td>118.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>290</td> <td>302</td> <td>264</td> <td>104.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 脊椎内視鏡手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	リハ中	4	8	5	200.0%	区分	病院名	項目	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	87.0 以上	90.4	93.6	103.9%	日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)	33.0 以上	49.0	40.5	148.5%	日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)	70.0 以上	82.9	77.5	118.4%	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	リハ中	290	302	264	104.1%	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	リハ中	10	3	8	30.0%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 リハビリテーション中央病院の取組</p> <p>(単位：件)</p> <p>(単位：%)</p> <p>(単位：件)</p> <p>(単位：件)</p>	○ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ◎ ▲	<p>ロボットリハビリテーションの治験依頼の増</p> <p>回復期リハビリテーション病棟運用検討会議を毎月開催することにより、分析・検討と情報共有を委員会で行い、意識向上を図った</p> <p>対象患者の減</p>	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	4	8	5	200.0%																																																											
区分	病院名	項目	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																										
専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	87.0 以上	90.4	93.6	103.9%																																																										
		日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)	33.0 以上	49.0	40.5	148.5%																																																										
		日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)	70.0 以上	82.9	77.5	118.4%																																																										
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	290	302	264	104.1%																																																											
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	10	3	8	30.0%																																																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）				
(5) 患者1人1日実施単位数の拡大								
(単位：単位)								
区分	病院名	項目	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①		
専門	リハ中	一般(手術)	2.2	2.0	2.2	90.9%	○	一般(混合)病棟を障害者病棟へ変更したための増減
		一般(混合)	5.3	—	5.3	—	—	
		障害者	3.4	4.4	3.4	129.4%	◎	
		回復期	5.6	5.5	5.5	98.2%	○	
2 リハビリテーション西播磨病院の取組			2 リハビリテーション西播磨病院の取組					
(1) 回復期リハビリテーション1の施設基準維持			(1) 回復期リハビリテーション1の施設基準維持					
(単位：%)								
区分	病院名	項目	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①		
専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	81.0以上	86.9	79.7	107.3%	○	
		日常生活機能評価10点以上 (基準30.0%以上)	31.0以上	31.6	32.7	101.9%	○	
		リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	46.2以上	48.2	46.2	104.3%	○	
		日常生活機能評価4点以上改善 (基準30.0%以上)	58.0以上	47.5	54.1	81.9%	○	
(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保			(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保					
(単位：%、人)								
区分	病院名	項目	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①		
専門	リハ西	病床利用率	95.5	95.2	94.9	99.7%	○	
		外来患者数	46.0	44.0	44.1	95.7%	○	
3 急性期病院の取組			3 急性期病院の取組					
・リハビリテーション実施単位の向上			・リハビリテーション実施単位の向上					
(単位)								
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
総合	尼崎	142,000	121,579	130,388	85.6%	○		
	西宮	62,500	65,296	63,140	104.5%	○		
	加古川	48,554	51,226	49,821	105.5%	○		
	淡路	59,000	63,145	58,506	107.0%	○		
	柏原(丹波)	30,000	35,338	23,736	117.8%	○		
専門	こども	19,810	16,617	17,905	83.9%	○		
	がん	21,000	20,568	21,356	97.9%	○		
	姫路	54,252	53,369	52,197	98.4%	○		
計		437,116	427,138	417,049	97.7%			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) その他の政策医療

<p>○ 基本方向</p> <p>「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、結核・感染症医療、アレルギー疾患医療、難病医療等を提供する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 結核・感染症医療</p> <p>(1) エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。</p> <p>(2) 兵庫県新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は患者の受入れ体制を整備する。</p> <p>(3) 加古川医療センターは、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいては、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。</p> <p>(4) 統合再編後の丹波医療センターは第二種感染症病床を設置し、新興感染症等に対する医療を提供する。</p> <p>(5) 淡路医療センターは、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。</p> <p>2 アレルギー疾患医療</p> <p>(1) 県アレルギー疾患医療拠点病院であるこども病院は、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。</p> <p>(2) アレルギー科やアレルギー外来を設置している病院において、適切な医療を提供する。</p> <p>3 難病医療</p> <p>専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。</p> <p>4 透析医療</p> <p>透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。</p> <p>5 臓器移植</p> <p>西宮病院等は、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。</p> <p>6 造血幹細胞移植（骨髄移植、さい帯血移植）</p> <p>(1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院、がんセンターは、引き続き骨髄移植を実施する。</p> <p>(2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。</p> <p>7 へき地医療</p> <p>(1) 淡路医療センター及び柏原病院（丹波医療センター）は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。</p> <p>(2) 統合再編後の丹波医療センターは、引き続きへき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣する。</p> <p>(3) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄記念広畑病院のへき地医療拠点病院としての機能を継承する。</p> <p>8 性差医療</p> <p>尼崎総合医療センター及び淡路医療センターは、引き続き女性総合外来を実施する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）										
<p>〔目標〕</p> <p>結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。</p>	<p>結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供した。</p> <p>また、感染症指定医療機関を中心に新型コロナウイルス感染症間がの受入を実施</p>	○		<p>○エイズ医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ治療拠点病院</td> <td>尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染症医療機関の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種感染症指定医療機関</td> <td>加古川医療センター（2床）</td> </tr> <tr> <td>第二種感染症指定医療機関</td> <td>尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター	区分	病院名	第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）	第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）
区分	病院名													
エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター													
区分	病院名													
第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）													
第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）													
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 結核・感染症医療</p> <p>(1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター）</p> <p>① 新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備</p> <p>② 専門医の勤務状況（週1日）</p> <p>院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）の実施</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 結核・感染症医療</p> <p>(1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター）</p> <p>① 新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備</p> <p>② 専門医の勤務状況（週1日）</p> <p>院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）の実施</p>	○												

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																							
<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備</p> <p>② 新型インフルエンザ発生時には、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供</p> <p><b>2 アレルギー疾患医療</b></p> <p>・アレルギー専門外来の患者数</p>	<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備</p> <p>② 新型インフルエンザ発生時には、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供</p> <p><b>2 アレルギー疾患医療</b></p>	<p>○</p> <p>○</p>		<p>○結核病床設置病院：淡路医療センター（15床）</p> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1" data-bbox="2151 346 2878 483"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新型コロナウイルス感染症拠点病院 加古川医療センター</p> <p>○新型コロナウイルス感染症重症等特定病院 尼崎総合医療センター ※第二種感染症指定医療機関の丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況等を踏まえ、患者受入等を実施</p> <p>○県アレルギー疾患医療拠点病院 こども病院（H30.2.1指定）</p> <p>○アレルギー科設置病院 尼崎総合医療センター、こども病院</p> <p>○アレルギー外来設置病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎総合医療センター（小児アレルギー科）</li> <li>・西宮病院（小児科、耳鼻咽喉科）</li> <li>・加古川医療センター（皮膚科）</li> <li>・丹波医療センター（小児科）</li> <li>・こども病院（アレルギー科）</li> </ul>	区分		病院別人数	認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)																																	
区分		病院別人数																																									
認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)																																									
<p style="text-align: right;">（単位：人（延人数））</p> <table border="1" data-bbox="400 640 1543 892"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>2,000</td> <td>1,850</td> <td>1,965</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>620</td> <td>584</td> <td>1,151</td> <td>94.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,503</td> <td>1,308</td> <td>1,488</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>800</td> <td>949</td> <td>1,027</td> <td>118.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>1,413</td> <td>3,253</td> <td>1,492</td> <td>230.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>6,336</td> <td>7,944</td> <td>7,123</td> <td>125.4%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	2,000	1,850	1,965	92.5%	西宮	620	584	1,151	94.2%	加古川	1,503	1,308	1,488	87.0%	柏原(丹波)	800	949	1,027	118.6%	専門	こども	1,413	3,253	1,492	230.2%	計		6,336	7,944	7,123	125.4%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>（こども） 医師の異動に伴う新規患者の増</p>	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	2,000	1,850	1,965	92.5%																																						
	西宮	620	584	1,151	94.2%																																						
	加古川	1,503	1,308	1,488	87.0%																																						
	柏原(丹波)	800	949	1,027	118.6%																																						
専門	こども	1,413	3,253	1,492	230.2%																																						
計		6,336	7,944	7,123	125.4%																																						
<p><b>3 難病医療</b></p> <p>・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数</p>	<p><b>3 難病医療</b></p> <p>・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数</p>	<p>○</p> <p>○</p>																																									
<p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1" data-bbox="400 1029 1543 1176"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>4,400</td> <td>5,134</td> <td>4,705</td> <td>116.7%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>リハ西</td> <td>360</td> <td>293</td> <td>258</td> <td>81.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>4,760</td> <td>5,427</td> <td>4,963</td> <td>114.0%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	4,400	5,134	4,705	116.7%	専門	リハ西	360	293	258	81.4%	計		4,760	5,427	4,963	114.0%	<p>○</p> <p>○</p>	<p>（淡路） 対象患者の増（透析を受けていた交通事故患者の増）</p>																
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	尼崎	4,400	5,134	4,705	116.7%																																						
専門	リハ西	360	293	258	81.4%																																						
計		4,760	5,427	4,963	114.0%																																						
<p><b>4 透析医療</b></p> <p>・透析の件数</p>	<p><b>4 透析医療</b></p> <p>・透析の件数</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>（淡路） 対象患者の増（透析を受けていた交通事故患者の増）</p>	<p>○臓器移植における県立病院の役割</p> <table border="1" data-bbox="2151 1648 2878 1816"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎臓移植病院</td> <td>西宮</td> </tr> <tr> <td>臓器提供病院</td> <td>尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	腎臓移植病院	西宮	臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害																																	
区分	病院名																																										
腎臓移植病院	西宮																																										
臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害																																										
<p><b>5 臓器移植</b></p> <p>・腎臓移植の実施件数</p>	<p><b>5 臓器移植</b></p> <p>・腎臓移植の実施件数</p>	<p>△</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により移植手術を停止していた期間があった（令和2年2月中旬～3月）</p>																																								
<p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1" data-bbox="400 1669 1543 1753"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>西宮</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>65.0%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	西宮	20	13	12	65.0%																														
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																						
総合	西宮	20	13	12	65.0%																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																	
<b>6 造血幹細胞移植</b> ・骨髄移植の実施件数 （単位：件（延件数））	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>33</td> <td>86.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	25	25	15	100.0%	専門	こども	7	6	9	85.7%	がん	11	6	9	54.5%	計		43	37	33	86.0%	○ ○ ▲	（がん） 近隣病院で骨髄移植ができるようになった等の理由による対象患者の減	○骨髄移植実施病院 ・尼崎総合医療センター ・こども病院 ・がんセンター  ○末梢血幹細胞移植実施病院 ・尼崎総合医療センター ・西宮病院 ・こども病院 ・がんセンター  ○さい帯血移植病院 ・こども病院 ・がんセンター  ○さい帯血提供病院 西宮病院  ○へき地医療における県立病院の役割 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>へき地医療拠点病院</td> <td>丹波、淡路</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	へき地医療拠点病院	丹波、淡路
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																
総合	尼崎	25	25	15	100.0%																																
専門	こども	7	6	9	85.7%																																
	がん	11	6	9	54.5%																																
計		43	37	33	86.0%																																
区分	病院名																																				
へき地医療拠点病院	丹波、淡路																																				
・末梢血幹細胞移植の実施件数 （単位：件（延件数））	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>—</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	—	10	16	—	西宮	—	0	1	—	専門	こども	—	18	10	—	がん	—	11	13	—	計		—	39	40	—	— — — —	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																
総合	尼崎	—	10	16	—																																
	西宮	—	0	1	—																																
専門	こども	—	18	10	—																																
	がん	—	11	13	—																																
計		—	39	40	—																																
・さい帯血移植の実施件数 （単位：件（延件数））	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	専門	こども	—	5	6	—	がん	—	4	4	—	計		—	9	10	—	— —	○女性総合外来設置病院 ・尼崎総合医療センター（塚口病院より継承） ・淡路医療センター（H16.4 開設）											
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																
専門	こども	—	5	6	—																																
	がん	—	4	4	—																																
計		—	9	10	—																																
<b>7 へき地医療</b> ・へき地医療機関への医師派遣の日数 （単位：日（延日数））	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>淡路</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>98</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>148</td> <td>148</td> <td>134</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	淡路	48	48	36	100.0%	柏原(丹波)	100	100	98	100.0%	計		148	148	134	100.0%	○ ○												
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																
総合	淡路	48	48	36	100.0%																																
	柏原(丹波)	100	100	98	100.0%																																
計		148	148	134	100.0%																																
<b>8 性差医療</b> ・女性総合外来の件数 （単位：件（延件数））	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>240</td> <td>163</td> <td>245</td> <td>67.9%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>1,182</td> <td>1,076</td> <td>1,161</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,422</td> <td>1,239</td> <td>1,406</td> <td>87.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	240	163	245	67.9%	淡路	1,182	1,076	1,161	91.0%	計		1,422	1,239	1,406	87.1%	△ ○	（尼崎） 担当医師数の減に伴う外来枠の減 （2枠→1枠）											
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																
総合	尼崎	240	163	245	67.9%																																
	淡路	1,182	1,076	1,161	91.0%																																
計		1,422	1,239	1,406	87.1%																																



I より良質な医療の提供

項目3 診療機能の効率化

<p>○ <b>基本方向</b> 医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。 また、医療機能の高度化やチーム医療の充実等、良質で安全な医療を引き続き提供するため、診療体制の充実を推進する。</p> <p>○ <b>取組内容</b></p> <p>1 <b>診療科目等の見直し</b> (1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。 (2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数等の見直しを行う。</p> <p>2 <b>クリニカルパスの充実</b> 5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。</p> <p>3 <b>専門センター制の導入促進</b> 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進する。</p> <p>4 <b>チーム医療の推進</b> 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を引き続き推進する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																										
<p>〔目標〕 診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図る。</p>	<p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供した。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図った。</p>	○																												
<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 <b>診療科目等の見直し</b> (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施 ・「消化器外科」を新設（2019.4 予定）（淡路） ・放射線科を「放射線診断科」と「放射線治療科」に細分化（2019.4 予定）（淡路） ・神経内科を「脳神経内科」に名称変更（2019.4 予定）（尼崎、加古川、淡路、姫路、災害、リハ中、リハ西） ・小児神経内科を「小児脳神経内科」に名称変更（尼崎）</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施 ・7階西病棟（心臓血管センター）にHCU3床設置（淡路）</p> <p>2 <b>クリニカルパスの充実</b> ・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 ・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上</p> <p>3 <b>専門センター制の導入促進</b> 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進 ・肝臓（疾患）センター、骨粗しょう症センターの設置（加古川）</p> <p>4 <b>チーム医療の推進</b> 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 <b>診療科目等の見直し</b> (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施 ・「消化器外科」を新設（淡路） ・放射線科を「放射線診断科」と「放射線治療科」に細分化（淡路） ・神経内科を「脳神経内科」に名称変更（尼崎、加古川、淡路、姫路、災害、リハ中、リハ西） ・小児神経内科を「小児脳神経内科」に名称変更（尼崎）</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施 ・7階西病棟（心臓血管センター）にHCU3床設置（淡路）</p> <p>2 <b>クリニカルパスの充実</b> ・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 ・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上</p> <p>3 <b>専門センター制の導入促進</b> 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進 ・肝臓（疾患）センター、骨粗しょう症センターの設置（加古川）</p> <p>4 <b>チーム医療の推進</b> 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	○		<p>3 <b>専門センター制の導入状況（設置件数）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>18</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>10</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>8</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>5</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>9</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>2</td></tr> <tr><td>こども</td><td>7</td></tr> <tr><td>がん</td><td>7</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>4</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>3</td></tr> <tr><td>リハ西</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>75</td></tr> </tbody> </table>	病院名	件数	尼崎	18	西宮	10	加古川	8	丹波	5	淡路	9	こころ	2	こども	7	がん	7	姫路	4	リハ中	3	リハ西	2	計	75
病院名	件数																													
尼崎	18																													
西宮	10																													
加古川	8																													
丹波	5																													
淡路	9																													
こころ	2																													
こども	7																													
がん	7																													
姫路	4																													
リハ中	3																													
リハ西	2																													
計	75																													

I より良質な医療の提供

項目4 研究機能の充実

○ 基本方向	県立病院の医療水準の向上を図り、医薬品等の安全性を高めるため、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。
○ 取組内容	
1 受託研究	(1) 共同研究実施要綱及び県立病院受託研究取扱規程に基づき、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。 (2) 厚生労働省、日本学術振興会等が実施する公募型の研究制度を活用する。 (3) 研究成果は、学会、県民を対象とするシンポジウム等において発表するほか、印刷媒体、インターネットを活用して県民に情報提供する。 (4) こども病院、姫路循環器病センターに設置された神戸大学連携大学院・臨床研究センターにおいて、研究を推進し、臨床研究医を育成する。 (5) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、最新かつ質の高い臨床研究を実施するために臨床研究センターを整備し、臨床研究支援体制を充実する。 (6) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、臨床研究の充実を図る。
2 治験	臨床治験推進方策に基づき、治験を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																															
<p>【目標】</p> <p>県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進する。また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進する。</p>	<p>県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進した。また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進した。しかし、依頼件数の減等により計画を下回った。</p>	△																																																																																	
<p>【取組項目】</p> <p>県立病院の医療水準の向上を図るとともに、医療全体の質の向上に貢献するため、受託研究・治験を推進</p> <p>1 受託研究</p> <p>(1) 受託研究の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>200</td> <td>190</td> <td>195</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>70.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>128.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">専門</td> <td>こころ</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>41</td> <td>86.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>280</td> <td>236</td> <td>254</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>39</td> <td>51</td> <td>47</td> <td>130.8%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>694</td> <td>617</td> <td>638</td> <td>88.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	200	190	195	95.0%	西宮	48	34	31	70.8%	加古川	45	44	46	97.8%	淡路	16	2	11	12.5%	柏原(丹波)	7	9	8	128.6%	専門	こころ	2	0	0	0.0%	こども	45	39	41	86.7%	がん	280	236	254	84.3%	姫路	39	51	47	130.8%	粒子線	6	4	1	66.7%	神戸陽子	—	3	—	—	リハ中	4	4	4	100.0%	リハ西	2	1	1	50.0%	計		694	617	638	88.9%	<p>【取組項目】</p> <p>1 受託研究</p> <p>(単位：件（延件数）)</p>	○ △ ○ ▲ ◎ ▲ ○ ○ ◎ △ — ○ ▲	<p>(西宮、淡路、こころ、粒子線、リハ西) 依頼件数の減</p> <p>(柏原(丹波)) 依頼件数の増</p> <p>(姫路) 積極的な研究の実施</p> <p>(神戸陽子) R1より受託研究を開始</p>	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																														
総合	尼崎	200	190	195	95.0%																																																																														
	西宮	48	34	31	70.8%																																																																														
	加古川	45	44	46	97.8%																																																																														
	淡路	16	2	11	12.5%																																																																														
	柏原(丹波)	7	9	8	128.6%																																																																														
専門	こころ	2	0	0	0.0%																																																																														
	こども	45	39	41	86.7%																																																																														
	がん	280	236	254	84.3%																																																																														
	姫路	39	51	47	130.8%																																																																														
	粒子線	6	4	1	66.7%																																																																														
	神戸陽子	—	3	—	—																																																																														
	リハ中	4	4	4	100.0%																																																																														
リハ西	2	1	1	50.0%																																																																															
計		694	617	638	88.9%																																																																														
<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）</p>	<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）</p>	○																																																																																	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																											
<p>2 治験</p> <p>・ 治験の件数</p>	<p>2 治験</p> <p>(単位：件(延件数))</p>																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>51</td> <td>102.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こころ</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>146.2%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>100</td> <td>109</td> <td>104</td> <td>109.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>199</td> <td>204</td> <td>200</td> <td>102.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	44	45	51	102.3%	西宮	9	9	6	100.0%	加古川	1	1	1	100.0%	淡路	8	2	5	25.0%	専門	こころ	2	0	2	0.0%	こども	13	19	12	146.2%	がん	100	109	104	109.0%	姫路	16	15	12	93.8%	リハ中	6	4	7	66.7%	計		199	204	200	102.5%		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>(淡路、こころ、リハ中) 依頼件数の減 (こども) 実施中の治験の派生・類似案件及びがん関連の増</p>	<p>○神戸大学連携大学院 (1) こども病院(平成25年4月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成27年4月から大学院生1名を受け入れている。 (2) 姫路循環器病センター(平成27年1月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成28年4月以降、大学院生を受入れている。 (3) ひょうごこころの医療センター(令和2年4月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定を締結し、令和2年度から大学院生を募集。</p>
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																										
総合	尼崎	44	45	51	102.3%																																																										
	西宮	9	9	6	100.0%																																																										
	加古川	1	1	1	100.0%																																																										
	淡路	8	2	5	25.0%																																																										
専門	こころ	2	0	2	0.0%																																																										
	こども	13	19	12	146.2%																																																										
	がん	100	109	104	109.0%																																																										
	姫路	16	15	12	93.8%																																																										
	リハ中	6	4	7	66.7%																																																										
計		199	204	200	102.5%																																																										

Ⅱ 安心できる県立病院の実現

項目 1 地域医療連携の推進

○ 基本方向	医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、地域連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のより一層の向上を図る。
○ 取組内容	
1 地域医療構想への対応	各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等を行う。
2 地域医療ネットワークへの参画等	(1) 県立病院間及び県立病院と他の公立・公的病院等との間において、診療応援等の医療連携の更なる推進を図る。 (2) セキュリティ対策の確保を図りつつICT（情報通信技術）の活用を図り、地域医療ネットワークシステムへの参画やウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実など、他の医療機関との情報ネットワーク化を推進する。
3 地域医療連携体制等の充実	(1) 医療福祉相談員の充実など、地域医療との連携や患者相談を一層推進できる体制の整備を行う。 (2) 各圏域で開催している地域医療連携担当者会議へ積極的に参画する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、ICTを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。
4 紹介率の向上	(1) ホームページや広報誌などを活用し、患者、地域医療機関に対して、治療実績等の積極的な情報提供を行う。 (2) 地域の医療機関との情報交換、研修会、症例検討会等を拡充する。 (3) 治療中や治療終了時に、患者の治療状況等を紹介元医療機関に報告する。 (4) 医師会等に県立病院の治療実績等を報告する。
5 逆紹介率の向上	(1) 地域連携クリニカルパスの導入を促進する。 (2) 円滑な退院支援のため、後送病院、施設等を幅広く確保する。 (3) 在宅医療、介護サービス等との連携体制の構築を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																							
<p>〔目標〕</p> <p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進する。</p> <p>また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図る。</p>	<p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進した。</p> <p>また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図った。</p>	○																									
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 地域医療構想への対応</p> <p>各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等</p> <p>(1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携の推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮）</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 地域医療構想への対応</p> <p>各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等</p> <p>(1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携の推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮）</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,340</td> <td>1,136</td> <td>1,202</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>130</td> <td>254</td> <td>454</td> <td>195.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,470</td> <td>1,390</td> <td>1,656</td> <td>94.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	1,340	1,136	1,202	84.8%	西宮	130	254	454	195.4%	計		1,470	1,390	1,656	94.6%	○  ○	<p>(西宮)</p> <p>地域の病院から当院への患者紹介件数のみをカウントしていたため、R1計画値を過小に設定</p>	<p>○兵庫県地域医療構想（H28.10策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025（令和7）年に向け、地域完結型医療が必要とされている。兵庫県でも、県民の理解のもと、①医療機能の分化・連携、②在宅医療の充実、それを支える③医療従事者の確保を進め、「地域完結型医療」の構築を目的として、地域医療構想を策定</li> <li>・圏域毎の地域医療構想における直近の課題・現状を踏まえ、その推進方策を記載する「兵庫県保健医療計画（圏域版）」を平成31年3月に策定</li> </ul>
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																						
総合	尼崎	1,340	1,136	1,202	84.8%																						
	西宮	130	254	454	195.4%																						
計		1,470	1,390	1,656	94.6%																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																												
(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路）	(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路） (単位：機関数)																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>44</td> <td>104.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	淡路	44	46	44	104.5%	○																																		
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																											
総合	淡路	44	46	44	104.5%																																											
(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん） ・参加登録医療機関数（H30.12時点）：69 医療機関	(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん）	○		○明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の参加登録医療機関数（R2.7時点）：72 医療機関																																												
(4) 尼崎総合医療センター及び柏原病院において、但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（開催回数）	(4) 尼崎総合医療センター及び柏原病院において、但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（開催回数） (単位：回（延回数）)																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>120</td> <td>126</td> <td>122</td> <td>105.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>132</td> <td>138</td> <td>134</td> <td>104.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	12	12	12	100.0%	柏原(丹波)	120	126	122	105.0%	計		132	138	134	104.5%	○ ○																							
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																											
総合	尼崎	12	12	12	100.0%																																											
	柏原(丹波)	120	126	122	105.0%																																											
計		132	138	134	104.5%																																											
(5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路）	(5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路） 1,645 回	○																																														
(6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子） ・キャンサーボード実施回数	(6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子） ・キャンサーボード実施回数 (単位：回（延回数）)																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん、こども、粒子線、神戸陽子</td> <td>640</td> <td>525</td> <td>612</td> <td>82.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	がん、こども、粒子線、神戸陽子	640	525	612	82.0%	○																																				
病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																												
がん、こども、粒子線、神戸陽子	640	525	612	82.0%																																												
<b>3 地域医療支援病院の取組</b>	<b>3 地域医療支援病院の取組</b>																																															
(1) 医療機器の共同利用件数	(1) 医療機器の共同利用件数 (単位：件（延件数）)																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,510</td> <td>1,050</td> <td>1,096</td> <td>69.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>756</td> <td>660</td> <td>718</td> <td>87.3%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>494</td> <td>621</td> <td>488</td> <td>125.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>1,100</td> <td>939</td> <td>1,016</td> <td>85.4%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>1,050</td> <td>1,016</td> <td>942</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>160</td> <td>139</td> <td>151</td> <td>86.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,070</td> <td>4,425</td> <td>4,411</td> <td>87.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	1,510	1,050	1,096	69.5%	西宮	756	660	718	87.3%	加古川	494	621	488	125.7%	淡路	1,100	939	1,016	85.4%	柏原(丹波)	1,050	1,016	942	96.8%	専門	姫路	160	139	151	86.9%	計		5,070	4,425	4,411	87.3%	△ ○ ◎ ○ ○ ○	(尼崎) CT 目的の紹介患者の減  (加古川) 地域の医療機関への広報に努めた結果、MRI、CT、胃カメラ等の紹介患者の増	
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																											
総合	尼崎	1,510	1,050	1,096	69.5%																																											
	西宮	756	660	718	87.3%																																											
	加古川	494	621	488	125.7%																																											
	淡路	1,100	939	1,016	85.4%																																											
	柏原(丹波)	1,050	1,016	942	96.8%																																											
専門	姫路	160	139	151	86.9%																																											
計		5,070	4,425	4,411	87.3%																																											



実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																						
<p>(3) 訪問看護師との看看連携会議等の開催</p> <table border="1" data-bbox="543 310 1694 741"> <caption>(単位：回（延回数）)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>32</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こども</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>20</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>150.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>116.7%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>119</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>98.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	総合	尼崎	3	3	3	100.0%	西宮	32	20	31	62.5%	加古川	6	6	6	100.0%	淡路	4	3	4	75.0%	柏原(丹波)	3	3	3	100.0%	専門	こども	35	42	20	120.0%	がん	2	3	3	150.0%	姫路	2	1	2	50.0%	リハ中	30	35	23	116.7%	リハ西	2	1	1	50.0%	計		119	117	96	98.3%			<p>(西宮、姫路) 新型コロナウイルスの影響により一部中止 (淡路) 会議内容を見直し、実施回数を減 (こども) 訪問看護の利用者の増 (がん) 回数の増 (リハ西) 県看護協会西播支部主催会議への参加回数減</p>																																							
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																					
総合	尼崎	3	3	3	100.0%																																																																																																					
	西宮	32	20	31	62.5%																																																																																																					
	加古川	6	6	6	100.0%																																																																																																					
	淡路	4	3	4	75.0%																																																																																																					
	柏原(丹波)	3	3	3	100.0%																																																																																																					
専門	こども	35	42	20	120.0%																																																																																																					
	がん	2	3	3	150.0%																																																																																																					
	姫路	2	1	2	50.0%																																																																																																					
	リハ中	30	35	23	116.7%																																																																																																					
	リハ西	2	1	1	50.0%																																																																																																					
計		119	117	96	98.3%																																																																																																					
<p>5 紹介率及び逆紹介率の向上</p>			<p>△ 紹介患者の減</p>																																																																																																							
<table border="1" data-bbox="181 867 2110 1186"> <caption>(単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>柏原(丹波)</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>姫路</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">紹介率</td> <td>H30 決算</td> <td>73.2</td> <td>79.7</td> <td>92.1</td> <td>82.4</td> <td>82.4</td> <td>65.0</td> <td>85.6</td> <td>78.0</td> <td>71.1</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R1 計画①</td> <td>74.0</td> <td>80.0</td> <td>92.9</td> <td>75.6</td> <td>75.6</td> <td>70.0</td> <td>85.5</td> <td>80.0</td> <td>71.5</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R1 決算②</td> <td>75.9</td> <td>78.2</td> <td>83.3</td> <td>82.9</td> <td>82.9</td> <td>70.1</td> <td>86.0</td> <td>73.0</td> <td>69.9</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>差 (②-①)</td> <td>1.9</td> <td>△1.8</td> <td>△9.6</td> <td>△7.3</td> <td>7.3</td> <td>△0.1</td> <td>0.5</td> <td>△7.0</td> <td>△1.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">逆紹介率</td> <td>H30 決算</td> <td>84.5</td> <td>134.1</td> <td>109.7</td> <td>84.9</td> <td>84.9</td> <td>67.9</td> <td>74.1</td> <td>54.5</td> <td>159.4</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R1 計画①</td> <td>86.0</td> <td>86.5</td> <td>109.4</td> <td>72.6</td> <td>72.6</td> <td>65.0</td> <td>72.8</td> <td>58.0</td> <td>158.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R1 決算②</td> <td>86.7</td> <td>122.7</td> <td>96.8</td> <td>81.2</td> <td>83.7</td> <td>62.2</td> <td>77.8</td> <td>50.6</td> <td>169.7</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>差 (②-①)</td> <td>0.7</td> <td>36.2</td> <td>△12.6</td> <td>△8.6</td> <td>11.1</td> <td>△2.8</td> <td>5.0</td> <td>△7.4</td> <td>11.7</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	淡路	こころ	柏原(丹波)	こども	がん	姫路	粒子線	神戸陽子	紹介率	H30 決算	73.2	79.7	92.1	82.4	82.4	65.0	85.6	78.0	71.1	100.0	R1 計画①	74.0	80.0	92.9	75.6	75.6	70.0	85.5	80.0	71.5	100.0	R1 決算②	75.9	78.2	83.3	82.9	82.9	70.1	86.0	73.0	69.9	100.0	差 (②-①)	1.9	△1.8	△9.6	△7.3	7.3	△0.1	0.5	△7.0	△1.6	0.0	逆紹介率	H30 決算	84.5	134.1	109.7	84.9	84.9	67.9	74.1	54.5	159.4	100.0	R1 計画①	86.0	86.5	109.4	72.6	72.6	65.0	72.8	58.0	158.0	100.0	R1 決算②	86.7	122.7	96.8	81.2	83.7	62.2	77.8	50.6	169.7	100.0	差 (②-①)	0.7	36.2	△12.6	△8.6	11.1	△2.8	5.0	△7.4	11.7	0.0				<p>○こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について 「基本合意書」(H27.10.1締結)を踏まえた連携促進 ・医療連携会議の開催(3、6、9、12月) ・医療情報システムの連携開始</p> <p>○神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について (R2.6末時点) (1)神戸市立中央市民病院 ・成人救急及び患者紹介等に関する連携会議開催(年2回予定) (2)神戸低侵襲がん医療センター ・診療連携に関する連携会議(10、2月予定) (3)ポートアイランド病院 ・診療連携に関する会議開催(2月頃の予定) (4)神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター ・診療連携に関する会議開催(1回開催予定 時期未定)</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	淡路	こころ	柏原(丹波)	こども	がん	姫路	粒子線	神戸陽子																																																																																															
紹介率	H30 決算	73.2	79.7	92.1	82.4	82.4	65.0	85.6	78.0	71.1	100.0																																																																																															
	R1 計画①	74.0	80.0	92.9	75.6	75.6	70.0	85.5	80.0	71.5	100.0																																																																																															
	R1 決算②	75.9	78.2	83.3	82.9	82.9	70.1	86.0	73.0	69.9	100.0																																																																																															
	差 (②-①)	1.9	△1.8	△9.6	△7.3	7.3	△0.1	0.5	△7.0	△1.6	0.0																																																																																															
逆紹介率	H30 決算	84.5	134.1	109.7	84.9	84.9	67.9	74.1	54.5	159.4	100.0																																																																																															
	R1 計画①	86.0	86.5	109.4	72.6	72.6	65.0	72.8	58.0	158.0	100.0																																																																																															
	R1 決算②	86.7	122.7	96.8	81.2	83.7	62.2	77.8	50.6	169.7	100.0																																																																																															
	差 (②-①)	0.7	36.2	△12.6	△8.6	11.1	△2.8	5.0	△7.4	11.7	0.0																																																																																															
<p>6 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本合意書(2015.10.1締結)を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療連携における対象診療科及び症例数の拡充</li> <li>② 教育、研修における連携</li> <li>③ 医療情報システムの共有</li> </ul> </li> </ul>	<p>6 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <p>連携会議を3回実施</p> <p>○神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について(令和元年度)</p> <p>(1)神戸市立中央市民病院 ・成人救急及び患者紹介等に関する連携会議開催(5、11月) ・同病院からの令和元年度紹介患者数：10人</p> <p>(2)神戸低侵襲がん医療センター ・診療連携に関する会議開催(4、7、1月) ・同センターへの令和元年度入院患者数：23人</p> <p>(3)ポートアイランド病院と成人入院患者に関する診療連携(R元.8締結) ・同病院への令和元年度入院患者数：4人</p> <p>(4)神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター ・同センターでの令和元年度前立腺マーカー及びスペースOAR挿入患者数：75人</p>	<p>○</p>																																																																																																								

II 安心できる県立病院の実現

項目2 医療安全対策等の推進

○ 基本方向

患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。  
また、医療紛争の発生防止や円満解決を図るため、引き続き患者等からの相談や医療訴訟に適切に対応する。

○ 取組内容

1 医療安全対策の推進

- (1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。
- (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。
- (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。
- (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等を検討するとともに、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。
- (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。
- (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。
- (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。

2 院内感染の防止

- (1) 感染対策会議において、県立病院全体の感染対策等の検討を行う。
- (2) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。
- (3) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。
- (4) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。

3 医事紛争への適切な対応

- (1) 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。
- (2) 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。
- (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイドンスを実施する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）										
<p>〔目標〕</p> <p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。</p>	<p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図った。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努めた。</p>	○												
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策の検討（年3回）</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析</p> <p>(3) 医療安全研修の実施（年1回）</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施）</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導の充実</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策を検討した（R1実績：2回）</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析の結果を医療安全会議（10月）に報告するとともに、事例を活用した方策を実施</p> <p>(3) 医療安全研修の実施（1回：R1.11.8開催） 「患者・家族に寄り添う説明と、記録の重要性～事例に学ぶ、その方向性～」 &lt;各病院での取組み&gt; 医療事故防止研修会を定期的に開催 (R1実績：103回)</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の基本的な業務を定め、各病院において医療事故やヒヤリ・ハットの再発防止に向けた方策等を実施</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 原則、翌月に病院運営会議等で報告のうえ、過誤事案等について翌々月に公表を実施</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導を実施</p>	△ ○ ○ ○ ○	<p>新型コロナウイルスの影響により3月の会議が中止</p>	<p>○医療過誤（レベル3b以上）の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度（～7月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療安全管理者の配置（13病院1診療所） ○医療安全部長の配置（10病院） ○リスクマネージャーの配置（13病院1診療所・471名） ○医療安全対策にかかる専従者の配置（10病院） ○医療安全・医療事故防止等を所掌する副課長の設置（病院局企画課）</p>	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度（～7月）	4件	8件	6件	11件	0件
H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度（～7月）										
4件	8件	6件	11件	0件										

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																										
<p><b>2 院内感染の防止</b> ・感染対策会議の開催（年1回）</p> <p><b>3 医事紛争への適切な対応</b> （1）県立病院における医療訴訟への適切な対応 （2018実績：1件→2019.2まで：1件） （2）医療訴訟への適切な対応の推進 （3）神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施</p>	<p><b>2 院内感染の防止</b> ・感染対策会議を開催（R1.11.27）</p> <p><b>3 医事紛争への適切な対応</b> （1）県立病院における医療訴訟への適切な対応 （H30実績：1件→R1実績：2件） （2）医療訴訟への適切な対応を推進 （3）神戸地方裁判所が実施する医療訴訟ガイダンスを実施（西宮、こども、姫路）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>○認定看護師の状況【再掲P20】</p> <table border="1" data-bbox="2160 254 2884 394"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院局に医療紛争相談専門員（1名）を配置 ○各病院に医療相談窓口を設置 ○県医療担当の弁護士：3名</p> <p>○裁判での和解と判決の推移</p> <table border="1" data-bbox="1843 562 2870 699"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度 (~7月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和解</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>判決</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県立病院における医療訴訟件数の推移（新たに訴えられた件数）</p> <table border="1" data-bbox="1843 772 2870 909"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度 (~7月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※指定管理を除く</p>	区分		病院別人数	認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (~7月)	和解	1件	1件	0件	4件	0件	判決	2件	1件	0件	2件	0件	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (~7月)	新規件数	1件	1件	1件	2件	0件	総件数	6件	5件	6件	2件	2件
区分		病院別人数																																												
認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)																																												
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (~7月)																																									
和解	1件	1件	0件	4件	0件																																									
判決	2件	1件	0件	2件	0件																																									
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (~7月)																																									
新規件数	1件	1件	1件	2件	0件																																									
総件数	6件	5件	6件	2件	2件																																									

II 安心できる県立病院の実現

項目3 患者サービスの向上

<p>○ 基本方向 外来待ち時間の短縮や退院患者に対する相談体制の充実等、引き続き各種の取り組みを推進することにより、患者サービスの向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 外来待ち時間の短縮 (1) 患者呼出システムや自動精算機の導入等 I C Tシステムの充実を図り、会計等での待ち時間を短縮する。 (2) 地域医療連携室や予約センターにおいて外来診療予約を実施し、診療の待ち時間を短縮する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、I C Tを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。</p> <p>2 患者の退院に向けた相談体制の強化 患者とその家族が抱える退院後の生活支援を行うため、医療福祉相談員を充実するなど相談体制の強化を図る。</p> <p>3 平均在院日数の適正化及び入院待機患者の縮減 (1) 入院患者の逆紹介を促進する。 (2) クリニカルパス及び地域連携クリニカルパスを活用し、計画的な診療を実施する。 (3) 検査・治療機器、手術室等を計画的に稼働する。 (4) 入院前から患者リスク情報を収集・共有化するとともに、入院早期から退院支援を行い、患者の入退院管理の最適化（P F M）を推進する。</p> <p>4 アメニティの充実等 (1) トイレ、洗面所など、患者及び来院者が利用する施設、設備をより快適なものに整備・充実を図る。 (2) 患者の心にゆとりや潤いを与えるため屋上緑化を推進する。 (3) 患者の療養環境の向上のため、患者の個室化ニーズ等への対応を検討する。</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進 (1) 患者の県立病院に対する意見等を把握し、患者サービスの向上に繋げるため、定期的に患者意識調査を実施する。 (2) 病院運営懇話会、提案箱、フォーラムなどを通じて寄せられた意見や提案に適切に対応する。 (3) 各職場の接遇リーダーを養成する研修や患者に接する機会の多い職員を対象に接遇研修を実施し、接遇の向上を図る。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																										
<p>〔目標〕 外来待ち時間の短縮、平均在院日数の短縮、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 外来待ち時間の短縮 ・各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図る ・はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備において、I C Tシステムの活用により、会計等での待ち時間の短縮を図る（姫路）</p> <p>2 患者の退院に向けた相談体制の強化 (1) 入院前検査センター（対象パス件数、入院及び検査説明件数）</p>	<p>外来待ち時間の短縮、平均在院日数の短縮、快適な療養環境の確保により患者サービスが向上した。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 外来待ち時間の短縮 ・各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図った ・はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備において、I C Tシステムの活用により、会計等での待ち時間の短縮を図った（姫路）</p> <p>2 患者の退院に向けた相談体制の強化 (単位：件、件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">R1 計画</th> <th colspan="2">R1 実績</th> <th colspan="2">H30 実績</th> <th rowspan="2">②/①</th> </tr> <tr> <th>対象パス</th> <th>件数①</th> <th>対象パス</th> <th>件数②</th> <th>対象パス</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>336</td> <td>22,000</td> <td>319</td> <td>20,456</td> <td>288</td> <td>21,303</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>41</td> <td>2,300</td> <td>49</td> <td>2,350</td> <td>33</td> <td>2,397</td> <td>102.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>13</td> <td>1,380</td> <td>10</td> <td>2,956</td> <td>8</td> <td>1,238</td> <td>214.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>20</td> <td>5,057</td> <td>41</td> <td>6,421</td> <td>27</td> <td>5,362</td> <td>127.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>—</td> <td>8,500</td> <td>—</td> <td>8,664</td> <td>—</td> <td>5,425</td> <td>101.9%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>20</td> <td>1,580</td> <td>23</td> <td>1,549</td> <td>21</td> <td>3,308</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>430</td> <td>40,817</td> <td>434</td> <td>42,396</td> <td>377</td> <td>39,033</td> <td>103.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画		R1 実績		H30 実績		②/①	対象パス	件数①	対象パス	件数②	対象パス	件数	総合	尼崎	336	22,000	319	20,456	288	21,303	93.0%	西宮	41	2,300	49	2,350	33	2,397	102.2%	加古川	13	1,380	10	2,956	8	1,238	214.2%	淡路	20	5,057	41	6,421	27	5,362	127.0%	専門	こども	—	8,500	—	8,664	—	5,425	101.9%	姫路	20	1,580	23	1,549	21	3,308	98.0%	計		430	40,817	434	42,396	377	39,033	103.9%	○	<p>(加古川) 患者サービスの向上のため、対象パス以外でも積極的に入院及び検査説明を実施 (淡路) パス対象の疾患を増加（白内障手術等）</p>	<p>○入院前検査センターの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎（検査・入院説明センター：H27.7 設置）</li> <li>・西宮（入退院支援センター：H30.7 設置）</li> <li>・加古川（入院サポートセンター：H29.4 設置）</li> <li>・丹波（入院センター：R1.7 設置）</li> <li>・淡路（入退院支援センター：H30.9 設置）</li> <li>・こども（入院前検査センター：H28.5 設置）</li> <li>・姫路（入院支援センター：H25.12 設置）</li> </ul> <p>※PFM(Patient Flow Manage-Ment) 予定入院患者の情報を入院前に把握し、問題解決に早期に着手すると同時に、病床の管理を合理的に行う等を目的とする仕組み</p>
区分	病院名			R1 計画		R1 実績		H30 実績			②/①																																																																			
		対象パス	件数①	対象パス	件数②	対象パス	件数																																																																							
総合	尼崎	336	22,000	319	20,456	288	21,303	93.0%																																																																						
	西宮	41	2,300	49	2,350	33	2,397	102.2%																																																																						
	加古川	13	1,380	10	2,956	8	1,238	214.2%																																																																						
	淡路	20	5,057	41	6,421	27	5,362	127.0%																																																																						
専門	こども	—	8,500	—	8,664	—	5,425	101.9%																																																																						
	姫路	20	1,580	23	1,549	21	3,308	98.0%																																																																						
計		430	40,817	434	42,396	377	39,033	103.9%																																																																						
<p>(2) P F Mの活用により患者の入退院管理最適化を推進（尼崎、淡路）</p>	<p>(2) P F Mの活用により患者の入退院管理最適化を推進（尼崎、淡路）</p>	○																																																																												

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																										
<p>3 平均在院日数の適正化</p> <p>・平均在院日数</p> <table border="1" data-bbox="507 348 1659 735"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 決算</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>9.5</td> <td>9.4</td> <td>9.6</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>9.7</td> <td>10.2</td> <td>9.6</td> <td>105.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>11.3</td> <td>11.4</td> <td>12.0</td> <td>100.9%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>13.7</td> <td>12.7</td> <td>13.8</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>柏原(丹波)</td> <td>12.0</td> <td>11.9</td> <td>11.3</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こころ</td> <td>71.1</td> <td>82.9</td> <td>74.4</td> <td>116.6%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>12.2</td> <td>11.8</td> <td>11.8</td> <td>96.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>13.0</td> <td>11.6</td> <td>12.3</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>13.2</td> <td>97.9%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>30.0</td> <td>30.6</td> <td>34.9</td> <td>102.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 決算	②/①	総合	尼崎	9.5	9.4	9.6	98.9%	西宮	9.7	10.2	9.6	105.2%	加古川	11.3	11.4	12.0	100.9%	淡路	13.7	12.7	13.8	92.7%	柏原(丹波)	12.0	11.9	11.3	99.2%	専門	こころ	71.1	82.9	74.4	116.6%	こども	12.2	11.8	11.8	96.7%	がん	13.0	11.6	12.3	89.2%	姫路	14.3	14.0	13.2	97.9%	粒子線	30.0	30.6	34.9	102.0%	<p>3 平均在院日数の適正化</p> <p>(単位：日)</p>	<p>○</p>		
区分	病院名	R1 計画①	R1 実績②	H30 決算	②/①																																																									
総合	尼崎	9.5	9.4	9.6	98.9%																																																									
	西宮	9.7	10.2	9.6	105.2%																																																									
	加古川	11.3	11.4	12.0	100.9%																																																									
	淡路	13.7	12.7	13.8	92.7%																																																									
	柏原(丹波)	12.0	11.9	11.3	99.2%																																																									
専門	こころ	71.1	82.9	74.4	116.6%																																																									
	こども	12.2	11.8	11.8	96.7%																																																									
	がん	13.0	11.6	12.3	89.2%																																																									
	姫路	14.3	14.0	13.2	97.9%																																																									
	粒子線	30.0	30.6	34.9	102.0%																																																									
<p>4 アメニティの充実等</p> <p>・患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進</p> <p>(1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院を除く各病院で、年1回以上開催</p> <p>(2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）</p>	<p>4 アメニティの充実等</p> <p>患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進</p> <p>(1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院及び丹波を除く各病院で、年1回以上開催（丹波は新病院移転に伴いH30は休止、統合再編に係る意見交換会をもって代替）</p> <p>(2) 接遇研修の実施（R1.9.10）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>○患者意識調査の実施状況 実施病院：県立10病院、1診療所 （重篤患者が大半である災害医療センター、独自に患者アンケートを実施しているリハ2病院では実施せず） 実施時期：令和元年8～9月 回答数：外来4,210件、入院1,359件</p> <p>○全病院に提案箱を設置し、寄せられた意見や提案等について、情報誌や掲示板で対応内容等を周知</p> <p>○接遇研修の実施 ※R2はコロナウイルス感染症の状況を踏まえ実施の可否を検討</p>																																																										

II 安心できる県立病院の実現

項目4 医療の信頼性の向上

<p>○ 基本方向</p> <p>患者自身の治療法の理解と選択を支援するため、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンを充実する。また、EBMの推進や外部評価の活用により、県立病院における医療の信頼性の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等</p> <p>(1) 電子カルテ等を活用し、患者の立場に立った分かりやすく説明を行い、インフォームド・コンセントを取得する。</p> <p>(2) 患者の自己決定権を尊重した医療を実施するため、セカンド・オピニオンを推進する。</p> <p>(3) 患者からカルテ開示がなされた場合には、「個人情報の保護に関する条例」に基づき、適切に開示を行う。</p> <p>2 EBMの推進</p> <p>各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進する。</p> <p>3 外部評価の活用</p> <p>病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																
<p>〔目標〕</p> <p>患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施する。</p> <p>また、病院運営懇話会等において広く県民等から意見を求め、県民の医療ニーズを病院運営に反映するとともに、患者や家族の立場や心理に十分配慮した接遇やコミュニケーションを行う。また、県民の健康・医療への関心に応じて、公開講座やセミナー、フォーラム等を開催する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等</p> <p>(1) 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントの実施</p> <p>(2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (H29年実績:599件→H30年11月まで:374件)</p> <p>(3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施 (H29年実績:328件→H30年12月まで:287件)</p> <p>2 EBMの推進</p> <p>・各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 (EBM=Evidence-based Medicine:根拠に基づく医療)</p> <p>3 外部評価の推進</p> <p>・病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施</p>	<p>患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントに努めたほか、セカンド・オピニオンや患者の求めに応じたカルテ開示を適切に実施した。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等</p> <p>(1) 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントの実施</p> <p>(2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (H30実績:544件→R1実績:527件)</p> <p>(3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施 (H30実績:372件→R1実績:407件)</p> <p>2 EBMの推進</p> <p>各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進</p> <p>3 外部評価の推進</p> <p>ISO15189受審に向けた準備を開始 (R2.10受審予定)(こども)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○セカンド・オピニオンの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>642件</td> <td>586件</td> <td>599件</td> <td>544件</td> <td>527件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カルテ開示状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>404件</td> <td>397件</td> <td>328件</td> <td>372件</td> <td>407件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院機能評価の認定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価の認定</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床検査室の認定 (ISO15189)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISO15189の認定</td> <td>尼崎総合医療センター がんセンター</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	件数	642件	586件	599件	544件	527件	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	件数	404件	397件	328件	372件	407件	区分	病院名	病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院	区分	病院名	ISO15189の認定	尼崎総合医療センター がんセンター	<p>参考：現況（令和2年7月の状況等）</p>
年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																															
件数	642件	586件	599件	544件	527件																															
年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																															
件数	404件	397件	328件	372件	407件																															
区分	病院名																																			
病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院																																			
区分	病院名																																			
ISO15189の認定	尼崎総合医療センター がんセンター																																			

II 安心できる県立病院の実現

項目5 県民等への情報発信の推進

○ 基本方向

地域の医療機関への情報提供等を通じた地域医療連携の推進とともに、県民等に県立病院の診療機能や役割等の更なる周知を図るため、民間のノウハウを取り入れながら様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に行う。

○ 取組内容

- 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
- 2 広報誌の充実により患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
- 3 報道機関に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を行う。
- 4 患者や紹介元医療機関に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																																																																									
<p>〔目標〕</p> <p>病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。</p>	<p>病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供した。</p>	○																																																																																																																																																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院ホームページの全面リニューアル、地域医療連携ニュースレターの発行回数の増加（年2回→年4回）（加古川）</li> <li>・病院ホームページの全面リニューアル、ケーブルテレビ・新聞による病院提供情報の発信（不定期）（淡路）</li> </ul> <p>2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の発行</li> </ul>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供</p> <p>2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行</p> <p style="text-align: right;">（単位：回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>広報誌名</th> <th>R1 計画①</th> <th>R1 実績②</th> <th>H30 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>あまが咲だより</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>はまかぜ</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td rowspan="2">加古川</td><td>県かこ地域医療連携ニュース</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>ニュースレター</td><td>4</td><td>3</td><td>1</td><td>75.0%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>くこうみ県病だより</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>66.7%</td></tr> <tr><td rowspan="2">柏原(丹波)</td><td>地域医療連携室だより</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>がん相談支援センターだより</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>光る風</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>こども</td><td>げんきカエル</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>かけはし</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td rowspan="2">姫路</td><td>あじさい</td><td>12</td><td>4</td><td>12</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>地域医療連携NEWS</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td rowspan="2">粒子線</td><td>ニュースレター</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>粒子線医療センターだより</td><td>—</td><td>4</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>神戸陽子</td><td>ニュースレター</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>地域医療連携だより</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>リハ西</td><td>ひかりの都</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td>—</td><td>76</td><td>70</td><td>73</td><td>92.1%</td></tr> </tbody> </table>	病院名	広報誌名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①	尼崎	あまが咲だより	12	12	12	100.0%	西宮	はまかぜ	4	4	4	100.0%	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6	6	6	100.0%	ニュースレター	4	3	1	75.0%	淡路	くこうみ県病だより	3	2	4	66.7%	柏原(丹波)	地域医療連携室だより	4	4	4	100.0%	がん相談支援センターだより	3	3	3	100.0%	こころ	光る風	4	4	4	100.0%	こども	げんきカエル	4	4	4	100.0%	がん	かけはし	6	6	5	100.0%	姫路	あじさい	12	4	12	33.3%	地域医療連携NEWS	6	6	6	100.0%	粒子線	ニュースレター	1	1	1	100.0%	粒子線医療センターだより	—	4	—	—	神戸陽子	ニュースレター	2	2	1	100.0%	リハ中	地域医療連携だより	2	2	2	100.0%	リハ西	ひかりの都	3	3	3	100.0%	計	—	76	70	73	92.1%	○		<p>★広報誌の発行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発行頻度</th> <th>病院名</th> <th>情報誌名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>年1回</td><td>粒子線</td><td>ニュースレター</td></tr> <tr><td rowspan="3">年2回</td><td>淡路</td><td>くこうみ県病だより</td></tr> <tr><td>神戸陽子</td><td>ニュースレター</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>地域医療連携だより</td></tr> <tr><td rowspan="2">年3回</td><td>柏原(丹波)</td><td>がん相談支援センターだより</td></tr> <tr><td>リハ西</td><td>ひかりの都</td></tr> <tr><td rowspan="6">年4回</td><td>西宮</td><td>はまかぜ</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>ニュースレター</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>光る風</td></tr> <tr><td>柏原(丹波)</td><td>地域医療連携室だより</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>あじさい</td></tr> <tr><td>こども</td><td>げんきカエル</td></tr> <tr><td rowspan="3">年6回</td><td>粒子線</td><td>粒子線医療センターだより</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>県かこ地域医療連携ニュース</td></tr> <tr><td>がん</td><td>かけはし</td></tr> <tr><td rowspan="2">月1回</td><td>姫路</td><td>地域医療連携NEWS</td></tr> <tr><td>尼崎</td><td>あまが咲だより</td></tr> </tbody> </table> <p>○web 広告経由での神戸陽子線センター HP アクセス数（2020.4～2020.6）：22,532件（グーグル経由14,025件、ヤフー経由3,829件）</p>	発行頻度	病院名	情報誌名	年1回	粒子線	ニュースレター	年2回	淡路	くこうみ県病だより	神戸陽子	ニュースレター	リハ中	地域医療連携だより	年3回	柏原(丹波)	がん相談支援センターだより	リハ西	ひかりの都	年4回	西宮	はまかぜ	加古川	ニュースレター	こころ	光る風	柏原(丹波)	地域医療連携室だより	姫路	あじさい	こども	げんきカエル	年6回	粒子線	粒子線医療センターだより	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	がん	かけはし	月1回	姫路	地域医療連携NEWS	尼崎	あまが咲だより
病院名	広報誌名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①																																																																																																																																																								
尼崎	あまが咲だより	12	12	12	100.0%																																																																																																																																																								
西宮	はまかぜ	4	4	4	100.0%																																																																																																																																																								
加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6	6	6	100.0%																																																																																																																																																								
	ニュースレター	4	3	1	75.0%																																																																																																																																																								
淡路	くこうみ県病だより	3	2	4	66.7%																																																																																																																																																								
柏原(丹波)	地域医療連携室だより	4	4	4	100.0%																																																																																																																																																								
	がん相談支援センターだより	3	3	3	100.0%																																																																																																																																																								
こころ	光る風	4	4	4	100.0%																																																																																																																																																								
こども	げんきカエル	4	4	4	100.0%																																																																																																																																																								
がん	かけはし	6	6	5	100.0%																																																																																																																																																								
姫路	あじさい	12	4	12	33.3%																																																																																																																																																								
	地域医療連携NEWS	6	6	6	100.0%																																																																																																																																																								
粒子線	ニュースレター	1	1	1	100.0%																																																																																																																																																								
	粒子線医療センターだより	—	4	—	—																																																																																																																																																								
神戸陽子	ニュースレター	2	2	1	100.0%																																																																																																																																																								
リハ中	地域医療連携だより	2	2	2	100.0%																																																																																																																																																								
リハ西	ひかりの都	3	3	3	100.0%																																																																																																																																																								
計	—	76	70	73	92.1%																																																																																																																																																								
発行頻度	病院名	情報誌名																																																																																																																																																											
年1回	粒子線	ニュースレター																																																																																																																																																											
年2回	淡路	くこうみ県病だより																																																																																																																																																											
	神戸陽子	ニュースレター																																																																																																																																																											
	リハ中	地域医療連携だより																																																																																																																																																											
年3回	柏原(丹波)	がん相談支援センターだより																																																																																																																																																											
	リハ西	ひかりの都																																																																																																																																																											
年4回	西宮	はまかぜ																																																																																																																																																											
	加古川	ニュースレター																																																																																																																																																											
	こころ	光る風																																																																																																																																																											
	柏原(丹波)	地域医療連携室だより																																																																																																																																																											
	姫路	あじさい																																																																																																																																																											
	こども	げんきカエル																																																																																																																																																											
年6回	粒子線	粒子線医療センターだより																																																																																																																																																											
	加古川	県かこ地域医療連携ニュース																																																																																																																																																											
	がん	かけはし																																																																																																																																																											
月1回	姫路	地域医療連携NEWS																																																																																																																																																											
	尼崎	あまが咲だより																																																																																																																																																											
		○	(加古川) 新型コロナウイルスの影響により発行減 (淡路) 年2回の発行に変更																																																																																																																																																										
		○	(姫路) 地域連携NEWSも発行（年6回）しているため、年4回の発行に変更																																																																																																																																																										

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）				
<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進                      ・2019年7月の新病院開院に合わせ、関連施設を整備する丹波市とも連携しながら、新たな病院の機能や役割等を重点的に広報する。（柏原）</p> <p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信                      ・講演会の開催等</p>	<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進                      ・令和元年7月の新病院開院に合わせ、関連施設を整備する丹波市とも連携しながら、新たな病院の機能や役割等を重点的に広報した。（柏原（丹波））</p> <p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信</p>	○						
(単位：回)								
病院名	講座名	R1 計画①	R1 実績②	H30 実績	②/①			
尼崎	・市民すこやかセミナー	6	6	6	100.0%	○		
	・社協コラボ出前セミナー	6	7	8	116.7%	○		
西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3	3	3	100.0%	○		
加古川	・県民向けフォーラム	1	1	1	100.0%	○		
淡路	(1) 市民公開講座	2	3	2	150.0%	◎	(淡路)	
	(2) 病院フェスタ	1	1	1	100.0%	○	対象講座の増	
こころ	(1) 県民向け講演会	1	1	1	100.0%	○		
	(2) セミナー	5	4	5	80.0%	○		
	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2	2	2	100.0%	○		
柏原(丹波)	(1) 病院フェスタ	1	1	1	100.0%	○		
	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	12	11	12	91.7%	○		
がん	・がんフォーラム	4	2	3	50.0%	▲	(がん)	
姫路	(1) 循環器疾患予防フォーラム	1	1	1	100.0%	○	新型コロナウイルスの影響により開催を一部中止	
	(2) 認知症疾患予防フォーラム	1	0	1	0.0%	▲	(姫路)	
粒子線	・粒子線治療連携懇談会	1	1	1	100.0%	○	新型コロナウイルスの影響により開催を中止	
リハ中	・県民公開講座	1	1	1	100.0%	○		
リハ西	・県民公開講座	1	1	1	100.0%	○		
計		49	46	50	93.9%			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

○ 基本方向	持続可能な経営を行うため、不断の経営改善に努め、経常損益について黒字経営の確保を図る。 なお、丹波医療センター（2019（H31）年度）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度）の統合再編整備等により、一時的な収支悪化が見込まれるため、早期の経営安定方策を検討し、経営改革の取組を進める。
○ 取組内容	
1 経営目標の設定	(1) 各年度の経営実施計画を策定し、具体の数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定める。 (3) 病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。 (4) 各病院において優れた取組、経営努力等に関する前向きな取組を評価し、予算配分に反映させるなど職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 (5) 経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに県民が理解しやすいように公表する。 (6) 外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。
2 持続的な経営への取組	(1) 新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者受入れの促進などにより、収支の悪化を抑制する。 (2) 持続可能な経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
〔目標〕 丹波医療センターの開院に伴う患者調整等により、一時的な収支悪化が見込まれるが、各病院が引き続き収益の確保、費用の抑制に努め、病院事業全体で経常黒字を目指す。なお、純損益は、旧柏原病院建物の特別償却費等を特別損失として計上するため22億円の赤字を見込む。	各病院が収益の確保や費用の抑制など、経営改善に取り組んだものの、給与改定による給与費の増や薬品費・診療材料費の増などによる収支構造の変化に加え、新型コロナウイルス感染症に伴う入院病床の確保、受診控え等の影響により、経常損益は31億円の赤字、純損益は40億円の赤字となった。	▲	丹波医療センターの開院に伴う患者調整等による減収、給与改定による給与費の増や薬品費・診療材料の増などによる収支構造の変化、新型コロナウイルス感染症に伴う入院病床の確保、受診控え等により、経営状況が悪化	
〔取組項目〕 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定 (3) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有 (4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分） (5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表 2 持続的な経営への取組 (1) 丹波医療センターの開院に伴う患者調整等により、一時的に収支は悪化するが、速やかに患者確保を図ることなどにより、収支改善に努める。 (2) 2019年度末の内部留保資金残高（見込）：48億円	〔取組項目〕 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図った。 (2) 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、手術件数及び救急搬送患者数等も設定し、数値目標を明確化 (3) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 毎月の病院運営会議、管理局長会議で計画の進捗状況を報告し、各病院の課題や取組状況など意見交換を実施 (4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）を実施 (5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表 2 持続的な経営への取組 (1) 丹波医療センターの開院に伴う患者調整等により、一時的に収支は悪化するが、速やかに患者確保を図ることなどにより、収支改善に努めた。 (2) 2019（令和元）年度末の内部留保資金残高（見込）：34億円	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △		1 令和2年度の経営目標の設定 ・病院別の経営実施計画（数値目標を含む）を策定 ・病院別の月次収支分析及び計画の達成状況を進行管理 (3) 各種会議実施状況 病院運営会議、管理局長会議（共に月1回）で病院毎の経営状況、経営健全化方策を共有 (4) 評価等実績 経営成績が改善した病院に、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分） 2 持続的な経営への取組 会計年度任用職員制度の導入に伴う給与費の増や薬品費・診療材料費の増に加え、4～5月の新型コロナウイルス感染症に伴う入院病床の確保、受診控え等の影響により、大幅な経営悪化が見込まれる。 このため、6月以降は第2波、第3波に備えた一定の入院病床の確保に加え、感染防止対策を徹底したうえで、段階的に通常の医療体制に戻すことを目標に、病院局、県立病院が一体となって経営の立て直しに取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
------	------	----	----	-------------------

収 支（13病院）

（単位：億円）

区 分		H30決算 ①	R元当初計画 ②	R元最終予算 ③	R元決算 ④	対前年 (④-①)	対最終予算 (④-③)
収益的 収支	経常収益 (A)	1,328	1,351	1,388	1,355	27	△ 33
	(うち一般会計繰入金) (B)	160	160	160	160	0	0
	経常費用 (C)	1,332	1,351	1,397	1,386	54	△ 11
	当期経常損益 (D = A - C)	△ 4	0	△ 9	△ 31	△ 27	△ 22
	特別損益 (E)	4	△ 22	△ 10	△ 9	△ 13	1
	当期純損益 (F = D + E)	0	△ 22	△ 19	△ 40	△ 40	△ 21
	資金収支 (G)	56	68	62	21	△ 35	△ 41
資本的 収支	収入 (H)	306	301	316	230	△ 76	△ 86
	(うち一般会計繰入金) (I)	135	71	71	71	△ 64	0
	(うち一般会計繰入金調整) (J)	△ 13	0	0	0	13	0
	支出 (K)	344	353	369	258	△ 86	△ 111
	差引(資金収支) (L = H - K)	△ 38	△ 52	△ 53	△ 28	10	25
一般会計繰入金の合計 (B + I - J)	282	231	231	231	△ 51	0	
総資金収支 (M = G + L)	18	16	9	△ 7	△ 25	△ 16	
内部留保資金残高 (N = M + N[前年度])	40	56	48	34	△ 6	△ 14	

※ 特別損失：(R元) 旧柏原病院建物等特別償却 14億円 等

※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金はない。

※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある(以下の表も同じ)。

経営状況(各病院ごとの経常損益)

(単位 百万円)

区分	総合病院						専門病院						10病院計
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	姫路	粒子線		
											たつの	神戸陽子	
H30年度決算①	306	224	△ 132	△ 209	63	252	△ 81	△ 109	173	93	△ 64	△ 646	△ 382
R元年度当初計画②	359	319	△ 30	△ 991	246	△ 97	△ 109	13	169	222	240	△ 428	9
R元年度最終予算③	228	207	64	△ 872	165	△ 208	△ 309	25	133	56	△ 110	△ 562	△ 975
R元年度決算④	△ 281	△ 88	△ 104	△ 981	54	△ 1,400	△ 377	△ 63	△ 159	△ 240	△ 337	△ 550	△ 3,126
対前年(④-①)	△ 587	△ 312	28	△ 772	△ 9	△ 1,652	△ 296	46	△ 332	△ 333	△ 273	96	△ 2,744
対予算(④-③)	△ 509	△ 295	△ 168	△ 109	△ 111	△ 1,192	△ 68	△ 88	△ 292	△ 296	△ 227	12	△ 2,151

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価	説明				参考：現況（令和2年7月の状況等）							
【令和元年度決算の内訳】														（単位：床、%、人、千円）				
区 分	総合病院						専門病院							10病院計	指定管理			13病院計
	尼 崎	西 宮	加 古 川	丹 波	淡 路	小 計	こ ころ	こ ど も	が ん	姫 路	粒子線				災 害	リハ中央	リハ西播磨	
											たつの	神 戸	計					
稼働病床数	730	400	353	238	441	2,162	286	275	377	330	50	—	50	3,480	30	330	100	3,940
病床利用率（%）	92.9	86.2	81.4	85.2	82.6	86.8	65.4	86.7	72.7	69.5	57.3	—	57.3	81.4	83.2	82.3	95.2	81.9
延入院患者数	248,179	126,165	105,137	70,063	133,351	682,895	68,407	87,299	100,321	83,909	10,482	—	10,482	1,033,313	9,132	99,350	34,838	1,176,633
（1日当たり）	678	345	287	191	364	1,866	187	239	274	229	29	0	29	2,823	25	271	95	3,215
延外来患者数	471,273	161,370	181,041	117,110	197,824	1,128,618	51,122	103,385	160,654	83,888	5,474	6,563	12,037	1,539,704	177	52,905	10,471	1,603,257
（1日当たり）	1,964	672	754	488	824	4,703	213	431	669	350	23	27	50	6,415	1	220	44	6,680
入院収益	21,969,020	7,683,474	6,757,591	3,640,405	9,121,341	49,171,831	1,615,765	8,139,808	6,953,538	8,675,058	766,113	0	766,113	75,322,113	0	0	0	75,322,113
（1人1日）	88,521	60,900	64,274	51,959	68,401	72,005	23,620	93,241	69,313	103,387	73,088	—	73,088	72,894	0	0	0	72,894
外来収益	9,168,010	2,790,078	3,486,995	1,559,641	2,995,126	19,999,850	352,760	1,816,334	8,220,312	2,305,029	244,884	474,610	719,494	33,413,779	0	0	0	33,413,779
（1人1日）	19,454	17,290	19,261	13,318	15,140	17,721	6,900	17,569	51,168	27,477	44,736	72,316	59,774	21,701	0	0	0	21,701
その他医業収益	726,448	274,163	336,519	289,798	218,097	1,845,025	16,617	145,252	508,766	186,882	41,297	773	42,070	2,744,612	0	0	0	2,744,612
<b>**医業収益計**</b>	<b>31,863,478</b>	<b>10,747,715</b>	<b>10,581,105</b>	<b>5,489,844</b>	<b>12,334,564</b>	<b>71,016,706</b>	<b>1,985,142</b>	<b>10,101,394</b>	<b>15,682,616</b>	<b>11,166,969</b>	<b>1,052,294</b>	<b>475,383</b>	<b>1,527,677</b>	<b>111,480,504</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>111,480,504</b>
医業外収益	495,374	128,082	368,544	256,615	189,658	1,438,273	56,165	147,033	125,252	114,708	35,588	482	36,070	1,917,501	181	5,548	666	1,923,896
長期前受金戻入	1,023,193	361,215	670,803	146,140	690,406	2,891,757	173,649	755,214	421,388	351,573	344,872	282,526	627,398	5,220,979	217,649	403,676	220,151	6,062,455
特別利益	39,709	8,191	20,832	937,143	15,725	1,021,600	2,477	2,751	1,720	2,821	85	147	232	1,031,601	0	0	0	1,031,601
<b>** 合 計 **</b>	<b>33,421,754</b>	<b>11,245,203</b>	<b>11,641,284</b>	<b>6,829,742</b>	<b>13,230,353</b>	<b>76,368,336</b>	<b>2,217,433</b>	<b>11,006,392</b>	<b>16,230,976</b>	<b>11,636,071</b>	<b>1,432,839</b>	<b>758,538</b>	<b>2,191,377</b>	<b>119,650,585</b>	<b>217,830</b>	<b>409,224</b>	<b>220,817</b>	<b>120,498,456</b>
給 与 費	17,446,462	7,077,563	6,465,143	4,456,254	7,382,033	42,827,455	3,018,745	7,784,452	6,693,892	5,746,731	614,489	273,167	887,656	66,958,931	36,040	21,660	10,990	67,027,621
（退職給与金）	383,058	249,768	175,232	129,777	293,059	1,230,894	181,590	266,016	273,719	332,029	41,935	0	41,935	2,326,183	0	0	0	2,326,183
（退職給付引当金）	272,490	139,686	128,575	63,389	145,787	749,927	66,227	144,067	119,070	120,100	8,032	10,254	18,286	1,217,677	0	0	0	1,217,677
（賞与引当金）	648,000	306,000	295,000	143,000	310,000	1,702,000	159,000	346,000	354,000	264,000	19,000	11,000	30,000	2,855,000	0	0	0	2,855,000
材 料 費	11,470,203	2,972,062	3,283,312	1,243,340	4,004,496	22,973,413	172,290	2,153,370	7,853,043	5,125,322	92,178	7,555	99,733	38,377,171	0	0	0	38,377,171
経 費	4,683,618	1,657,512	1,898,538	1,770,500	1,958,122	11,968,290	559,773	2,021,657	1,812,303	1,460,234	931,561	456,839	1,388,400	19,210,657	721,899	274,966	125,197	20,332,719
減価償却費	2,341,470	622,552	1,020,634	129,889	1,098,398	5,212,943	281,093	1,231,559	557,698	555,523	348,398	514,700	863,098	8,701,914	195,872	386,302	210,627	9,494,715
資産減耗費	39,870	8,609	46,078	43,995	34,597	173,149	3,230	6,219	134,150	57,051	18,642	10,925	29,567	403,366	7,932	793	0	412,091
研究研修費	200,619	55,701	39,636	17,784	44,775	358,515	13,938	53,070	128,265	61,096	6,308	784	7,092	621,976	0	0	0	621,976
<b>**医業費用計**</b>	<b>36,182,242</b>	<b>12,393,999</b>	<b>12,753,341</b>	<b>7,661,762</b>	<b>14,522,421</b>	<b>83,513,765</b>	<b>4,049,069</b>	<b>13,250,327</b>	<b>17,179,351</b>	<b>13,005,957</b>	<b>2,011,576</b>	<b>1,263,970</b>	<b>3,275,546</b>	<b>134,274,015</b>	<b>961,743</b>	<b>683,721</b>	<b>346,814</b>	<b>136,266,293</b>
医業外費用	331,098	113,196	314,687	228,669	272,761	1,260,411	118,994	201,464	134,647	84,090	291,751	94,257	386,008	2,185,614	41,651	46,274	31,035	2,304,574
特別損失	63,937	41,509	105,353	1,496,606	8,191	1,715,596	2,605	104,638	24,135	43,744	1,536	1,557	3,093	1,893,811	0	0	0	1,893,811
<b>** 合 計 **</b>	<b>36,577,277</b>	<b>12,548,704</b>	<b>13,173,381</b>	<b>9,387,037</b>	<b>14,803,373</b>	<b>86,489,772</b>	<b>4,170,668</b>	<b>13,556,429</b>	<b>17,338,133</b>	<b>13,133,791</b>	<b>2,304,863</b>	<b>1,359,784</b>	<b>3,664,647</b>	<b>138,353,440</b>	<b>1,003,394</b>	<b>729,995</b>	<b>377,849</b>	<b>140,464,678</b>
差 引 損 益	△ 3,155,523	△ 1,303,501	△ 1,532,097	△ 2,557,295	△ 1,573,020	△ 10,121,436	△ 1,953,235	△ 2,550,037	△ 1,107,157	△ 1,497,720	△ 872,024	△ 601,246	△ 1,473,270	△ 18,702,855	△ 785,564	△ 320,771	△ 157,032	△ 19,966,222
一般会計繰入金	2,850,176	1,182,109	1,343,767	1,017,060	1,634,558	8,027,670	1,575,750	2,385,617	925,453	1,217,247	533,642	49,583	583,225	14,714,962	785,564	320,771	157,032	15,978,329
当期純損益	△ 305,347	△ 121,392	△ 188,330	△ 1,540,235	61,538	△ 2,093,766	△ 377,485	△ 164,420	△ 181,704	△ 280,473	△ 338,382	△ 551,663	△ 890,045	△ 3,987,893	0	0	0	△ 3,987,893
経常損益	△ 281,119	△ 88,074	△ 103,809	△ 980,772	54,004	△ 1,399,770	△ 377,357	△ 62,533	△ 159,289	△ 239,550	△ 336,931	△ 550,253	△ 887,184	△ 3,125,683	0	0	0	△ 3,125,683
給与費比率	54.8	65.9	61.1	81.2	59.8	60.3	152.1	77.1	42.7	51.5	58.4	57.5	58.1	60.1				60.1
材料費比率	36.0	27.7	31.0	22.6	32.5	32.3	8.7	21.3	50.1	45.9	8.8	1.6	6.5	34.4				34.4
経費比率	14.7	15.4	17.9	32.3	15.9	16.9	28.2	20.0	11.6	13.1	88.5	96.1	90.9	17.2				18.2

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (1) 患者の受入れ促進等

○ 基本方向  
設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、患者の受入れを促進する。

○ 取組内容

1 新規患者の受入れ促進  
 (1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。  
 (2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。  
     ① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。  
     ② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。  
     ③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。  
     ④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。  
 (3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入れを促進する。  
     ① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。  
     ② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入れを行う。  
     ③ ドクターカーやドクターヘリによる重症患者の受入れを強化する。  
 (4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。  
     ① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。  
     ② 地域医療連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。

2 効率的な病床運用  
 (1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。  
 (2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。  
 (3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。  
 (4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。  
 (5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。  
 (6) 院内パスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。  
 (7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																			
<p>〔目標〕 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。</p>		<p>診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進</p>				○		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">延患者数・新規患者数(10病院)</th> <th colspan="3">6月末現在</th> </tr> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>R2計画</th> <th>R2実績</th> <th>対計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>病床利用率</td> <td>84.4</td> <td>62.9</td> <td>△ 21.5</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>270,656</td> <td>201,585</td> <td>△ 69,071</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>2,974</td> <td>2,215</td> <td>△ 759</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外来</td> <td>新規患者数</td> <td>19,939</td> <td>15,325</td> <td>△ 4,614</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>389,299</td> <td>322,517</td> <td>△ 66,782</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>6,382</td> <td>5,287</td> <td>△ 1,095</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規患者数</td> <td>30,445</td> <td>20,385</td> <td>△ 10,060</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 粒子線医療センターの新規患者数は、実患者数を記載</p>	延患者数・新規患者数(10病院)		6月末現在			区分		R2計画	R2実績	対計画	入院	病床利用率	84.4	62.9	△ 21.5	延患者数	270,656	201,585	△ 69,071	1日あたり	2,974	2,215	△ 759	外来	新規患者数	19,939	15,325	△ 4,614	延患者数	389,299	322,517	△ 66,782	1日あたり	6,382	5,287	△ 1,095		新規患者数	30,445	20,385	△ 10,060																																										
延患者数・新規患者数(10病院)		6月末現在																																																																																									
区分		R2計画	R2実績	対計画																																																																																							
入院	病床利用率	84.4	62.9	△ 21.5																																																																																							
	延患者数	270,656	201,585	△ 69,071																																																																																							
	1日あたり	2,974	2,215	△ 759																																																																																							
外来	新規患者数	19,939	15,325	△ 4,614																																																																																							
	延患者数	389,299	322,517	△ 66,782																																																																																							
	1日あたり	6,382	5,287	△ 1,095																																																																																							
	新規患者数	30,445	20,385	△ 10,060																																																																																							
<p>患者数の状況(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th colspan="2">区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">稼働病床数</td> <td>H30実績①</td> <td>3,426</td> <td>—</td> <td rowspan="6">1日あたり</td> <td>H30実績①</td> <td>2,822</td> <td>6,185</td> </tr> <tr> <td>R元当初計画②</td> <td>3,480</td> <td>—</td> <td>R元当初計画②</td> <td>2,929</td> <td>6,360</td> </tr> <tr> <td>R元最終予算③</td> <td>3,480</td> <td>—</td> <td>R元最終予算③</td> <td>2,892</td> <td>6,479</td> </tr> <tr> <td>R元実績④</td> <td>3,480</td> <td>—</td> <td>R元実績④</td> <td>2,823</td> <td>6,415</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>1</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 69</td> <td>△ 64</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">延患者数</td> <td>H30実績①</td> <td>1,029,875</td> <td>1,509,233</td> <td rowspan="6">新規患者数</td> <td>H30実績①</td> <td>77,914</td> <td>117,645</td> </tr> <tr> <td>R元当初計画②</td> <td>1,072,174</td> <td>1,526,504</td> <td>R元当初計画②</td> <td>79,844</td> <td>125,846</td> </tr> <tr> <td>R元最終予算③</td> <td>1,058,476</td> <td>1,554,921</td> <td>R元最終予算③</td> <td>79,353</td> <td>121,385</td> </tr> <tr> <td>R元実績④</td> <td>1,033,313</td> <td>1,539,704</td> <td>R元実績④</td> <td>79,083</td> <td>121,847</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>3,438</td> <td>30,471</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>1,169</td> <td>4,202</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 25,163</td> <td>△ 15,217</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 270</td> <td>462</td> </tr> </tbody> </table>		区分		入院	外来	区分		入院	外来	稼働病床数	H30実績①	3,426	—	1日あたり	H30実績①	2,822	6,185	R元当初計画②	3,480	—	R元当初計画②	2,929	6,360	R元最終予算③	3,480	—	R元最終予算③	2,892	6,479	R元実績④	3,480	—	R元実績④	2,823	6,415	対前年(④-①)	54	—	対前年(④-①)	1	230	対予算(④-③)	0	—	対予算(④-③)	△ 69	△ 64	延患者数	H30実績①	1,029,875	1,509,233	新規患者数	H30実績①	77,914	117,645	R元当初計画②	1,072,174	1,526,504	R元当初計画②	79,844	125,846	R元最終予算③	1,058,476	1,554,921	R元最終予算③	79,353	121,385	R元実績④	1,033,313	1,539,704	R元実績④	79,083	121,847	対前年(④-①)	3,438	30,471	対前年(④-①)	1,169	4,202	対予算(④-③)	△ 25,163	△ 15,217	対予算(④-③)	△ 270	462						
区分		入院	外来	区分		入院	外来																																																																																				
稼働病床数	H30実績①	3,426	—	1日あたり	H30実績①	2,822	6,185																																																																																				
	R元当初計画②	3,480	—		R元当初計画②	2,929	6,360																																																																																				
	R元最終予算③	3,480	—		R元最終予算③	2,892	6,479																																																																																				
	R元実績④	3,480	—		R元実績④	2,823	6,415																																																																																				
	対前年(④-①)	54	—		対前年(④-①)	1	230																																																																																				
	対予算(④-③)	0	—		対予算(④-③)	△ 69	△ 64																																																																																				
延患者数	H30実績①	1,029,875	1,509,233	新規患者数	H30実績①	77,914	117,645																																																																																				
	R元当初計画②	1,072,174	1,526,504		R元当初計画②	79,844	125,846																																																																																				
	R元最終予算③	1,058,476	1,554,921		R元最終予算③	79,353	121,385																																																																																				
	R元実績④	1,033,313	1,539,704		R元実績④	79,083	121,847																																																																																				
	対前年(④-①)	3,438	30,471		対前年(④-①)	1,169	4,202																																																																																				
	対予算(④-③)	△ 25,163	△ 15,217		対予算(④-③)	△ 270	462																																																																																				



Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (2) 診療機能に見合う収益の確保等

○ **基本方向**  
 高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進、入院前検査センターの機能拡充やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図り、診療機能に見合う収益を確保する。

○ **取組内容**

1 **診療機能に見合う収益の確保**  
 (1) 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。  
 (2) 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の適正化を図る。  
 (3) 入院、転退院に向けた外来段階での患者アセスメントの推進により、平均在院日数の適正化を図る。  
 (4) DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。  
 (5) DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、平均在院日数の適正化を図る。  
 (6) 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。  
 (7) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、診療報酬制度への適時的確な対応等の課題について取り組む。  
 (8) 医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。  
 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う。

2 **一般会計の適切な負担**  
 総務省から毎年示される地方財政計画及び地方公営企業繰入金通知（繰入金基準）により、救急医療対策費、看護師確保対策費などが不相当経費、また、特殊医療経費、高度医療経費などが困難経費とされており、これらに基づき、安定的かつ継続的に一般会計繰入金を確保する。  
 また、地方財政計画や繰入金基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																			
<p><b>〔目標〕</b>                      診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数等(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30決算①</th> <th>R元計画②</th> <th>R元最終予算③</th> <th>R元実績④</th> <th>対前年(④-①)</th> <th>対予算(④-③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>72,409</td> <td>71,961</td> <td>74,142</td> <td>485</td> <td>△1,248</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>20,712</td> <td>20,766</td> <td>21,610</td> <td>989</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.1</td> <td>11.3</td> <td>11.5</td> <td>11.1</td> <td>0.0</td> <td>△0.4</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>46,983</td> <td>46,618</td> <td>48,504</td> <td>48,813</td> <td>1,830</td> <td>309</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p>	区分	H30決算①	R元計画②	R元最終予算③	R元実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)	診療単価(円)	入院	72,409	71,961	74,142	485	△1,248	外来	20,712	20,766	21,610	989	91	平均在院日数	11.1	11.3	11.5	11.1	0.0	△0.4	手術件数	46,983	46,618	48,504	48,813	1,830	309	<p>診療報酬制度への的確な対応、平均在院日数の適正化、手術件数の増加等により診療機能に見合う収入の確保を図った。</p>	○		<p>診療単価等(10病院) 6月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2計画</th> <th>R2実績</th> <th>対計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>75,314</td> <td>79,148</td> <td>3,834</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>22,982</td> <td>23,295</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.5</td> <td>11.5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>11,306</td> <td>9,033</td> <td>△2,273</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院で算出</p> <p>○平均在院日数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>12.1</td> <td>11.7</td> <td>11.5</td> <td>11.3</td> <td>11.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こころ、粒子線を除く</p>	区分	R2計画	R2実績	対計画	診療単価(円)	入院	75,314	79,148	3,834	外来	22,982	23,295	313	平均在院日数	11.5	11.5	0.0	手術件数	11,306	9,033	△2,273	年度	H26	H27	H28	H29	H30	日数	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1
区分	H30決算①	R元計画②	R元最終予算③	R元実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)																																																																	
診療単価(円)	入院	72,409	71,961	74,142	485	△1,248																																																																	
	外来	20,712	20,766	21,610	989	91																																																																	
平均在院日数	11.1	11.3	11.5	11.1	0.0	△0.4																																																																	
手術件数	46,983	46,618	48,504	48,813	1,830	309																																																																	
区分	R2計画	R2実績	対計画																																																																				
診療単価(円)	入院	75,314	79,148	3,834																																																																			
	外来	22,982	23,295	313																																																																			
平均在院日数	11.5	11.5	0.0																																																																				
手術件数	11,306	9,033	△2,273																																																																				
年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																		
日数	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1																																																																		
<p><b>〔取組項目〕</b>                      1 <b>診療機能に見合う収益の確保</b>                      (1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実                      ・丹波医療センターの開院                      ・MR I (姫路)、アンギオ(西宮、姫路)、PET/CT (がん)、リニアック (がん) 等                      (2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化                      (3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p>	<p><b>〔取組項目〕</b>                      1 <b>診療機能に見合う収益の確保</b>                      (1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実                      ・丹波医療センターの開院                      ・MR I (姫路)、アンギオ(西宮、姫路)、PET/CT (がん)、リニアック (がん) 等                      (2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化                      (3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p>	○  ○  ○		<p>1 <b>診療機能に見合う収益の確保</b>                      (1) 医療機器整備・更新による診療機能の充実                      令和2年度(予定)                      ・MR I (尼崎、こども、がん)、CT (尼崎)、ガンマカメラ (姫路) 等                      (2) 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院)                      令和元年実績；11.1日</p>																																																																			

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 (5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化 (6) 診療情報管理士の育成 診療情報管理士資格の新規取得者：10名（2019計画） (7) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討 (8) 精度の高い医事事務の実施 ・プロポーザル方式による医事委託業者の選定 ・医事事務にかかる研修会の実施 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施 <b>2 一般会計負担金</b> 全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。 なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金金の減額調整（総額109億円（2011～2018））について、2018年度から5年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施	(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 (5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化 (6) 診療情報管理士の育成（2019(R1)資格取得者：4名） (7) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討 (8) 精度の高い医事事務の実施 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施 <b>2 一般会計負担金</b> 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計から負担金として繰入 ・収益的収支 15,979百万円 ・資本的収支 7,138百万円	○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○	認定試験受験予定者への働きかけ不足	(4) 取組実績 ① 院内診療報酬関連委員会あるいは診療科別研修会等の開催 ② 診療科別研修会・カンファレンスを利用した診療報酬にかかる情報の共有 (6) 診療情報管理士育成状況 ・診療情報管理士取得者累積：35名 ・養成中：8名 ・認定試験受験予定者への働きかけ強化 (7) 取組実績 令和2年度診療報酬対策本部会議ワーキンググループ（WG）提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施 第1回 2020年6月4日（木） 第2回 2020年10月8日（木） 第3回 2021年3月11日（水） <b>2 一般会計負担金</b> 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計からの負担金として繰入れ

(単位：千円)

区 分		主 要 内 容	H30年度	R元年度	
収益的収支	不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	139,354	177,809
		救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,209,576	3,260,304
		保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	52,773	54,728
		共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	987,396	895,429
		その他	児童手当に要する経費の一部等	225,255	213,193
	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費等	5,268,145	5,363,911
		特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,449,559	3,335,324
		建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	827,907	821,133
		基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,720,935	1,762,490
	一般会計施策に伴うもの		丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	91,333	94,362
		合 計	15,972,233	15,978,683	
資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	12,167,640	7,137,566	

①不相当経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費（救急の医療を確保するために要する経費等）

②困難経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費（医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等）

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (3) その他の収益の確保

<p>○ 基本方向</p> <p>未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。</p> <p>使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。</p> <p>資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止することとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 職員の管理意識の向上を図るため未収金管理研修を実施するとともに、概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受領等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。</p> <p>(2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過直後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。</p> <p>(3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し</p> <p>(1) 使用料、手数料の自主料金については、適時適切に見直しを行う。</p> <p>(2) 届出によって実施が可能な先進医療については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。</p> <p>(3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。</p> <p>3 資産の有効活用</p> <p>(1) 資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止する。</p> <p>(2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																														
<p>〔目標〕</p> <p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。</p> <p>また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p>	<p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努めた。</p> <p>また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進めた。</p>	○																																																																																
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 医業収益の伸びに伴う金額増はあるものの、発生率は昨年度並に抑制</p>	○		<p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制 H20:141,257千円（発生率：0.20%） R元：80,038千円（発生率：0.07%）</p>																																																																														
<p>過年度未収金 (単位：千円、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金 A</th> <th>医業収益 B</th> <th>発生率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20 年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>H21 年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>H22 年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H23 年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>H24 年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H25 年度決算</td><td>216,511</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H26 年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>H27 年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H28 年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H29 年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H30 年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R1 年度決算</td><td>150,562</td><td>1,598</td><td>80,038</td><td>108,415,472</td><td>0.07%</td></tr> </tbody> </table>					区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B	H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	R1 年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B																																																																													
H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																													
H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																													
H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																													
H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																													
H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																													
H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																													
H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																													
H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																													
H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																													
H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																													
H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																													
R1 年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%																																																																													



実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																			
<p><b>3 資産の有効活用</b>                      (1) 柏原病院の医師公舎は新病院への移転に併せて廃止                       (2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p><b>3 資産の有効活用</b>                      (1) 令和元年7月に新病院への移転に併せて廃止                       (2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>○  ○</p>		<p><b>3 資産の有効活用</b>                      (1) 県有公舎、宿舎の利用状況（R2.6）</p> <table border="1" data-bbox="2270 336 2878 472"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>種別</th> <th>戸数</th> <th>入居</th> <th>空室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>医師公舎</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師宿舎</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 病院敷地内にあり、病院移転時に廃止予定</p>	施設名	種別	戸数	入居	空室	姫路	医師公舎	5	3	2	看護師宿舎	15	15	0	計		20	18	2
施設名	種別	戸数	入居	空室																			
姫路	医師公舎	5	3	2																			
	看護師宿舎	15	15	0																			
計		20	18	2																			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目3 費用の抑制

○ 基本方向	持続可能な経営の確保に向け、診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。
○ 取組内容	
1 給与費比率の改善	(1) 業務の委託化や効率化を検討し、給与費の適正化を進める。 (2) 診療報酬制度や診療機能の高度化に対応した職員の適正配置による収益の確保を図り、給与費比率の抑制を推進する。
2 材料費比率の改善	(1) 診療材料費の抑制 ① 診療材料については、診療材料委員会等において、性能及び価格等を検証のうえ、品目を選定する。 ② 診療材料の購入に当たっては、診療材料コンサルティング業者のノウハウを活用しながら、必要に応じてメーカーを対象とした交渉を行う。 ③ 同性能の診療材料については、安価材料への統一化を図ったうえで、一括購入に取り組む。 ④ 診療材料の使用に当たっては、在庫管理を徹底するとともに、使用数量の適正化を図る。 (2) 薬品費の抑制 ① 医薬品については、購入方式の多様化を図ることにより、より低廉な価格での購入に努める。 ② 薬剤師、事務職員等のチームにより、卸業者はもとより、必要に応じてメーカーを対象とした交渉に取り組む。 ③ 後発医薬品については、供給の安定性等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ④ バイオ後続品については、有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ⑤ 同種同効品を整理し、採用品目数の縮減を図ることにより、使用効率の向上を促進する。 ⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討する。
3 経費比率の改善	(1) 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。 (2) 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。 (3) 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。 (4) 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。 (5) 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<b>〔目標〕</b> 診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。 (10 病院) ・給与費比率 2018 年度決見 59.0%→2019 年度計画 59.0% ・材料費比率 2018 年度決見 33.0%→2019 年度計画 32.8% ・経費比率 2018 年度決見 16.4%→2019 年度計画 16.9%	費用の抑制に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率は悪化 (10 病院) ・給与費比率 2018(H30)年度実績 59.3%→2019(R1)実績 60.1% ・材料費比率 2018(H30)年度実績 33.1%→2019(R1)実績 34.4% ・経費比率 2018(H30)年度実績 16.5%→2019(R1)実績 17.2%	○	費用の抑制に努めたものの、 ・診療機能拡充に伴う医師等の増員や給与改定による給与費の増に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に占める給与費比率が悪化 ・高額な抗がん剤等薬品費の増加、手術件数の増による診療材料の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に占める材料費比率が悪化 ・丹波医療センターの開院等による経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に占める経費比率が悪化	
<b>〔取組項目〕</b> <b>1 給与費比率の改善</b> (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進 (2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置による収益の確保  <b>2 材料費比率の改善</b> (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施	<b>〔取組項目〕</b> <b>1 給与費比率の改善</b> (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進 (2) 上位の施設基準の取得に向けた体制拡充 ・臨床工学業務の体制整備（淡路：ME+3）など  <b>2 材料費比率の改善</b> (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施	○		<b>1 給与費比率の改善</b> 診療機能の高度化等に対応するため、増員配置を行ったものに関して、費用対効果の検証を実施  <b>2 材料費比率の改善</b> (1) 診療材料

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<p>② 院内SPD業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進 診療材料等購入に係る全国的な共同購入組織を活用した安価材料等への切替により、診療材料費を抑制</p> <p>(2) 薬品</p> <p>① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的に在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札により低廉な価格での購入に努める。</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2015年央に70%以上、2020年9月までに80%以上）を前倒しで実施 【県目標】2020年度末87.9%以上</p> <p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討</p> <p>⑤ 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制</p>	<p>② 院内SPD業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進 診療材料等購入に係る全国的な共同購入組織を活用した安価材料等への切替により、診療材料費を抑制</p> <p>(2) 薬品</p> <p>① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的に在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札により低廉な価格での購入に努めた。</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2015年央に70%以上、2020年9月までに80%以上）を前倒しで実施</p> <p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討</p> <p>⑤ 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進と修理実績、使用頻度による単独保守へ切替え</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p>	<p>積極的に切り替えを進めてきた結果、R2年度末目標である87.9%をR1年度末に達成済み</p>	<p>② 院内SPD業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化 本庁品： 効果額 16,955千円 病院品： 効果額 31,476千円</p> <p>③ 実績 ア 全国的な共同購入組織における安価な提案品目について、試用のうえ共同購入を実施 【令和元年度実績】 切替による削減額： 260,821千円</p> <p>(2) 薬品</p> <p>③ 後発医薬品使用状況 【県立病院 後発医薬品数量シェア】 平成30年度 90.2%→令和元年度 91.7%</p> <p>④ バイオ後続品の使用拡大 新規に発売となったネスブ、ハーセプチン等を薬剤部長会と連携して導入した</p> <p>⑤ 使用実績を元にした在庫管理の徹底により採用品目を縮減 各病院において、使用頻度の少ない薬剤や同種同効薬について、整理を行い、採用品目数の縮減を実施</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託費の抑制 ・ 清掃委託の見直し（長期契約への切り替え）</p> <p>(2) 一括保守契約の拡大 8機種88台について一括保守を実施。修理実績と使用頻度より1機種1台を一括保守から単独保守へ切替切替による削減額： 8,624千円 一括保守による削減額： 68,960千円</p> <p>(3) 施設・設備の計画的改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 太陽光発電を設置 （尼崎、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、粒子線、災害）</p> <p>(5) 一般事務費の抑制・節減</p> <p>① 電気使用量の抑制 （照明のLED化の推進、昼休みの事務室消灯等）</p> <p>② 用紙の節減（資料の電子媒体化、両面コピーの徹底、2up書類の推進）等</p> <p>③ 電気の調達に係るプロポーザルを実施、契約金額の抑制</p> <p>④ ガスの調達に係る入札を実施、契約金額の抑制</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

○ 基本方向	法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本に、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応するため、医療機能の高度化・専門分化、医療サービスの水準の維持・向上、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。
○ 取組内容	1 医療機能の高度化・専門分化、医療ニーズの多様化、診療報酬の改定等に迅速、的確かつ柔軟に対応できる組織の整備や職員の適正配置、業務執行方法等の見直しによる効率的な人員体制の整備を行う。 2 新病院の開設にあたり、病院機能が十分発揮できるよう、複数の診療科、多職種の協働による専門センター制等を推進するなど、効果的・効率的な組織の整備や、病院機能が十分発揮できるよう人員体制の整備を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<p>〔目標〕</p> <p>病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行う。</p>	<p>病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行った。</p>	○		
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機能の高度化や診療報酬制度の改定など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しと人員体制の整備を実施（がんゲノム医療推進に必要な体制整備、HCUの増床に伴う増員等の実施 等）</li> </ul> <p>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の見直しと人員体制の整備を推進（丹波医療センターの開設や、はりま姫路総合医療センター（仮称）の開設準備に向けた対応）</li> </ul>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</p> <p>[H31.4 組織改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーション部の設置（7病院）</li> </ul> <p>[H31.4 人員体制の整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携体制の充実（入退院支援加算への対応）（尼崎等：MSW+4）</li> <li>認知症疾患医療センターの本格稼働（尼崎：看護+2）</li> <li>HCUの増床（淡路：看護+8）</li> <li>HCUの増床（姫路：看護+8）</li> </ul> <p>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波医療センター開設に向けた各職種の増員（H31.4）</li> </ul>	○		<p>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</p> <p>[R2.4 組織改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策部の設置（各病院）</li> <li>医療安全・医療事故防止等を所掌する副課長の設置（病院局企画課）</li> </ul> <p>[R2.4 人員体制の整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集中系、救命救急系病床の見直し（尼崎：看護▲28）</li> <li>稼働病床の増床（こども：看護+12）</li> <li>HCUの増床（姫路：看護+8）</li> </ul> <p>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波医療センター急性期病棟オープンに伴う看護師等の増員（R2.4）（看護+25、放射+1、理学+2）</li> </ul>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 医師確保対策の推進

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保対策を推進するとともに、県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援を実施するなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学医局からの医師確保に向けて、関係大学との連携強化を図る。</li> <li>2 県立病院のスケールメリットを活かした臨床研修制度や専攻医制度の実施、新専門医制度に対応した研修プログラムの提供等の研修基盤の充実により、若手医師の確保・育成を図る。</li> <li>3 指導医資格の取得支援等により、指導医の確保・育成を図る。</li> <li>4 丹波医療センターの教育・研修機能の充実や医師修学資金制度の実施、麻酔科・救急科プログラム等の効果的な運用等により、地域医療を担う医師や特定診療科の医師確保を図る。</li> <li>5 県養成医師に対して、義務年限終了後も含め、県立病院を活用したキャリア支援を実施する。</li> <li>6 高度先進医療設備・機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。</li> <li>7 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚を図るため、海外学会研究発表派遣事業の活用を促進する。</li> </ol>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<b>〔目標〕</b> 必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進する。	必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進した。	○		○ 医師数の推移 ・正規医師 ・正規医師 516人(H19.4) →802人(R2.4) ・専攻医 138人(H19.4) →328人(R2.4)
<b>〔取組項目〕</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修制度の実施 61名の定員（予定）を公募により充足</li> <li>2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 基幹施設として魅力ある研修プログラムを策定するとともに、連携施設として基幹施設と十分に連携し、専攻医を確保</li> <li>3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費（受験料・手数料・認定料等）を補助</li> <li>4 医師修学資金制度の実施</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 丹波医療センターの医師確保のため、神戸大学から中堅医師10名と非常勤指導医3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数：2018.4 17名→2019.4 17名</li> <li>7 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数：2018.4 13名→2019.4 20名</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 県養成医師数：2019.4 88名（うち義務年終了予定の後期派遣2年目医師4名）</li> <li>9 高度先進医療設備・機器の導入【再掲 P41, 42】</li> <li>10 医療秘書の効果的な配置</li> </ol>	<b>〔取組項目〕</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修制度の実施 臨床研修医の採用(H31.4採用58名 総数118名)</li> <li>2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 専攻医の採用(H31.4採用81名 総数303名)</li> <li>3 指導医資格の取得支援 取得経費を補助(R1:261名)</li> <li>4 医師修学資金制度の実施 (1) 指定診療科枠 貸与者数(返還猶予含む):28名 (2) 指定病院枠 貸与者数(返還猶予含む):20名 (3) 中・西播磨枠 貸与者数:32名</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 H30～R2年度の3年間継続実施</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数(H31.4:17名)</li> <li>7 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数(H31.4:18名)</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後のキャリア支援 キャリア支援医師数(R1:1名)</li> <li>9 高度先進医療設備・機器の導入【再掲 P41, 42】</li> <li>10 医療秘書の効果的な配置</li> </ol>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修医の採用状況(R2.4) 採用61名 総数119名</li> <li>2 新専門医制度研修プログラムにおける研修開始 専攻医の採用状況(R2.4) 採用62名 総数328名</li> <li>4 医師修学資金(R2.4) (1) 指定診療科枠 貸与者数(返還猶予含む):26名 (2) 指定病院枠 貸与者数(返還猶予含む):16名 (3) 中・西播磨枠 貸与者数:38名 R2新規貸与決定6名(中・西播磨枠)を含む。</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラム参加者数(R2.4:14名)</li> <li>7 救急科研修プログラム現参加者数(R2.4:24名)</li> <li>10 医療秘書の配置(R2.7:222名)</li> </ol>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<p>1 1 医師の海外学会での研究発表に対する支援 海外発表に要する旅費・学会参加費等を補助</p>	<p>1 1 医師の海外学会での研究発表に対する支援 (R1：42名)</p>	<p>○</p>		

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 看護師確保対策の推進

○ 基本方向	県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 受験生にとって受験しやすい環境整備のため、採用試験の実施方法の見直しを図る。</li> <li>2 看護師・看護学生に対して、県立病院単独の合同説明会等を実施し、県立病院で勤務する魅力のPRを一層推進する。</li> <li>3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。</li> <li>4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修制度の活用により、キャリア支援の充実を図る。</li> <li>5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。</li> <li>6 多様な勤務形態の整備や育児支援制度の充実・利用促進など、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。</li> </ol>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																								
<p>〔目標〕</p> <p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>	<p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進した。</p>	○																																										
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、広島、徳島、福岡）</p> <p>○県立病院における看護師の採用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 \ 年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数 (A)</td> <td>574</td> <td>766</td> <td>839</td> <td>863</td> <td>874</td> <td>988</td> <td>909</td> </tr> <tr> <td>合格者数 (B)</td> <td>479</td> <td>598</td> <td>535</td> <td>293</td> <td>348</td> <td>340</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>受験倍率 (A/B)</td> <td>1.20</td> <td>1.28</td> <td>1.57</td> <td>2.95</td> <td>2.51</td> <td>2.91</td> <td>2.58</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>426</td> <td>547</td> <td>475</td> <td>265</td> <td>329</td> <td>320</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table>	区分 \ 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	受験者数 (A)	574	766	839	863	874	988	909	合格者数 (B)	479	598	535	293	348	340	353	受験倍率 (A/B)	1.20	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	採用者数	426	547	475	265	329	320	321	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、広島、徳島、福岡）</p>	○		<p>1 採用試験の実施状況</p> <p>○実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H24～ 県外で採用試験実施 R2 試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡</li> <li>・地方試験会場（神戸除く）の設置状況 H24～：岡山、徳島、福岡 H25～：姫路、岡山、徳島、福岡、福井、沖縄 H27～：姫路、広島、徳島、福岡、福井、沖縄 H29～：姫路、広島、徳島、福岡 R2～：姫路、岡山、徳島、福岡</li> <li>・受験可能年齢の引き上げ H23～：40歳→45歳</li> <li>・実施回数の増 H23～：1回→3回 H25～：3回→4回</li> <li>・実施日の増 R1～：1回目採用試験（6月）は、新卒者と既卒者をそれぞれ別日（連続する2日）に実施</li> <li>・実施日の前倒し R2～：新卒者の動向、近隣の同規模病院の試験実施時期を考慮し、6月の試験を5月に前倒して試験を実施 ※コロナウイルス感染拡大防止のため第1回を7月に延期</li> </ul>
区分 \ 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																					
受験者数 (A)	574	766	839	863	874	988	909																																					
合格者数 (B)	479	598	535	293	348	340	353																																					
受験倍率 (A/B)	1.20	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58																																					
採用者数	426	547	475	265	329	320	321																																					
<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p>	<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施 （R2.2.22参加者数：255人）</p>	○																																										
<p>3 看護師修学資金制度の実施</p>	<p>3 看護師修学資金制度の実施 令和4年度の「はりま姫路総合医療センター（仮称）」の開院に向けた増員に対応するため、募集枠を拡充（R1：75名）</p>	○																																										
<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）</p>	<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施（R1：6名）</p>	○																																										
<p>5 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置</p>	<p>5 看護補助者の活用</p>	○		<p>3 看護師修学資金制度の創設（H23）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終学年の新規貸付決定者への貸与額を倍増（H26） （月額5万円→月額10万円）</li> <li>・令和4年度の「はりま姫路総合医療センター（仮称）」の開院に向けた増員に対応するため、募集枠を拡充（R2：100名）</li> </ul>																																								
<p>6 2交替勤務の導入</p>	<p>6 2交替勤務の導入</p>	○		<p>5 看護補助者の活用（R2.7：434名）</p> <p>6 全県立病院に2交替勤務制度を導入（H27～）</p>																																								

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組

<p>○ <b>基本方向</b>                  診療機能の高度化・専門化やICTの高度化等の医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討する。                  病院運営の中核となる事務部門を強化するため、病院や医療制度を熟知した専門的人材の育成・確保策を検討する。                  県立病院組織の活力を更に向上するため、多種多様な研修機会の提供や研修内容の充実等を通じ、職員の資質・能力を高めるための取り組みを積極的に進める。</p> <p>○ <b>取組内容</b></p> <p><b>1 専門的人材の充実・確保</b>                  (1) 専門性を備えた人材について、多様な任用形態による確保策を検討する。                  (2) 病院運営の中核となる人材を育成する人事ローテーション等を検討する。                  (3) 事務職員に向けた病院経営に関する研修等を実施する。</p> <p><b>2 職員の育成、士気高揚</b>                  (1) 職種・職務毎に研修の体系や内容を点検し、更なる充実を図る。                  (2) 患者に接する機会の多い職員を対象とする接遇研修を更に充実する。                  (3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に、管理者表彰及び院長表彰を積極的に実施する。                  (4) 査定昇給制度の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映により、職員の士気高揚を図る。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）
<p>〔目標〕                  専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p><b>1 専門的人材の充実・確保</b>                  (1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討                  ・医療情報職の増員                  (2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、引き続き、人事当局と調整                  (3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした研修等の実施                  (4) 兵庫県立大学大学院経営研究科医療マネジメントコース(MBA) 受講支援                  受講する職員の学費を負担(2名/年)                  (5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン(M×M KOB E) 科目履修コース受講支援                  受講する職員の学費を負担(試行導入)                  (6) 診療情報管理士の育成【再掲 P43】</p> <p><b>2 職員の育成、士気高揚</b>                  (1) 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施                  (2) 接遇研修の実施【再掲 P33】                  (3) 管理者表彰や院長表彰の積極的な実施                  (4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施</p>	<p>専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施した。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p><b>1 専門的人材の充実・確保</b>                  (1) 医療情報職の増員(R1:2名)                  (2) 人材育成に配慮した人事配置                  (3) 研修の実施                  ・総務担当者会議の実施(H31.4、R1.8)                  ・新任経理研修会の実施(H31.4)                  ・簿記研修の実施(R1.9)                  ・経理事務研修の実施(R1.11)                  (4) 受講支援実績(R1:0名)                  (5) M×M KOB E 受講支援実績(R1:5名)                  (6) 診療情報管理士の育成【再掲 P43】</p> <p><b>2 職員の育成、士気高揚</b>                  (1) 職員の資質向上、人材育成にかかる研修の実施                  看護師等の職種別研修や副院長研修、新任職員研修等の階級別研修を実施(R1:26研修)                  (2) 接遇研修の実施【再掲 P33】                  (3) 管理者表彰(年2回実施)、院長表彰(適宜実施)                  (4) 査定昇給(年1回)、勤勉手当への勤務成績の反映(年2回)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p></p> <p>職員への働きかけ不足</p>	<p><b>1 専門的人材の充実・確保</b>                  (1) 専門分野に精通した人材の登用                  ・副院長に看護職を積極的に登用                  ・勤務延長の活用                  ・新たな専門職の創設：                  臨床工学技士(H16～)、医療福祉相談員(H25～)、                  医療情報職(H30～)                  ・医療情報職の増員(R2:4名)                  ・現在の任用制度を活用した必要な人材の確保</p> <p>(3) 研修の実施                  ・総務担当者会議、新任経理研修会                  ※コロナウイルス感染拡大防止のためR2は中止</p> <p>(4) より受講しやすくするため、R2から対象大学院に神戸大、関西学院大を追加。職員への働きかけ強化。</p> <p>(5) M×M KOB E 受講支援実績(R2:8名)                  ・R2より対象職員及び対象コースの範囲を拡大</p> <p><b>2 職員の育成、士気高揚</b>                  (1) 職員の資質向上、人材育成にかかる研修の実施                  ※コロナウイルス感染拡大防止のためR2は中止                  ※R2 新任職員研修は各病院で実施</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目5 働きやすい職場づくり

○ 基本方向	県立病院の職員を安定的に確保するため魅力ある職場環境の整備を進めるとともに、健康管理やワークライフバランスに配慮し、超過勤務の縮減、休暇の取得促進等、働きやすい職場環境づくりに取り組む。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国における医師の働き方改革に関する検討会から示される労働時間の短縮策などに取り組み、労働時間の適正化を推進する。</li> <li>2 院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。</li> <li>3 女性医師が増加している中、仕事と育児を両立することができる育児短時間制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、女性が働きやすい環境整備を推進する。</li> </ol>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）						
<p>〔目標〕</p> <p>働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施する。</p>	<p>働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施した。</p>	○								
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 労働時間の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同職種や同診療科内での業務の平準化、タスク・シフティング等による業務の効率化</li> <li>・各病院の実情に応じた超過勤務縮減に向けた取り組みの推進</li> <li>・年次休暇の計画的な取得の促進</li> </ul> <p>2 魅力ある執務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置</li> <li>・給与の見直しによる処遇改善</li> </ul> <p>3 女性医師が働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業や育児短時間勤務制度等の活用促進</li> <li>・院内保育所の整備</li> <li>・在宅勤務制度の試行</li> <li>・民間情報サイト等を利用した女性医師バンクの活用</li> </ul>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 労働時間の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の検討会の内容を踏まえたタスク・シェアリング、タスク・シフティングのより一層の検討</li> <li>・全病院共通の勤怠管理システムの導入に向けた検討、調整（R2年度中に導入予定）</li> <li>・医師の年次休暇取得実績（H29：4.8日→H30：5.0日）</li> </ul> <p>2 魅力ある執務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な医療秘書の確保と育成（会計年度任用職員制度の導入による処遇改善）</li> <li>・期末・勤勉手当の支給月数の引上げ（H30：4.45月→R1：4.5月）</li> </ul> <p>3 女性医師が働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育室の設置（R1.7 丹波）</li> <li>・在宅勤務制度の試行（H30.10 淡路）</li> </ul>	○ ○ ○		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>取組実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多様な勤務形態の整備検討</td> <td>・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）</td> </tr> <tr> <td>育児支援制度の利用促進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10 淡路、R2.6 尼崎）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・日々の業務に応じたフレキシブルな育児短時間勤務の導入（R2）</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	取組実績	多様な勤務形態の整備検討	・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）	育児支援制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10 淡路、R2.6 尼崎）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・日々の業務に応じたフレキシブルな育児短時間勤務の導入（R2）</li> </ul>
項目	取組実績									
多様な勤務形態の整備検討	・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）									
育児支援制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10 淡路、R2.6 尼崎）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・日々の業務に応じたフレキシブルな育児短時間勤務の導入（R2）</li> </ul>									

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

○ 基本方向	持続可能な経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。
○ 取組内容	<p>以下を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である2023年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。</p> <p>なお、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立病院が関係する複数の統合再編事業を協議・調整中であること</li> <li>・ 初期投資に必要な財源確保や統合再編・建替整備等の資金調達に懸念があること</li> <li>・ 地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会の分析では、必ずしも地方独立行政法人制度適用が経営改善に繋がるわけではないとされていること</li> </ul>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																				
<p>〔目標〕</p> <p>2023年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p>	<p>2023年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p>	○																																																																						
<p>〔取組項目〕</p> <p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握する。</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握した。</p>	○																																																																						
<p>○都道府県立病院の運営形態(R2.4.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H31.4.1</th> <th colspan="2">R2.4.1</th> <th rowspan="2">増減</th> <th rowspan="2">内 訳（病院数）</th> </tr> <tr> <th>病院数</th> <th>（割合）</th> <th>病院数</th> <th>（割合）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部適用</td> <td>126</td> <td>68%</td> <td>126</td> <td>68%</td> <td>0</td> <td>兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>0</td> <td>栃木(1)、東京(8)、宮山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人</td> <td>43</td> <td>23%</td> <td>43</td> <td>23%</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">独立行政法人 経営形態</td> <td>全部適用</td> <td>(11)</td> <td>26%</td> <td>(11)</td> <td>26%</td> <td>0</td> <td>宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>(30)</td> <td>70%</td> <td>(30)</td> <td>70%</td> <td>0</td> <td>秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(2)</td> <td>5%</td> <td>(2)</td> <td>5%</td> <td>0</td> <td>東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>(43)</td> <td>100%</td> <td>(43)</td> <td>100%</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>186</td> <td>100%</td> <td>186</td> <td>100%</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1つの自治体で複数形態で運営する団体有り</p>					区分	H31.4.1		R2.4.1		増減	内 訳（病院数）	病院数	（割合）	病院数	（割合）	全部適用	126	68%	126	68%	0	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)	一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、宮山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)	独立行政法人	43	23%	43	23%	0		独立行政法人 経営形態	全部適用	(11)	26%	(11)	26%	0	宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)	一部適用	(30)	70%	(30)	70%	0	秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)	その他	(2)	5%	(2)	5%	0	東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)	小計	(43)	100%	(43)	100%	0		計	186	100%	186	100%	0	
区分	H31.4.1		R2.4.1			増減	内 訳（病院数）																																																																	
	病院数	（割合）	病院数	（割合）																																																																				
全部適用	126	68%	126	68%	0	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)																																																																		
一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、宮山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)																																																																		
独立行政法人	43	23%	43	23%	0																																																																			
独立行政法人 経営形態	全部適用	(11)	26%	(11)	26%	0	宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)																																																																	
	一部適用	(30)	70%	(30)	70%	0	秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)																																																																	
	その他	(2)	5%	(2)	5%	0	東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)																																																																	
	小計	(43)	100%	(43)	100%	0																																																																		
計	186	100%	186	100%	0																																																																			

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 安定的な地域医療の提供

○ 基本方向	地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供することで、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。
○ 取組内容	今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																										
<p>〔目標〕</p> <p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供する。</p>	<p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供。</p>	○																																												
<p>〔取組項目〕</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定期的な地域医療の提供に貢献する。</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定期的な地域医療の提供に貢献した。</p>	○		<p>○地域医療構想の推進体制</p> <p>地域医療構想の実現のため、医療機関等の自主的な取組みや行政と医療機関等が連携した取組み等を行っていくため、各圏域において、医療関係者、医療保険者その他関係者からなる「地域医療構想調整会議」を設置し、地域医療構想の達成に必要な事項について、協議が行われている。</p> <p>（検討内容）</p> <p>①病床機能報告や医療資源を踏まえた、2025年を見据えた医療機関としての役割分担</p> <p>②2025年に持つべき、医療機関ごとの病床数（病床機能等）</p> <p>③施策の進捗状況の確認、医療介護基金事業の検討</p> <p>○県立病院のある圏域の地域医療構想調整会議の開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">神戸</th> <th rowspan="2">阪神 (阪神南)</th> <th rowspan="2">東播磨</th> <th colspan="2">播磨姫路</th> <th rowspan="2">丹波</th> <th rowspan="2">淡路</th> </tr> <tr> <th>(中播磨)</th> <th>(西播磨)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域医療構想調整会議の議題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路		丹波	淡路	(中播磨)	(西播磨)	H29	8	2	3	2	2	2	2	H30	6	5	4	4	5	3	2	R1	3	7	3	6	4	3	3	年度	内容	H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul>	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>	R1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>
年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路					丹波	淡路																																				
				(中播磨)	(西播磨)																																									
H29	8	2	3	2	2	2	2																																							
H30	6	5	4	4	5	3	2																																							
R1	3	7	3	6	4	3	3																																							
年度	内容																																													
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul>																																													
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>																																													
R1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>																																													

(参考) 新型コロナウイルス対応の現状

現状

〔令和2年度 目標〕

県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、感染症指定医療機関を中心に新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受け入れに全力で取り組んでいる。

また、コロナウイルス感染症対策の課題等については今後十分に検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行っていく。

〔令和2年度 取組項目〕

1 医療提供体制

- ・全県の重症・中等症対応の中心的役割として「新型コロナウイルス感染症拠点病院」の県立加古川医療センター、阪神圏域の重症対応の中心的役割として「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」の県立尼崎総合医療センターにてそれぞれ対策を強化
- ・第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況を踏まえ、患者受入等を実施

2 医療用マスク・防護服等の確保

- ・医療用マスク・防護服等については、医療提供体制に支障が出ないよう確保に努める。

〔感染拡大期における県立病院の要請病床数〕

病院名	感染症病床数	その他病床数	合計	備考
尼崎	8	41	49	・新型コロナウイルス感染症重症等特定病院 ・感染症指定医療機関（2種）
西宮	—	15	15	—
加古川	8	92	100	・新型コロナウイルス感染症拠点病院 ・感染症指定医療機関（1種、2種）
丹波	4	6	10	・感染症指定医療機関（2種）
淡路	4	11	15	・感染症指定医療機関（2種）
こころ	—	6	6	—
こども	—	7	7	—
姫路	—	10	10	—
県立病院計	24	188	212	—

参考

○県立病院における院内対応

病院名	内容
尼崎	・EICU をすべて新型コロナ対応に特化 ・8階東病棟（泌尿器、乳腺、婦人科）を新型コロナ対応に転用 ・他病院からの派遣職員向け宿泊施設の確保 ・加古川へ検査技師を派遣 ・阪神圏域の3次救急を維持
西宮	・内科系病棟を新型コロナ対応に転用 ・尼崎へ看護師を派遣
加古川	・ICU 及び HCU はすべて新型コロナ対応に特化 ・緩和病棟及び内科系病棟を新型コロナ対応に転用 ・PCR 検査の院内実施（県立病院での陰性確認を集約して実施） ・上記の対応を行うため通常の医療体制を大幅に縮小
丹波	・6階東病棟（内科、外科）を新型コロナ対応に特化 ・加古川へ検査技師を派遣
淡路	・感染症病床を中心に対応
こころ	・精神疾患を有する軽症患者の対応 ・疑似・発熱患者の対応 ・民間の精神科病院へ看護師を派遣
こども	・小児重症患者に対応 ・尼崎へ看護師を派遣 ・西宮の宿泊療養施設への医師派遣
がん	・尼崎及び加古川へ看護師を派遣 ・上記の対応を行うため通常の医療体制を大幅に縮小
姫路	・地域包括ケア病棟を新型コロナ対応に転用 ・尼崎及び加古川へ看護師を派遣 ・上記の対応を行うため通常の医療体制を大幅に縮小 ・加古川へ検査技師を派遣
災害	・県下全域の3次救急に対応 ・コーディネートセンターの調整機関の補完
リハ中	・陰性確認後の患者を受入れ
リハ西	・加古川へ検査技師を派遣

○个人防护具（医療用マスク含む）の確保

- ・医療用マスク等の个人防护具については、3ヶ月分確保できている。

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(1) 尼崎総合医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	730	730	730	100.0%		
	病床利用率 (%)	95.8	92.9	94.4	97.0%		
	1日当たり入院患者数 (人)	699	678	689	97.0%		
	1日当たり外来患者数 (人)	1,889	1,964	1,889	104.0%		
	経常収支比率 (%)	101.0	99.2	100.9	98.2%		
財務	医業収支比率 (%)	89.5	88.1	89.4	98.4%		
	入院単価 (円)	86,833	88,521	87,713	101.9%		
	外来単価 (円)	18,073	19,454	18,112	107.6%		
	給与費比率 (%)	54.9	54.8	54.6	99.8%		
	材料費比率 (%)	34.0	36.0	34.3	105.9%		
	経費比率 (%)	14.5	14.7	14.4	101.4%		
医療機能	平均在院日数	9.5	9.4	9.6	98.9%		○
	紹介率 (%)	74.0	75.9	73.2	102.6%		○
	逆紹介率 (%)	86.0	86.7	84.5	100.8%		○
	救急患者数	24,262	25,071	24,265	103.3%		○
	(うち救急車搬送件数)	11,652	11,477	11,789	98.5%		○
	糖尿病新規入院患者数	260	259	275	99.6%		○
	手術件数	22,953	24,087	23,634	104.9%		○
	(うち高額手術件数)	3,233	3,491	3,359	108.0%		○
	(うちがん手術件数)	1,500	1,474	1,437	98.3%		○
	(うち冠動脈形成術件数)	600	552	599	92.0%		○
	(うち開心術件数)	170	194	182	114.1%		○
	頭頸部血管内治療件数	44	41	42	93.2%		○
	TAVI 実施件数	40	70	51	175.0%		◎
	外来化学療法件数	8,983	10,910	9,316	121.5%		◎
	分娩件数	1,023	1,099	1,108	107.4%		○
	ハイリスク妊娠数 (人)	175	172	170	98.3%		○
	母体搬送受入数 (人)	113	93	106	82.3%	○	
	2500g未満新生児実入院患者数 (人)	238	196	240	82.4%	○	
	新生児搬送受入総数 (人)	62	65	70	104.8%	○	
	ドクターカー出動回数	380	353	376	92.9%	○	
	物忘れ外来患者数	86	398	109	462.8%	◎	
	薬剤管理指導件数	33,215	32,459	32,833	97.7%	○	
	リハビリ件数	141,778	121,579	130,388	85.8%	○	
	(うちOTリハビリ件数)	25,801	23,700	15,798	91.9%	○	
	(うちPTリハビリ件数)	93,861	77,548	91,176	82.6%	○	
	(うちSTリハビリ件数)	22,115	20,331	23,414	91.9%	○	
	クリニカルパス件数	340	426	343	125.3%	◎	
	在宅復帰率 (%)	93.0	89.7	90.3	96.5%	○	
	臨床研修医の受入件数	48	48	54	100.0%	○	
	医師派遣等件数	275	275	307	100.0%	○	
	その他	患者満足度 (入院) (%)	97.5	94.3	97.5	96.7%	○
		患者満足度 (外来) (%)	96.7	90.0	96.7	93.1%	○
医療相談件数		6,867	7,281	6,945	106.0%	○	
セカンド・オピニオン実施件数		14	27	17	192.9%	◎	
TVカンファレンス実施回数		12	12	12	100.0%	○	
PFMの更なる拡大 (アセスメント率)	50.0	39.1	29.1	78.2%	△		

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	22,218	21,969	22,069
	外来収益	8,193	9,168	8,347
	その他医業収益	692	726	706
	医業収益計	31,103	31,863	31,122
	その他の収益	1,507	1,558	1,594
	<b>収益合計</b>	<b>32,610</b>	<b>33,422</b>	<b>32,716</b>
費用	給与費	17,069	17,446	17,004
	(うち退職給与金)	359	383	450
	材料費	10,589	11,470	10,687
	経費	4,525	4,684	4,472
	減価償却費	2,334	2,341	2,382
	その他の医業費用	248	240	268
	医業費用計	34,765	36,182	34,813
	その他費用	341	395	770
	<b>費用合計</b>	<b>35,106</b>	<b>36,577</b>	<b>35,583</b>
	差引損益	△ 2,496	△ 3,156	△ 2,867
一般会計繰入金	2,850	2,850	2,892	
当期純損益	354	△ 305	25	
<b>経常損益</b>	<b>358</b>	<b>△ 281</b>	<b>306</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(2) 西宮病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	400	400	400	100.0%		
	病床利用率 (%)	87.3	86.2	86.1	98.7%		
	1 日当たり入院患者数 (人)	349	344.7	344.4	98.8%		
	1 日当たり外来患者数 (人)	673	672.4	669.6	99.9%		
	経常収支比率 (%)	102.6	99.3	101.8	96.8%		
財務	医業収支比率 (%)	90.4	86.7	89.0	95.9%		
	入院単価 (円)	62,243	60900	61,850	97.8%		
	外来単価 (円)	17,844	17290	17,076	96.9%		
	給与費比率 (%)	62.9	65.9	64.4	104.8%		
	材料費比率 (%)	27.1	27.7	27.0	102.2%		
	経費比率 (%)	14.3	15.4	14.2	107.7%		
	平均在院日数	9.7	10.2	9.6	105.2%		○
紹介率 (%)	80.0	78.2	79.7	97.8%	○		
逆紹介率 (%)	86.5	122.7	134.1	141.8%	◎		
医療機能	手術件数 (件)	5,150	5283	5,195	102.6%		○
	がん手術総件数	1,150	923	956	80.3%		○
	入退院支援センター入院・検査説明件数	2,350	2350	2,397	100.0%		○
	クリニカルパス件数	255	244	208	95.7%		○
	化学療法件数	6,000	6142	6,843	102.4%		○
	うち外来化学療法件数	3,500	3932	3,513	112.3%		○
	救急患者数 (人)	6,700	6316	6,780	94.3%		○
	(うち救急車搬送件数)	4,400	3946	4,324	89.7%		○
	小児救急車搬送件数	460	397	437	86.3%		○
	ドクターカー出動実績	750	667	805	88.9%		○
	分娩件数	600	572	602	95.3%		○
	ハイリスク妊娠数	200	151	161	75.5%		△
	母体搬送受入数	110	97	114	88.2%		○
	2500g未満新生児実入院患者数	120	117	119	97.5%		○
	新生児搬送受入総数	60	50	65	83.3%	○	
	さい帯血採取数	120	136	96	113.3%	○	
	糖尿病新規入院患者数	220	216	238	98.2%	○	
	腎移植実施数	20	13	12	65.0%	△	
	透析件数	4,200	4215	4,333	100.4%	○	
	リハビリ件数	38,900	44555	40,700	114.5%	○	
	臨床研修医の受入件数	20	20	20	100.0%	○	
	産婦人科セミアオープンシステムの運用件数	12	3	5	25.0%	▲	
	四肢外傷センターの充実(骨折等疾患の救急、整形外科の連携治療実施件数)	260	256	170	98.5%	○	
	その他	腎臓病教室の開催回数	15	7	7	46.7%	▲
		西宮薬剤師会と薬務部の合同研修会の開催回数	5	5	5	100.0%	○

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	7,952	7,683	7,776
	外来収益	2,882	2,790	2,790
	その他医業収益	303	274	279
	医業収益計	11,136	10,748	10,845
	その他の収益	448	497	475
	<b>収益合計</b>	<b>11,584</b>	<b>11,245</b>	<b>11,321</b>
費用	給与費	7,005	7,078	6,981
	(うち退職給与金)	220	250	263
	材料費	3,014	2,972	2,929
	経費	1,589	1,658	1,539
	減価償却費	648	623	646
	その他の医業費用	68	64	96
	医業費用計	12,325	12,394	12,191
	その他費用	133	155	158
	<b>費用合計</b>	<b>12,458</b>	<b>12,549</b>	<b>12,348</b>
	差引損益	△ 873	△1,304	△1,027
	一般会計繰入金	1,188	1,182	1,242
当期純損益	314	△121	215	
<b>経常損益</b>	<b>319</b>	<b>△88</b>	<b>224</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(3) 加古川医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	353	353	353	100.0%		
	病床利用率 (%)	81.1	81.4	77.8	100.4%		
	1日当たり入院患者数 (人)	286	287.3	274.7	100.5%		
	1日当たり外来患者数 (人)	764	754.3	748.0	98.7%		
	経常収支比率 (%)	99.8	99.2	99.0	99.4%		
財務	医業収支比率 (%)	84.0	83	82.5	98.8%		
	入院単価 (円)	66,055	64,274	66,448	97.3%		
	外来単価 (円)	18,103	19,261	18,479	106.4%		
	給与費比率 (%)	59.9	61.1	62.5	102.0%		
	材料費比率 (%)	31.3	31	30.8	99.0%		
	経費比率 (%)	17.9	17.9	17.3	100.0%		
医療機能	平均在院日数	11.3	11.1	11.5	98.2%		○
	紹介率 (%)	92.9	83.3	92.1	89.7%		○
	逆紹介率 (%)	109.4	96.8	109.7	88.5%		○
	ドクターヘリ運航件数	523	449	538	85.9%		○
	救急患者数 (人)	6,945	7,495	6,899	107.9%		○
	(うち救急車搬送患者数)	2,014	2,595	2,512	128.8%		◎
	手術件数 (件)	4,468	5,009	4,535	112.1%		○
	化学療法件数	3,228	3,066	3,122	95.0%		○
	[うち外来化学療法件数]	2,789	2,570	2,667	92.1%		○
	緩和ケア病床入院患者数 (人)	5,967	5,584	5,041	93.6%		○
	糖尿病教育入院患者数 (人)	123	152	117	123.6%		◎
	リハビリ件数 (人)	29,795	32,725	29,947	109.8%		○
	新規紹介患者数 (人)	7,986	8,031	7,806	100.6%		○

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	6,920	6,758	6,663
	外来収益	3,320	3,487	3,373
	その他医業収益	326	337	312
	医業収益計	10,566	10,581	10,348
	その他の収益	983	1,060	1,029
	<b>収益合計</b>	<b>11,549</b>	<b>11,641</b>	<b>11,377</b>
費用	給与費	6,333	6,465	6,472
	(うち退職給与金)	220	175	239
	材料費	3,303	3,283	3,188
	経費	1,891	1,899	1,786
	減価償却費	1,001	1,021	1,034
	その他の医業費用	58	86	69
	医業費用計	12,585	12,753	12,548
	その他費用	343	420	389
	<b>費用合計</b>	<b>12,928</b>	<b>13,173</b>	<b>12,937</b>
	差引損益	△ 1,379	△1,532	△1,560
一般会計繰入金	1,351	1,344	1,386	
当期純損益	△ 27	△188	△174	
<b>経常損益</b>	<b>△ 30</b>	<b>△104</b>	<b>△132</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（４）淡路医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	441	441	441	100.0%		
	病床利用率（%）	85.7	82.6	84.1	96.4%		
	1日当たり入院患者数（人）	378	364	371	96.3%		
	1日当たり外来患者数（人）	781	824	827	105.5%		
	経常収支比率（%）	101.8	100.4	100.5	98.6%		
財務	医業収支比率（%）	85.2	84.9	84.1	99.6%		
	入院単価（円）	62,439	68,401	62,414	109.5%		
	外来単価（円）	13,802	15,140	13,078	109.7%		
	給与費比率（%）	62.6	59.8	63.0	95.5%		
	材料費比率（%）	28.9	32.5	29.2	112.5%		
	経費比率（%）	15.7	15.9	16.1	101.3%		
医療機能	平均在院日数	13.7	12.7	13.8	92.7%		○
	紹介率（%）	75.6	82.9	82.4	109.7%		○
	逆紹介率（%）	72.6	81.2	84.9	111.8%		○
	救急患者数（人）	9,866	8,897	9,271	90.2%		○
	（うち救急車搬送患者数）	3,500	3,225	3,577	92.1%	○	
	手術件数（件）	3,547	3,814	3,520	107.5%	○	
	リハビリ延単位数（単位）	58,497	63,145	58,506	107.9%	○	
	認知症鑑別診断件数（人）	294	271	300	92.2%	○	
	子宮動脈塞栓術（UAE）の実施件数	5	4	5	80.0%	○	
その他	淡路圏域がんネットワーク会議の開催（開催回数）	2	0	1	0.0%	▲	
	「淡路島を医療で元気にする会－元気な医療・介護連携をともに考える－」の開催回数	2	1	3	50.0%	▲	

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	8,642	9,121	8,448
	外来収益	2,585	2,995	2,638
	その他医業収益	203	218	200
	医業収益計	11,430	12,335	11,286
	その他の収益	865	896	870
	<b>収益合計</b>	<b>12,295</b>	<b>13,230</b>	<b>12,157</b>
費用	給与費	7,153	7,382	7,115
	（うち退職給与金）	227	293	200
	材料費	3,306	4,004	3,290
	経費	1,795	1,958	1,820
	減価償却費	1,101	1,098	1,128
	その他の医業費用	55	79	61
	医業費用計	13,411	14,522	13,414
	その他費用	287	281	292
	<b>費用合計</b>	<b>13,698</b>	<b>14,803</b>	<b>13,706</b>
	差引損益	△ 1,403	△ 1,573	△ 1,549
一般会計繰入金	1,656	1,635	1,612	
当期純損益	253	62	63	
<b>経常損益</b>	<b>246</b>	<b>54</b>	<b>63</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (5) 柏原病院（丹波医療センター）

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	238	238	184	100%		
	病床利用率（%）	79.5	85.2	87.2	107.2%		
	1日当たり入院患者数（人）	178	191	160	107.3%		
	1日当たり外来患者数（人）	582	488	373	83.8%		
	経常収支比率（%）	87.1	87.6	96.3	100.6%		
財務	医業収支比率（%）	69.7	71.7	77.8	102.9%		
	入院単価（円）	52,028	51,959	52,881	99.9%		
	外来単価（円）	12,092	13,318	12,413	110.1%		
	給与費比率（%）	83.7	81.2	77.8	97%		
	材料費比率（%）	20.0	22.6	20.3	113%		
	経費比率（%）	34.7	32.3	26.2	93.1%		
医療機能	平均在院日数	12.0	11.9	11.3	99.2%		○
	紹介率（%）	70.0	70.1	65.0	100.1%		○
	逆紹介率（%）	65.0	62.2	67.9	95.7%		○
	がんの手術件数（件）	200	195	219	97.5%		○
	緩和ケア病棟の入院患者数	5,000	7,415	6,310	148.3%		◎
	冠動脈形成術の件数	100	107	91	107%		○
	救急患者数	6,500	7,374	6,154	113.4%		○
	（うち救急車搬送件数）	1,900	2,149	1,757	113.1%		○
	分娩件数	230	273	233	118.7%		○
	小児の救急車搬送件数	300	268	260	89.3%		○
	リハビリ件数	26,500	22,753	17,016	85.9%		○
	へき地診療所への派遣回数	96	100	98	104.2%		○
	術中迅速病理組織検査実施件数	60	78	78	130%		◎
	休日乳がん検診の継続実施（受診患者数）	60	56	29	93.3%		○
	消化器がんの内視鏡的治療実施件数	40	37	49	92.5%	○	
	ポータブルX線撮影装置による出張撮影等件数	60	107	70	178.3%	◎	
	消化器、循環器救急の 24時間受入れ件数	<b>内視鏡</b> <b>心カテ</b>	140 60	106 78	118 57	75.7% 130%	○ ◎
	その他	研修医受入人数	50	48	50	96%	○
		医療相談の件数	9,000	11,066	9,372	123%	◎
		県養成医の受入れ人数	8	14	7	175%	◎
TVカンファレンスの実施		120	126	122	105%	○	
IVナースの年間養成数		6	10	9	166.7%	◎	
オープンセミナー等の開催回数		12	12	11	100%	○	
診療機器の共同利用件数		<b>CT</b> <b>MRI</b>	500 550	674 319	450 433	134.8% 58%	◎ ▲

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	3,398	3,640	3,095
	外来収益	1,690	1,560	1,129
	その他医業収益	120	290	114
	医業収益計	5,208	5,490	4,338
	その他の収益	461	1,340	244
	<b>収益合計</b>	<b>5,669</b>	<b>6,830</b>	<b>4,582</b>
費用	給与費	4,357	4,456	3,374
	（うち退職給与金）	115	130	145
	材料費	1,043	1,243	879
	経費	1,806	1,771	1,137
	減価償却費	207	130	169
	その他の医業費用	63	62	19
	医業費用計	7,476	7,662	5,579
	その他費用	1,807	1,725	250
	<b>費用合計</b>	<b>9,285</b>	<b>9,387</b>	<b>5,829</b>
	差引損益	△ 3,616	△ 2,557	△ 1,247
一般会計繰入金	1,011	1,017	864	
当期純損益	△ 2,605	△ 1,540	△ 383	
<b>経常損益</b>	<b>△ 991</b>	<b>△ 981</b>	<b>△ 209</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (6) ひょうごこころの医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	286	286	286	100.0%		
	病床利用率 (%)	78.1	65.4	72.5	83.7%		
	1日当たり入院患者数 (人)	223	186.9	207.4	83.8%		
	1日当たり外来患者数 (人)	212	213	211	100.5%		
	経常収支比率 (%)	97.4	90.9	98.0	93.3%		
財務	医業収支比率 (%)	57.0	49.0	56.4	86.0%		
	入院単価 (円)	24,148	23,620	24,199	97.8%		
	外来単価 (円)	7,020	6,900	6,933	98.3%		
	給与費比率 (%)	130.2	152.1	130.3	116.8%		
	材料費比率 (%)	7.6	8.7	8.1	114.5%		
	経費比率 (%)	24.4	28.2	25.1	115.6%		
医療機能	平均在院日数 (日)	71.1	82.9	74.4	116.6%		○
	紹介率 (%)	50.0	36.6	45.8	73.2%		△
	逆紹介率 (%)	49.0	44.4	52.1	90.6%		○
	クリニカルパス数	8	8	7	100.0%		○
	救急患者数 (人)	550	451	504	82.0%	○	
	訪問看護件数 (件)	3,300	3,113	3,180	94.3%	○	
	相談件数	39,000	39,076	42,308	100.2%	○	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	1,975	1,616	1,831
	外来収益	358	353	357
	その他医業収益	15	17	16
	医業収益計	2,348	1,985	2,205
	その他の収益	218	232	223
	<b>収益合計</b>	<b>2,567</b>	<b>2,217</b>	<b>2,429</b>
費用	給与費	3,059	3,019	2,872
	(うち退職給与金)	209	182	104
	材料費	178	172	179
	経費	574	560	554
	減価償却費	285	281	288
	その他の医業費用	25	17	16
	医業費用計	4,121	4,049	3,910
	その他費用	127	122	133
	<b>費用合計</b>	<b>4,249</b>	<b>4,171</b>	<b>4,042</b>
	差引損益	△ 1,681	△1,953	△1,613
	一般会計繰入金	1,563	1,576	1,527
当期純損益	△ 118	△377	△86	
<b>経常損益</b>	<b>△ 109</b>	<b>△377</b>	<b>△81</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(7) こども病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	275	275	275	100.0%		
	病床利用率(%)	83.7	86.7	79.1	103.6%		
	1日当たり入院患者数(人)	230	239	218	103.9%		
	1日当たり外来患者数(人)	402	431	408	107.2%		
	経常収支比率(%)	100.1	99.5	99.2	99.4%		
財務	医業収支比率(%)	77.3	76.2	75.0	98.6%		
	入院単価(円)	99,420	93,241	100,843	93.8%		
	外来単価(円)	17,638	17,569	17,365	99.6%		
	給与費比率(%)	75.2	77.4	77.4	102.9%		
	材料費比率(%)	21.7	21.3	21.4	98.2%		
	経費比率(%)	19.9	20.6	20.9	103.5%		
医療機能	平均在院日数(日)	12.2	11.8	11.8	96.7%		○
	紹介率(%)	85.5	91.7	85.6	107.3%		○
	逆紹介率(%)	72.8	62.6	74.1	86.0%		○
	救急患者数(人)	12,260	12,314	11,722	100.4%		○
	小児の救急車搬送患者数(人)	2,040	1,727	1,932	84.7%		○
	手術件数(件)	3,650	3,631	3,585	99.5%		○
	開心術(件)	178	147	168	82.6%		○
	ハイリスク妊娠数(人)	120	124	103	103.3%		○
	母体搬送受入数(人)	90	84	40	93.3%		○
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	171	191	188	111.7%		○
	新生児搬送受入総数(人)	164	201	176	122.6%		◎
	造血幹細胞移植	26	29	25	111.5%		○
	リハビリテーション実施単位	19,600	16,617	17,905	84.8%		○
	看護相談外来	1,650	2,024	1,948	122.7%		◎

収支計画

(単位:百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	8,373	8,140	8,009
	外来収益	1,702	1,816	1,728
	その他医業収益	134	145	135
	医業収益計	10,210	10,101	9,872
	その他の収益	861	905	1,911
	<b>収益合計</b>	<b>11,070</b>	<b>11,006</b>	<b>11,783</b>
費用	給与費	7,682	7,784	7,637
	(うち退職給与金)	263	266	225
	材料費	2,219	2,153	2,110
	経費	2,034	2,022	2,060
	減価償却費	1,229	1,232	1,301
	その他の医業費用	50	59	57
	医業費用計	13,214	13,250	13,165
	その他費用	810	306	246
	<b>費用合計</b>	<b>14,024</b>	<b>13,556</b>	<b>13,411</b>
	差引損益	△ 2,954	△ 2,550	△ 1,628
一般会計繰入金	2,380	2,386	2,455	
当期純損益	△ 573	△ 164	827	
<b>経常損益</b>	<b>13</b>	<b>△ 63</b>	<b>△ 109</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(8) がんセンター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	377	377	377	100.0%		
	病床利用率 (%)	79.6	72.7	76.3	91.3%		
	1日当たり入院患者数 (人)	300	274	288	91.4%		
	1日当たり外来患者数 (人)	630	669	650	106.2%		
	経常収支比率 (%)	101.0	99.1	101.0	98.1%		
財務	医業収支比率 (%)	92.7	91.3	93.1	98.5%		
	入院単価 (円)	66,806	69,313	66,800	103.8%		
	外来単価 (円)	49,035	51,168	48,789	104.3%		
	給与費比率 (%)	41.7	42.7	43.3	102.4%		
	材料費比率 (%)	48.7	50.1	48.2	102.9%		
	経費比率 (%)	11.6	11.6	11.0	100.0%		
医療機能	平均在院日数	13.0	11.6	12.3	89.2%		○
	紹介率 (%)	80.0	73.0	78.0	91.3%		○
	逆紹介率 (%)	58	50.6	54.5	87.2%		○
	リハビリ件数	21,000	20,568	21,356	97.9%		○
	クリニカルパス件数	260	200	195	76.9%		△
	手術件数	3,350	3,415	3,391	101.9%		○
	放射線治療件数	16,000	11,391	14,365	71.2%		△
	放射線診断件数	74,000	72,571	72,800	98.1%		○
	化学療法件数	21,000	19,538	21,109	93.0%		○
	[うち外来化学療法件数]	14,000	13,819	14,291	98.7%	○	
	がん登録届出件数	3,800	3,623	3,652	95.3%	○	
	相談支援件数	3,000	2,239	2,556	74.6%	△	
	薬剤管理指導件数	14,000	10,016	14,069	71.5%	△	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	7,337	6,954	7,011
	外来収益	7,408	8,220	7,734
	その他医業収益	561	509	590
	医業収益計	15,306	15,683	15,335
	その他の収益	549	548	517
	<b>収益合計</b>	<b>15,855</b>	<b>16,231</b>	<b>15,852</b>
費用	給与費	6,389	6,694	6,647
	(うち退職給与金)	△ 179	274	425
	材料費	7,451	7,853	7,389
	経費	1,771	1,812	1,688
	減価償却費	653	558	588
	その他の医業費用	239	262	165
	医業費用計	16,503	17,179	16,477
	その他費用	120	159	151
	<b>費用合計</b>	<b>16,622</b>	<b>17,338</b>	<b>16,628</b>
	差引損益	△ 767	△ 1,107	△ 776
一般会計繰入金	927	925	929	
当期純損益	160	△ 182	153	
<b>経常損益</b>	<b>169</b>	<b>△ 159</b>	<b>173</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(9) 姫路循環器病センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	330	330	330	100.0%		
	病床利用率 (%)	73.3	70	70.1	94.8%		
	1日当たり入院患者数 (人)	242	229	231	94.6%		
	1日当たり外来患者数 (人)	369	350	363	94.9%		
	経常収支比率 (%)	101.7	98	100.7	96.6%		
財務	医業収支比率 (%)	90.3	86	91.95	95.1%		
	入院単価 (円)	102,863	103,387	101,888	100.5%		
	外来単価 (円)	28,150	27,477	27,765	97.6%		
	給与費比率 (%)	49.2	52	47.4	104.7%		
	材料費比率 (%)	45.4	46	46.1	101.1%		
	経費比率 (%)	11.4	13	13.8	114.9%		
医療機能	平均在院日数 (日)	14.0	14	13.1	100.0%		○
	紹介率 (%)	75.6	70	71.1	92.5%		○
	逆紹介率 (%)	73	170	159.4	233.7%		◎
	救急患者数 (人)	4,936	4,643	4,802	94.1%		○
	(うち救急車搬送患者数)	2,688	2,499	2,527	93.0%		○
	手術件数 (件)	1,600	1,616	1,594	101.0%		○
	地域連携パス件数	160	162	242	101.3%		○
	頭頸部血管内治療件数	90	93	106	103.3%		○
	TAVI 実施件数	65	56	53	86.2%		○
	リハビリ件数 (件)	37,380	27,443	36,088	73.4%		△
	糖尿病新規入院患者数	130	124	117	95.4%		○
	糖尿病新規外来患者数	400	351	325	87.8%		○
	慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数	80	25	66	31.3%		▲
	超急性期脳梗塞に対する血管内治療件数	40	26	22	65.0%		△
	胸腔鏡下弁形成術 (MICS) の件数	10	5	7	50.0%	▲	
	経皮的カテーテル心筋焼灼術の件数	365	372	357	101.9%	○	
	クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数	10	28	7	280.0%	◎	
超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数	15	23	13	153.3%	◎		

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	9,103	8,675	8,599
	外来収益	2,492	2,305	2,457
	その他医業収益	183	187	172
	医業収益計	11,777	11,167	11,227
	その他の収益	360	469	428
	<b>収益合計</b>	<b>12,137</b>	<b>11,636</b>	<b>11,655</b>
費用	給与費	5,799	5,747	5,320
	(うち退職給与金)	326	332	207
	材料費	5,343	5,125	5,175
	経費	1,345	1,460	1,545
	減価償却費	477	556	581
	その他の医業費用	80	118	72
	医業費用計	13,044	13,006	12,694
	その他費用	77	128	65
	<b>費用合計</b>	<b>13,121</b>	<b>13,134</b>	<b>12,759</b>
	差引損益	△ 985	△1,498	△1,104
一般会計繰入金	1,203	1,217	1,195	
当期純損益	219	△280	91	
<b>経常損益</b>	<b>222</b>	<b>△240</b>	<b>93</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
（10-1）粒子線医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	50	50	50	100%		
	病床利用率（%）	86.0	57.3	76.3	66.6%		
	1日当たり入院患者数（人）	43	29	38	67.4%		
	1日当たり外来患者数（人）	33	23	29	69.7%		
	経常収支比率（%）	110.5	85.4	98.1	77.3%		
財務	医業収支比率（%）	83.8	52.3	50.2	62.4%		
	入院単価（円）	78,600	73,088	76,851	93.0%		
	外来単価（円）	53,778	44,736	51,558	83.2%		
	給与費比率（%）	37.9	58.4	38.6	154.1%		
	材料費比率（%）	6.0	8.8	6.4	146.7%		
	経費比率（%）	55.1	88.5	60.6	160.6%		
医療機能	平均在院日数（日）	30.0	30.6	34.9	102.0%		○
	紹介率（%）	100.0	100	100.0	100.0%		○
	逆紹介率（%）	100.0	100	100.0	100.0%		○
	臨床研修医の受入件数	1	0	0	0.0%		▲
	医師派遣等件数	130	108	135	83.1%		○
	クリニカルパス導入状況（種類）	93	97	96	104.3%		○
	セカンドオピニオン実施状況（件数）	135	53	101	39.3%		▲
	インシデント報告件数	430	297	421	69.1%		△
	経過観察（電話相談）件数	2,700	2912	2,755	107.9%		○
	連携病院からの通院患者数	60	31	65	51.7%		▲
	外国人患者の治療実績	10	7	8	70.0%		△
その他	患者満足度（%）	97.0	95.9	96.6	98.9%		○
	医療相談件数	76	44	60	57.9%		▲

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	1,237	766	1,070
	外来収益	427	245	367
	その他医業収益	67	41	58
	医業収益計	1,731	1,052	1,495
	その他の収益	282	381	1,156
	<b>収益合計</b>	<b>2,013</b>	<b>1,433</b>	<b>2,652</b>
費用	給与費	657	614	578
	（うち退職給与金）	57	42	24
	材料費	104	92	95
	経費	953	932	905
	減価償却費	327	348	1,390
	その他の医業費用	25	25	12
	医業費用計	2,066	2,012	2,980
	その他費用	240	293	314
	<b>費用合計</b>	<b>2,306</b>	<b>2,305</b>	<b>3,294</b>
	差引損益	△ 293	△ 872	△ 642
一般会計繰入金	528	534	580	
当期純損益	235	△ 338	△ 62	
<b>経常損益</b>	<b>240</b>	<b>△ 337</b>	<b>△ 64</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
（10-2）神戸陽子線センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数（床）	-	-	-	-	
	病床利用率（%）	-	-	-	-	
	1日当たり入院患者数（人）	-	-	-	-	
	1日当たり外来患者数（人）	26	27	19	103.8%	
	経常収支比率（%）	69.4	59.5	51.5	85.7%	
財務	医業収支比率（%）	50.3	37.6	27.6	74.8%	
	入院単価（円）	-	-	-	-	
	外来単価（円）	104,184	72,316	72,484	69.4%	
	給与費比率（%）	47.4	57.5	80.9	121.3%	
	材料費比率（%）	1.7	1.6	1.8	94.1%	
医療機能	経費比率（%）	83.7	96.1	127.6	114.8%	
	紹介率	100.0	100	100.0	100.0%	○
	逆紹介率	100.0	100	100.0	100.0%	○

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績
収益	入院収益	-	-	-
	外来収益	641	475	341
	その他医業収益	1	1	0
	医業収益計	642	475	341
	その他の収益	281	283	280
	<b>収益合計</b>	<b>922</b>	<b>759</b>	<b>621</b>
費用	給与費	304	273	276
	（うち退職給与金）	0	0	6
	材料費	11	8	6
	経費	537	457	435
	減価償却費	422	515	517
	その他の医業費用	3	12	1
	医業費用計	1,277	1,264	1,235
	その他費用	122	96	97
	<b>費用合計</b>	<b>1,399</b>	<b>1,360</b>	<b>1,332</b>
	差引損益	△ 477	△ 601	△ 711
	一般会計繰入金	49	50	65
当期純損益	△ 428	△ 552	△ 646	
<b>経常損益</b>	<b>△ 428</b>	<b>△ 550</b>	<b>△ 646</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(11) 災害医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	30	30	30	100.0%		
	病床利用率 (%)	87.0	83.2	80.6	95.6%		
	1日当たり入院患者数 (人)	26	25	24	96.2%		
	1日当たり外来患者数 (人)	1	1	1	100.0%		
財務	経常収支比率 (%)	101.9	101.3	96.4	99.4%		
	医業収支比率 (%)	69.1	72.0	69.0	104.2%		
	入院単価 (円)	142,112	160,566	142,485	113.0%		
	外来単価 (円)	541,112	341,475	484,552	63.1%		
	給与費比率 (%)	87.1	83.5	93.5	95.9%		
	材料費比率 (%)	33.3	34.4	28.5	103.3%		
医療機能	経費比率 (%)	20.6	19.6	21.2	95.1%		
	平均在院日数 (日)	9.1	8.9	8.9	97.8%		○
	手術件数 (件)	1,132	1,154	1,044	101.9%		○
	(うち高額手術件数)	168	200	170	119.0%	○	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績	
収益	入院収益	0 (1,357)	0 (1,466)	0 (1,258)	
	外来収益	0 (111)	0 (60)	0 (70)	
	その他医業収益	0 (10)	0 (11)	0 (8)	
	医業収益計	0 (1,454)	0 (1,537)	0 (1,336)	
	その他の収益	208 (49)	218 (55)	224 (54)	
	<b>収益合計</b>	<b>208 (1,527)</b>	<b>218 (1,592)</b>	<b>224 (1,390)</b>	
	費用	給与費	45 (1,288)	36 (1,284)	44 (1,249)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (492)	0 (528)	0 (381)	
経費		722 (304)	722 (301)	625 (283)	
減価償却費		194 (0)	196 (0)	210 (0)	
その他の医業費用		0 (19)	8 (21)	1 (22)	
医業費用計		961 (2,103)	962 (2,134)	880 (1,935)	
その他費用		42 (100)	42 (106)	43 (87)	
<b>費用合計</b>		<b>1,003 (2,203)</b>	<b>1,004 (2,240)</b>	<b>923 (2,022)</b>	
差引損益		△ 795 (△ 676)	△ 786 (△ 647)	△ 699 (△ 632)	
一般会計繰入金	795 (676)	786 (676)	699 (559)		
当期純損益	0 (0)	0 (29)	0 (△ 73)		
<b>経常損益</b>	<b>0 (0)</b>	<b>0 (29)</b>	<b>0 (△ 73)</b>		

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
（12）リハビリテーション中央病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	330	330	330	100.0%		
	病床利用率（%）	83.7	82.3	82.8	98.3%		
	1日当たり入院患者数（人）	276	271	273	98.2%		
	1日当たり外来患者数（人）	229	220	223	96.1%		
財務	経常収支比率（%）	94.3	100.3	100.2	106.4%		
	医業収支比率（%）	93.0	92.0	92.0	98.9%		
	入院単価（円）	31,917	33,120	31,907	103.8%		
	外来単価（円）	18,650	19,094	18,716	102.4%		
	給与費比率（%）	58.9	60.6	60.8	102.9%		
	材料費比率（%）	24.6	24.8	24.8	100.8%		
医療機能	経費比率（%）	24.0	23.2	23.1	96.7%		
	紹介率（%）	71.6	67.5	66.3	94.3%		○
	逆紹介率（%）	62.6	56.3	59.2	89.9%		○
	糖尿病教育入院患者数	15	9	5	60.0%	△	

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績	
収益	入院収益	0 (3,227)	0 (3,291)	0 (3,181)	
	外来収益	0 (1,041)	0 (1,010)	0 (1,017)	
	その他医業収益	0 (61)	0 (63)	0 (64)	
	医業収益計	0 (4,329)	0 (4,364)	0 (4,262)	
	その他の収益	428 (57)	409 (115)	397 (82)	
	<b>収益合計</b>	<b>428 (4,386)</b>	<b>409 (4,479)</b>	<b>397 (4,344)</b>	
	費用	給与費	33 (2,550)	22 (2,646)	22 (2,593)
		（うち退職給与金）	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (1,064)	0 (1,082)	0 (1,057)	
経費		276 (1,039)	275 (1,013)	301 (983)	
減価償却費		406 (0)	386 (0)	375 (0)	
その他の医業費用		1 (0)	1 (0)	1 (0)	
医業費用計		715 (4,653)	684 (4,742)	698 (4,633)	
その他費用		47 (0)	46 (0)	47 (0)	
<b>費用合計</b>		<b>761 (4,653)</b>	<b>730 (4,742)</b>	<b>745 (4,633)</b>	
差引損益		△ 333 (△ 267)	△ 321 △ 262	△ 348 (△ 289)	
一般会計繰入金	333 (274)	321 274	348 (300)		
当期純損益	0 (7)	0 (12)	0 (11)		
<b>経常損益</b>	<b>0 (7)</b>	<b>0 (12)</b>	<b>0 (11)</b>		

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (13) リハビリテーション西播磨病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 年度 計画①	R1 年度 実績②	H30 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	100	100	100	100.0%		
	病床利用率 (%)	95.5	95.2	94.9	99.7%		
	1日当たり入院患者数 (人)	96	95	95	99.0%		
	1日当たり外来患者数 (人)	46	44	44	95.7%		
財務	経常収支比率 (%)	100.0	101.6	100.6	101.6%		
	医業収支比率 (%)	93.1	93.3	90.7	100.2%		
	入院単価 (円)	38,262	38,557	37,997	100.8%		
	外来単価 (円)	27,206	34,191	28,152	125.7%		
	給与費比率 (%)	64.0	60.7	63.6	94.8%		
	材料費比率 (%)	15.7	18.5	17.3	117.8%		
医療機能	経費比率 (%)	27.7	26.1	29.3	94.2%		
	紹介率 (%)	74.0	79	68.6	106.8%		○
	逆紹介率 (%)	100.0	119.7	119.5	119.7%		○
	回復期病棟在宅復帰率 (%)	82.0	87	79.7	106.0%		○
	P T リハビリ件数 (単位)	79,410	74,600	75,523	93.9%	○	
	O T リハビリ件数 (単位)	66,840	73,614	68,588	110.1%	○	
	S T リハビリ件数 (単位)	41,290	41,811	42,172	101.3%	○	
その他	認知症鑑別診断件数 (人)	950	1,122	1,157	118.1%	○	
	脳卒中地域連携パス件数 (人)	170	105	159	61.8%	△	
	認知リハビリ件数 (人)	4,300	4,116	4,318	95.7%	○	
	音楽療法件数 (人)	3,590	3,739	3,713	104.2%	○	
	園芸療法件数 (人)	2,020	1,934	1,867	95.7%	○	
	認知症専門医療相談件数 (人)	2,770	2,610	2,632	94.2%	○	
	短時間通所リハ件数 (人)	1,230	1,073	1,147	87.2%	○	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 年度計画	R1 年度実績	H30 年度実績	
収益	入院収益	0 (1,338)	0 (1,343)	0 (1,317)	
	外来収益	0 (305)	0 (330)	0 (303)	
	その他医業収益	0 (23)	0 (32)	0 (27)	
	医業収益計	0 (1,666)	0 (1,705)	0 (1,646)	
	その他の収益	236 (156)	221 (26)	189 (33)	
	<b>収益合計</b>	<b>236 (1,822)</b>	<b>221 (1,731)</b>	<b>189 (1,679)</b>	
	費用	給与費	23 (1,066)	11 (1,035)	10 (1,048)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		材料費	0 (262)	0 (315)	0 (285)
経費		125 (462)	125 (445)	146 (482)	
減価償却費		226 (0)	211 (0)	180 (0)	
その他の医業費用		1 (0)	0 (0)	1 (0)	
医業費用計		374 (1,790)	347 (1,795)	336 (1,815)	
その他費用		31 (28)	31 (32)	29 (0)	
<b>費用合計</b>		<b>405 (1,818)</b>	<b>378 (1,827)</b>	<b>365 (1,815)</b>	
差引損益		△ 169 (4)	△ 157 (△ 96)	△ 176 (△ 136)	
一般会計繰入金	169 (0)	157 (125)	176 (145)		
当期純損益	0 (4)	0 (29)	0 (10)		
<b>経常損益</b>	<b>0 (4)</b>	<b>0 (29)</b>	<b>0 (10)</b>		